

第2回みえ県民1万人アンケート
《集計結果 報告書》

令和6年5月

三重県政策企画部

目次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 調査の内容	1
4 回収結果	1
5 報告書の見方	2
6 回答者の属性	3

II 集計結果

1 生活の満足度	5
2 14分野別の満足度	9
3 県が注力している取組に関すること	41
3.1 災害への備えについて	42
3.2 男女共同参画について	48
3.3 定住意向について	52
3.4 公共交通について	56
3.5 観光について	64
3.6 共生社会について	66
3.7 デジタルの活用について	68
3.8 選挙について	72
3.9 国体について	74
4 結婚や子ども・子育てについて	75
4.1 結婚について	76
4.2 子ども・子育て支援について	78
4.3 人口減少対策について	94

III その他	97
---------	----

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

県政の推進には、広く県民の皆さんのご意見をお聴きすることが重要です。本調査は、県民の声をお聴きする貴重な機会であり、令和4（2022）年度に策定した「強じんな美し国ビジョンみえ」や「みえ元気プラン」の内容をふまえ、県民の皆さんの「生活の満足度」などを把握し、県政運営の推進に活用していきます。

第2回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の者
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送、郵送・インターネットによる回収
- (6) 調査期間 令和5年12月～令和6年1月
- (7) 調査主体 三重県政策企画部企画課
- (8) 調査委託機関 株式会社東京商工リサーチ津支店

3. 調査の内容

下記の調査項目により構成しています。

- (1) 生活の満足度
- (2) 県が注力している取組に関すること
「防災」「結婚」「男女共同参画」「子ども・子育て支援」「人口減少対策」「定住意向」「公共交通」「観光」「共生社会」「デジタル」「選挙」「国体」
- (3) 回答者の属性に関すること
- (4) 自由意見 (質問総数50問(※自由意見は除く))

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 4,582人(回収率45.8%)
- (3) 有効回答数 4,578人(有効回答率45.8%(郵送回答73.3%、Web回答26.7%))
- (4) 無効回答数 4人

図表1-4-1 有効回答率

	調査時期	有効回答率
第2回(今回)	令和5年12月～令和6年1月	45.8%
第1回(前回)	令和5年1月～2月	47.4%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

調査地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,614	2,135	46.3	46.6
伊賀地域	名張市、伊賀市	931	466	50.1	10.2
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,692	1,239	46.0	27.1
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,361	554	40.7	12.1
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	402	157	39.1	3.4
不明	—	—	27	—	0.6
合計		10,000	4,578	45.8	100.0

5. 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数 (=有効回答数) を表しています。
- (2) 割合は全て百分率で表し、小数第二位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の割合は、サンプル数 (n) に占める各回答数の割合となっており、各回答の割合の合計は通常100%を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現は、紙幅の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) 紙幅の都合上、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られないものや他調査から大きな変化が見られないものについては、記述を省略しています。
- (7) サンプル数 (n) が50未満の属性項目、世帯構成の「その他」、世帯の年間収入の「わからない」等の属性項目については、記述を省略している場合があります。

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、性別、年齢、配偶関係、世帯類型、主な職業、共働き、世帯収入、地域の8つとしています。

(2) 回答者属性の構成比について、第1回みえ県民1万人アンケート（以下、前回調査）との差における主な特徴は次のとおりです。

- ・性別では、「男性」の割合が前回調査より高くなっています。
- ・年齢別では、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」の割合が前回調査より高く、「18歳から20歳代」、「30歳代」、「70歳以上」の割合が低くなっています。
- ・配偶関係別では、「有配偶」の割合が前回調査より高く、「未婚」、「離別」、「死別」の割合が低くなっています。
- ・世帯類型別では、「一世代世帯」、「二世代世帯」の割合が前回調査より高く、「単身世帯」、「三世帯世帯」、「その他世帯」の割合が低くなっています。
- ・主な職業別では、「その他の職業」、「無職」以外の割合が前回調査より高くなっています。
- ・世帯収入別では、「500万円以上」の割合が前回調査より高く、「500万円未満」の割合が低くなっています。
- ・地域別では、「北勢地域」、「伊賀地域」の割合が前回調査より高く、「中南勢地域」、「伊勢志摩地域」、「東紀州地域」の割合が低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比 (%)		(前回差)
			今回	前回	
性別	男性	2,092	45.7	42.8	2.9
	女性	2,420	52.9	56.3	△ 3.4
	その他	15	0.3	0.2	0.1
	不明	51	1.1	0.8	0.3
年齢	18歳から20歳代	304	6.6	7.5	△ 0.9
	30歳代	435	9.5	10.1	△ 0.6
	40歳代	755	16.5	15.3	1.2
	50歳代	935	20.4	17.8	2.6
	60歳代	1,032	22.5	19.7	2.8
	70歳以上	1,031	22.5	28.0	△ 5.5
	不明	86	1.9	1.6	0.3
配偶関係	未婚	675	14.7	15.5	△ 0.8
	離別	187	4.1	7.6	△ 3.5
	死別	250	5.5	7.5	△ 2.0
	有配偶	3,396	74.2	67.9	6.3
	不明	70	1.5	1.6	△ 0.1
世帯類型	単身世帯	365	8.0	11.7	△ 3.7
	一世代世帯	1,511	33.0	32.7	0.3
	二世帯世帯	2,221	48.5	44.3	4.2
	三世帯世帯	384	8.4	8.6	△ 0.2
	その他世帯	44	1.0	1.8	△ 0.8
	不明	53	1.2	1.1	0.1
主な職業	農林水産業	87	1.9	1.8	0.1
	自営業・自由業	387	8.5	8.4	0.1
	正規職員	1,527	33.4	30.8	2.6
	パート・バイト・派遣	951	20.8	19.5	1.3
	その他の職業	154	3.4	3.6	△ 0.2
	学生	97	2.1	2.0	0.1
	専業主婦・主夫	521	11.4	11.0	0.4
	無職	789	17.2	21.9	△ 4.7
	不明	65	1.4	1.0	0.4
共働き	している	1,901	41.5	-	-
	していない	2,537	55.4	-	-
	不明	140	3.1	-	-
世帯収入	100万円未満	188	4.1	5.1	△ 1.0
	～200万円未満	414	9.0	10.9	△ 1.9
	～300万円未満	610	13.3	14.8	△ 1.5
	～400万円未満	548	12.0	13.4	△ 1.4
	～500万円未満	446	9.7	10.1	△ 0.4
	～600万円未満	429	9.4	9.1	0.3
	～800万円未満	603	13.2	12.1	1.1
	～1,000万円未満	409	8.9	7.7	1.2
	1,000万円以上	422	9.2	7.3	1.9
	わからない	436	9.5	8.3	1.2
	不明	73	1.6	1.2	0.4
地域	北勢地域	2,135	46.6	45.2	1.4
	伊賀地域	466	10.2	9.6	0.6
	中南勢地域	1,239	27.1	28.4	△ 1.3
	伊勢志摩地域	554	12.1	13.0	△ 0.9
	東紀州地域	157	3.4	3.5	△ 0.1
	不明	27	0.6	0.4	0.2
有効回答数		4,578	100.0	100.0	

Ⅱ 集計結果

1. 生活の満足度

Ⅱ 集計結果

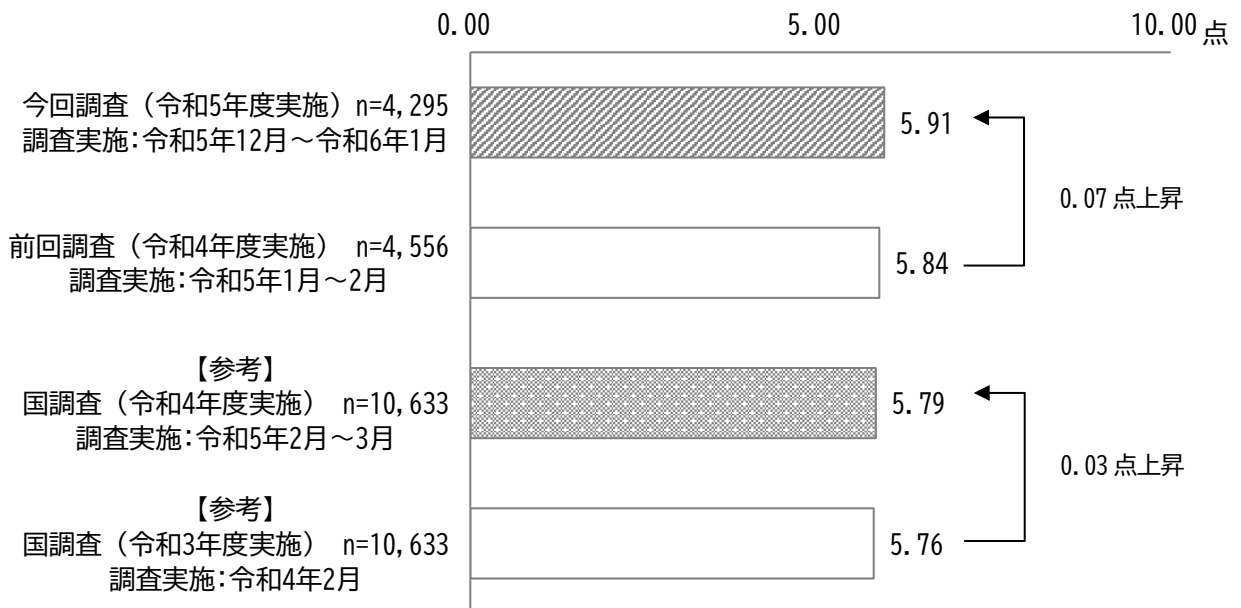
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、
何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

○ 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は5.91点で、前回調査より0.07点高くなっています。

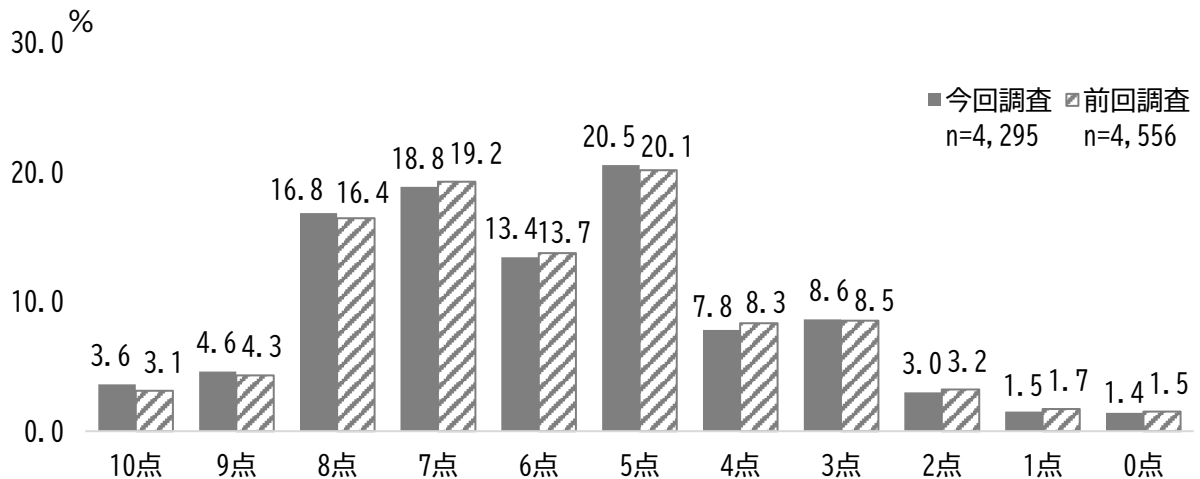
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち約6,200人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「5点」の割合が20.5%と最も高く、次いで「7点」が18.8%、「8点」が16.8%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、点数の順位に変化はありませんでした。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（前回調査との比較）

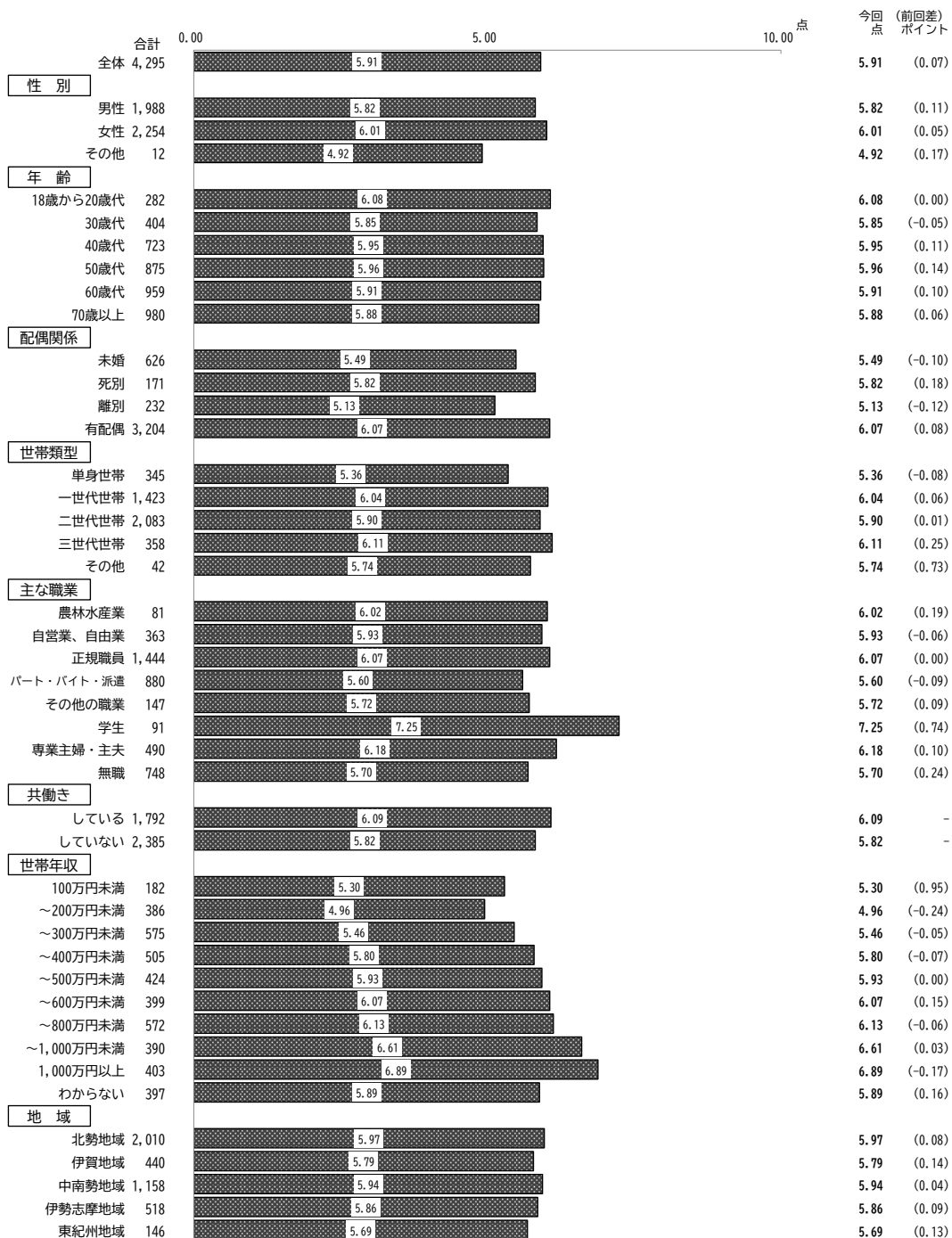


➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.01点で男性の5.82点より0.19点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.11点、女性は0.05点それぞれ高くなっています。
- 年齢別で見ると、18歳から20歳代が6.08点で最も高く、次いで50歳代（5.96点）、40歳代（5.95点）の順となっています。前回調査と比較すると、18歳から20歳代では変化はなく、30歳代で0.05点低くなっていますが、それ以外の全ての年齢で高くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.07点で最も高く、次いで死別（5.82点）、未婚（5.49点）の順となっています。前回調査と比較すると、死別では0.18点高く、離別で0.12点低くなっています。
- 世帯類型別で見ると、三世帯世帯が6.11点で最も高く、次いで一世代世帯（6.04点）、二世帯世帯（5.90点）の順となっています。前回調査と比較すると、単身世帯が0.08点低くなっていますが、それ以外の全ての世帯類型で高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が7.25点で最も高く、次いで専業主婦・主夫（6.18点）、正規職員（6.07点）の順となっています。前回調査と比較すると「パート・バイト・派遣」で0.09点低く、「自営業、自由業」で0.06点低くなっていますが、それ以外の全ての職業で高くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.09点で、「していない」の5.82点より0.27点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、世帯収入 1,000 万円以上が 6.89 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満 (6.61 点)、600 万円以上～800 万円未満 (6.13 点) の順となっています。前回調査と比較すると、400 万円以上～500 万円未満 (5.93 点) では変化がなく、100 万円未満で 0.95 点、500 万円以上～600 万円未満で 0.15 点、800 万円以上～1,000 万円未満で 0.03 点、わからないで 0.16 点高くなっていますが、それ以外の世帯年収で低くなっています。
- 地域別で見ると、北勢地域が 5.97 点で最も高く、次いで中南勢地域 (5.94 点)、伊勢志摩地域 (5.86 点) の順となっています。前回調査と比較すると、全ての地域で高くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値 (属性別)



Ⅱ 集計結果

2. 14分野別の満足度

2. 14 分野別の満足度

「14 分野別の満足度」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる分野別の満足度を調べ、多角的に生活の満足度を把握します。

生活の幅広い範囲について包括的に評価できる総合的な主観満足度とは別に、生活に関連した 14 分野で設定した質問となっています。

14 分野	
①	家計と資産
②	あなた自身の給料や報酬・賃金
③	仕事のやりがいや生活とのバランス
④	健康状態
⑤	医療サービス
⑥	介護・福祉サービスの利用しやすさ
⑦	子育てのしやすさ
⑧	子どもの教育
⑨	交友関係やコミュニティなど社会とのつながり
⑩	身のまわりの自然環境
⑪	自然災害への備え
⑫	交通安全・防犯など身のまわりの安全
⑬	文化・スポーツなどの趣味、生きがい
⑭	移動手段、交通の便利さ

問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。

➤ 14分野別の満足度（14項目全体の集計結果）

※項目ごとの集計結果は12ページから39ページに記載

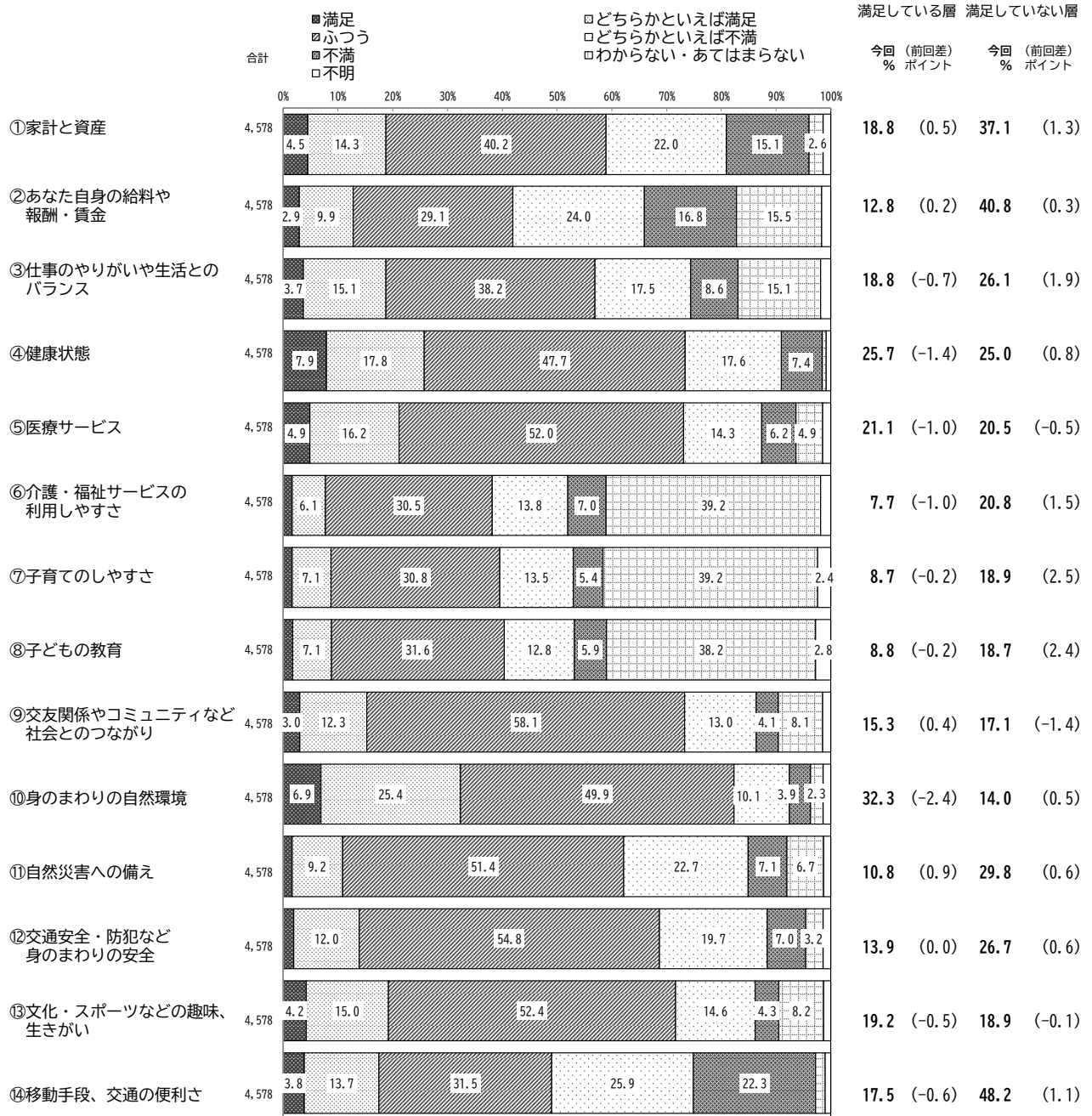
【「満足している層」の割合】

- 14分野別の満足度について、5点満点で質問したところ、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した「満足している層」の割合は、「⑩身のまわりの自然環境」が32.3%で最も高くなっています。次いで、「④健康状態」（25.7%）、「⑤医療サービス」（21.1%）の順となっています。
- **前回調査より改善された分野（「満足している層」の割合が上昇）**
「①家計と資産」、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、
「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、「⑪自然災害への備え」
- **前回調査と変化がなかった分野**
「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」
- **前回調査より悪化した分野（「満足している層」の割合が下降）**
「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、「④健康状態」、「⑤医療サービス」、
「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、「⑦子育てのしやすさ」、「⑧子どもの教育」、
「⑩身のまわりの自然環境」、「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」、
「⑭移動手段、交通の便利さ」

【「満足していない層」の割合】

- 「不満」と「どちらかといえば不満」を合計した「満足していない層」の割合は、「⑭移動手段、交通の便利さ」が48.2%で最も高くなっています。次いで、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」（40.8%）、「①家計と資産」（37.1%）の順となっています。
- **前回調査より悪化した分野（「満足していない層」の割合が上昇）**
「①家計と資産」、「②あなた自身の給料や報酬・賃金」、「③仕事のやりがいや生活とのバランス」、
「④健康状態」、「⑥介護・福祉サービスの利用しやすさ」、「⑦子育てのしやすさ」、
「⑧子どもの教育」、「⑩身のまわりの自然環境」、「⑪自然災害への備え」、
「⑫交通安全・防犯など身のまわりの安全」、「⑭移動手段、交通の便利さ」
- **前回調査より改善された分野（「満足していない層」の割合が下降）**
「⑤医療サービス」、「⑨交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」、
「⑬文化・スポーツなどの趣味、生きがい」

図表 2-2-1 14 分野別の満足度（一覧）



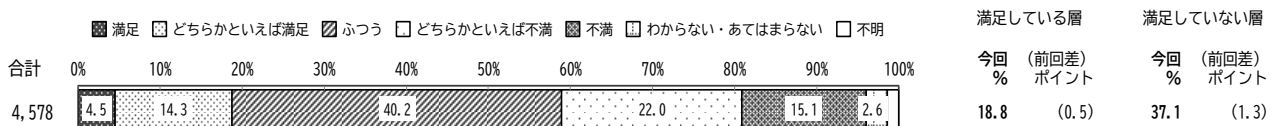
※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

➤ 14 分野別の満足度（項目ごとの集計結果）

○ 家計と資産の満足度について

- 「満足している層」の割合が18.8%で、「満足していない層」の割合（37.1%）より18.3ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.5ポイント、「満足していない層」の割合が1.3ポイントそれぞれ高くなっています。

図表 2-2-2 家計と資産の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合（%）は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が1.8ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（48.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると3.1ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合（52.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると4.3ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯の「満足していない層」の割合（45.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると9.4ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合（48.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.1ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

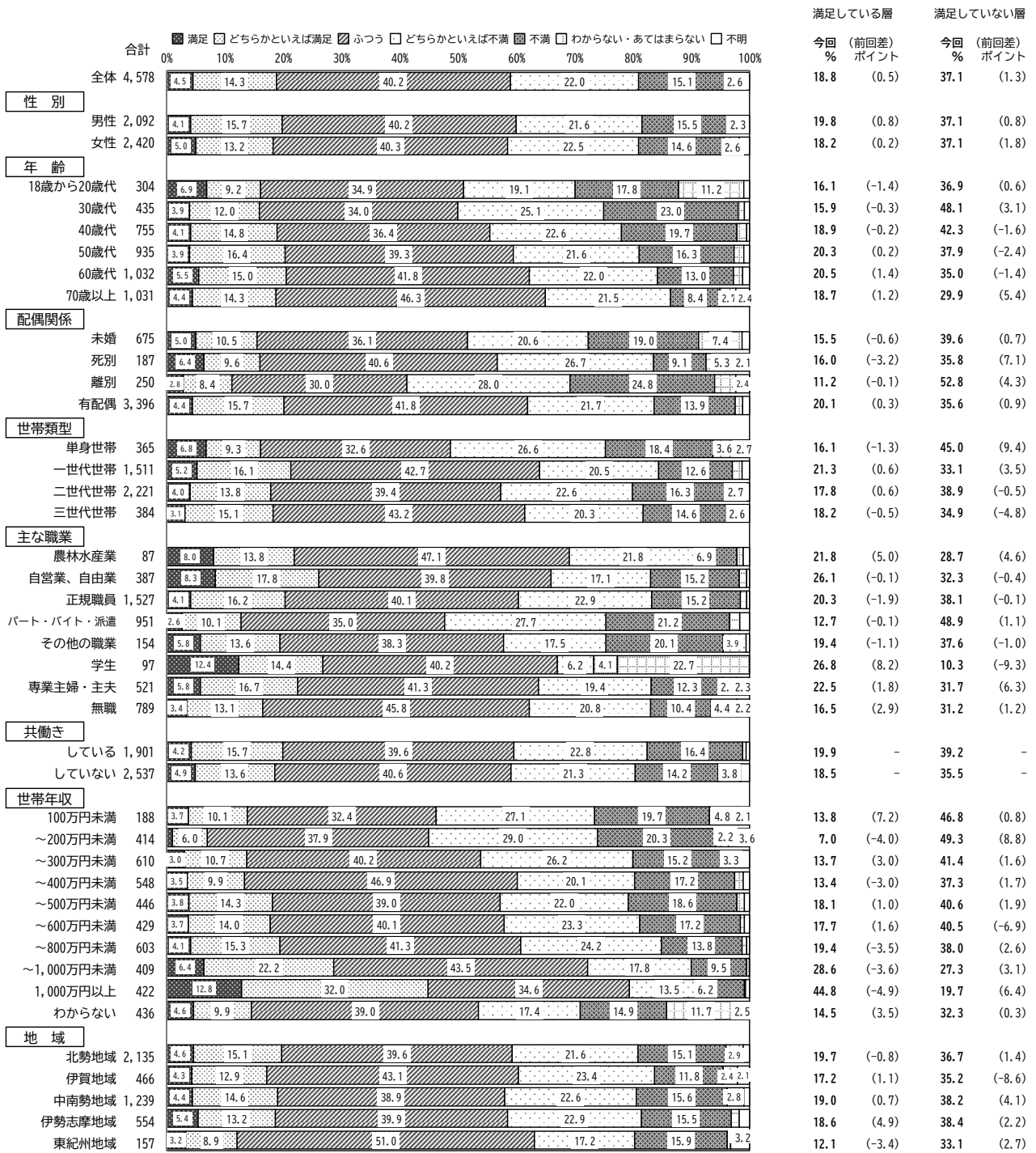
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が800万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円以上200万円未満の「満足していない層」の割合（49.3%）が高く、前回調査の割合と比較すると8.8ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足していない層」の割合（38.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.2ポイント高くなっています。

図表 2-2-3 家計と資産の満足度（属性別）

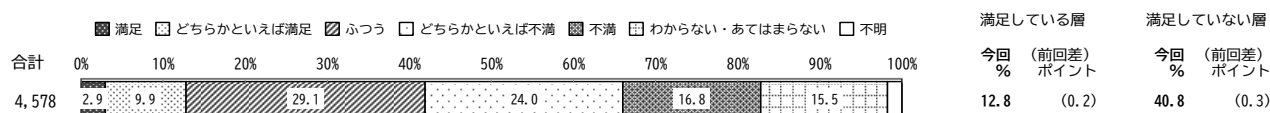


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度について

- 「満足している層」の割合が12.8%で、「満足していない層」の割合（40.8%）より28.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.2ポイント、「満足していない層」の割合が0.3ポイントそれぞれ高くなっています。

図表 2-2-4 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足している層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合(54.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.6ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(54.8%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯では「満足していない層」の割合(47.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると9.3ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、パート・バイト・派遣の「満足していない層」の割合(53.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.8ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

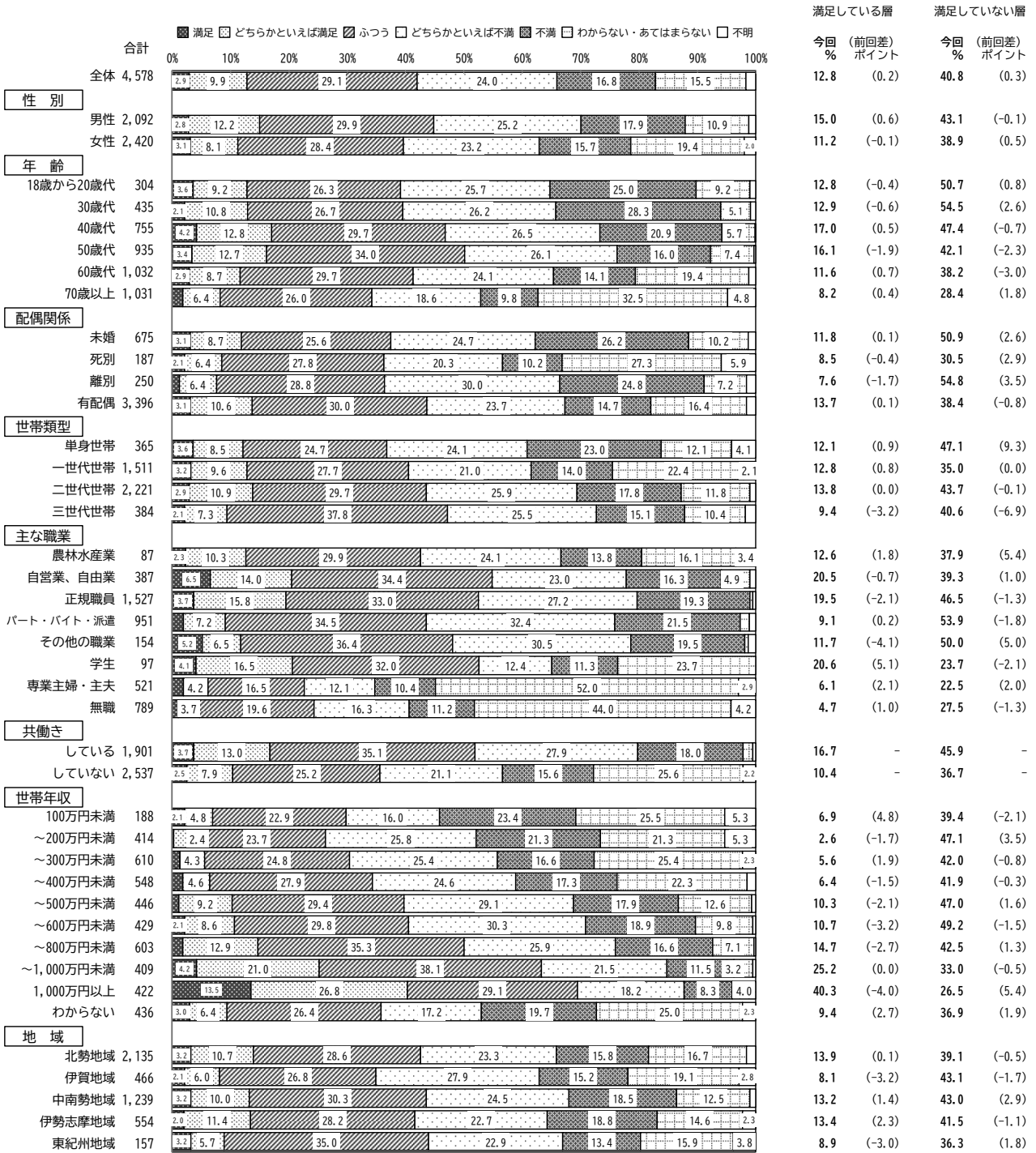
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、500万円以上600万円未満の「満足していない層」の割合(49.2%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.5ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合(43.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.7ポイント低くなっています。

図表 2-2-5 あなた自身の給料や報酬・賃金の満足度（属性別）

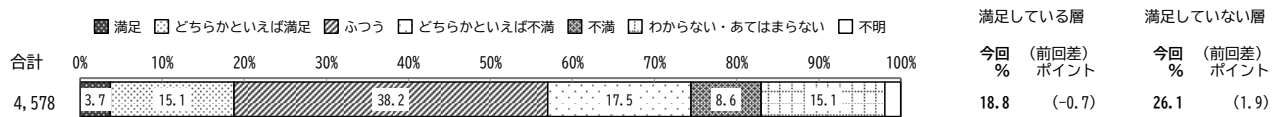


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度について

- 「満足している層」の割合が18.8%で、「満足していない層」の割合（26.1%）より7.3ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.7ポイント低く、「満足していない層」の割合が1.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-6 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が1.9ポイント高くなっています。

【年齢別】

- 70歳以上を除くすべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合(43.2%)が高く、前回調査の割合と比較すると7.6ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(38.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると4.8ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯と二世帯世帯の「満足していない層」の割合(29.6%)が高く、単身世帯では前回調査の割合と比較すると5.5ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 正規職員、パート・バイト・派遣、その他の職業、専業主婦・主夫、無職で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合(37.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.1ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

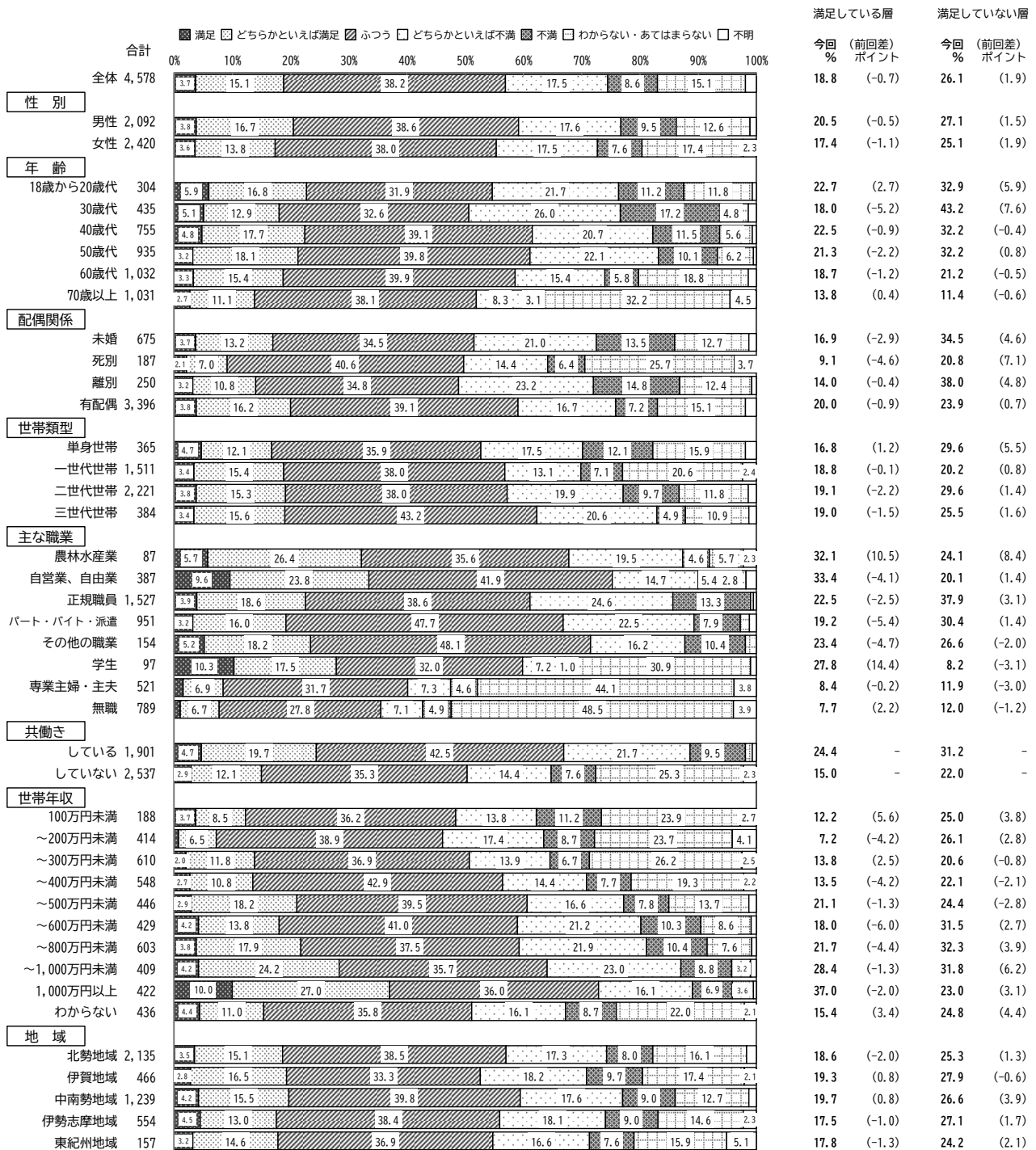
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が1,000万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合(32.3%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.9ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合(27.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると0.6ポイント低くなっています。

図表 2-2-7 仕事のやりがいや生活とのバランスの満足度（属性別）

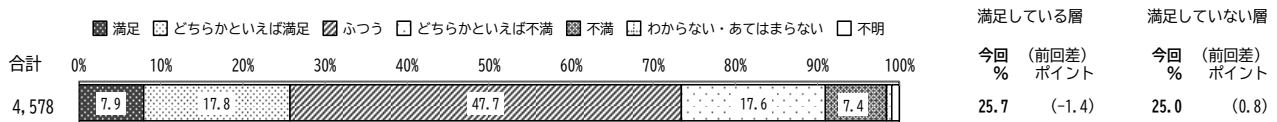


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 健康状態の満足度について

- 「満足している層」の割合が25.7%で、「満足していない層」の割合（25.0%）より0.7ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.4ポイント低く、「満足していない層」の割合が0.8ポイント高くなっています。

図表 2-2-8 健康状態の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 女性で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足している層」の割合が1.6ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 50歳未満の年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合(44.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.8ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、有配偶で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合(29.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると5.2ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 一世帯世帯を除くすべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯と三世帯世帯の「満足している層」の割合(26.3%)が高く、三世帯世帯では前回調査の割合と比較すると3.0ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業、正規職員、学生で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合(69.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると7.3ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。

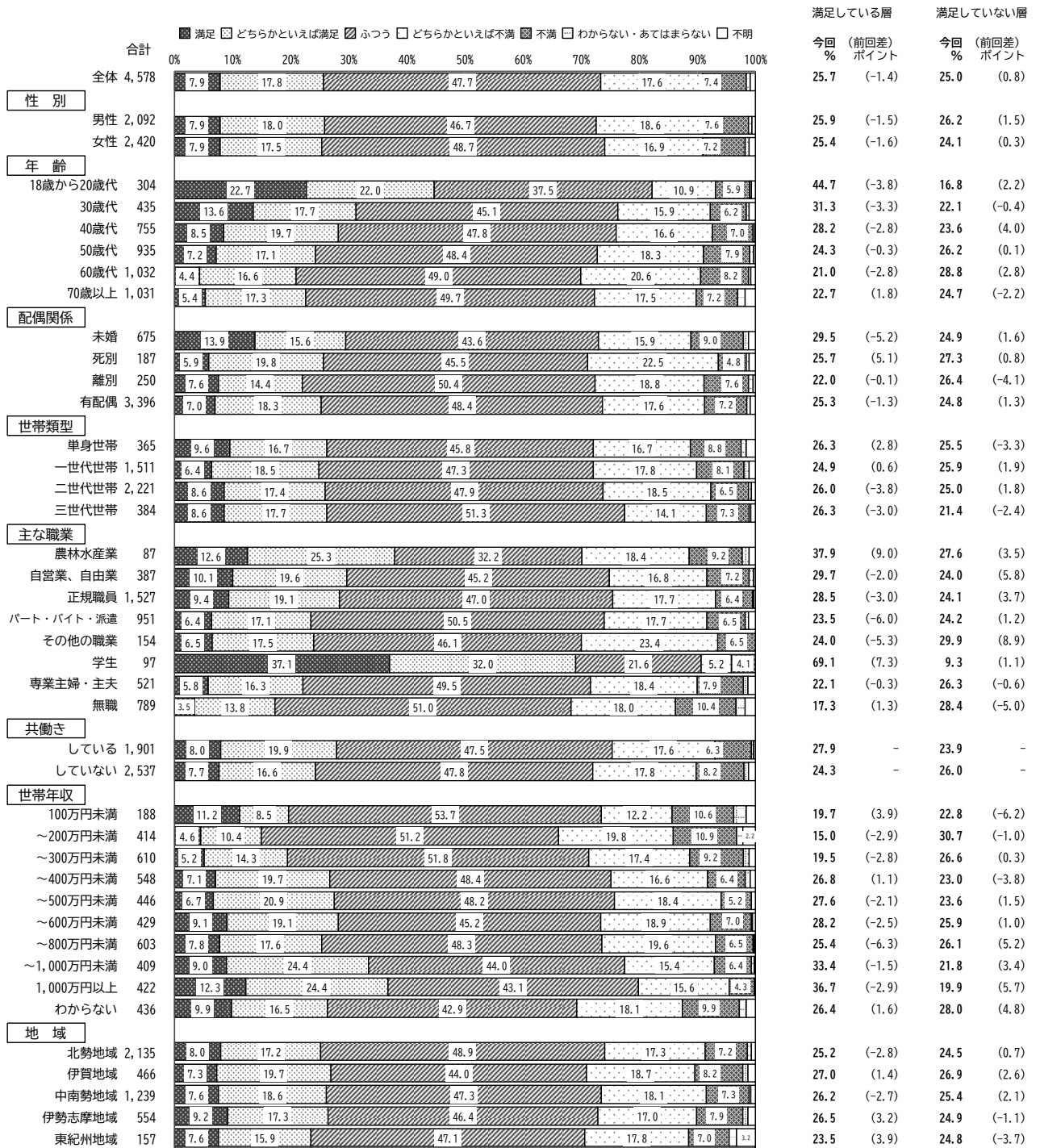
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が300万円以上600万円未満、800万円以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合(36.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.9ポイント低くなっています。

【地域別】

- 東紀州地域を除くすべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足している層」の割合(27.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-9 健康状態の満足度（属性別）

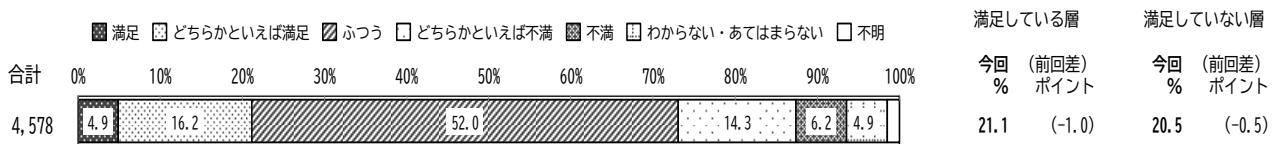


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 医療サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が21.1%で、「満足していない層」の割合（20.5%）より0.6ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント低く、「満足していない層」の割合が0.5ポイント低くなっています。

図表 2-2-10 医療サービスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足している層」の割合が1.7ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 40歳代未満、70歳以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合(39.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.0ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚、死別で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足している層」の割合(29.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると0.5ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- 一世帯世帯を除くすべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯の「満足している層」の割合(25.4%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.2ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業、学生、無職で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合(50.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると5.2ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしていない世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。

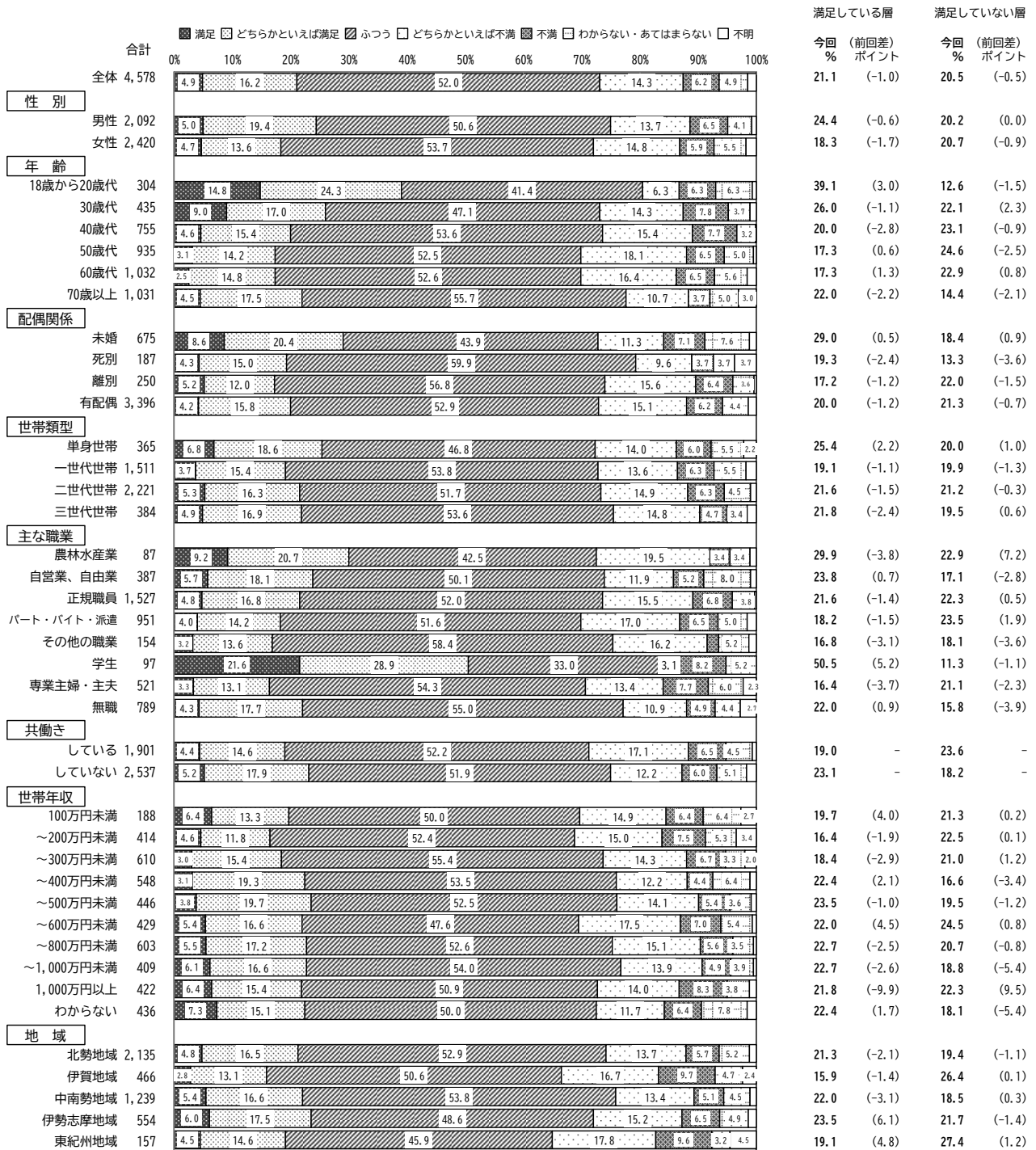
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が300万円以上500万円未満、600万円以上1,000万円未満で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、400万円以上500万円未満の「満足している層」の割合(23.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.0ポイント低くなっています。

【地域別】

- 北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足している層」の割合(23.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると6.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-11 医療サービスの満足度（属性別）

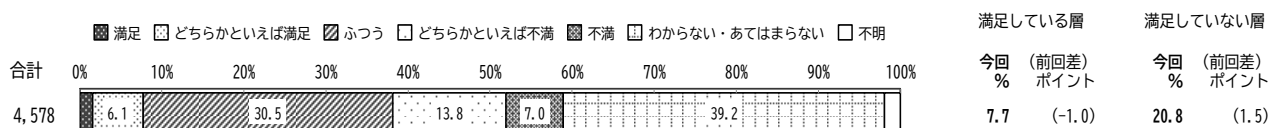


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 介護・福祉サービスの満足度について

- 「満足している層」の割合が7.7%で、「満足していない層」の割合（20.8%）より13.1ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が1.0ポイント低く、「満足していない層」の割合が1.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-12 介護・福祉サービスの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が1.6ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合(25.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.6ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(24.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.2ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合(23.4%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.9ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合(23.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.9ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

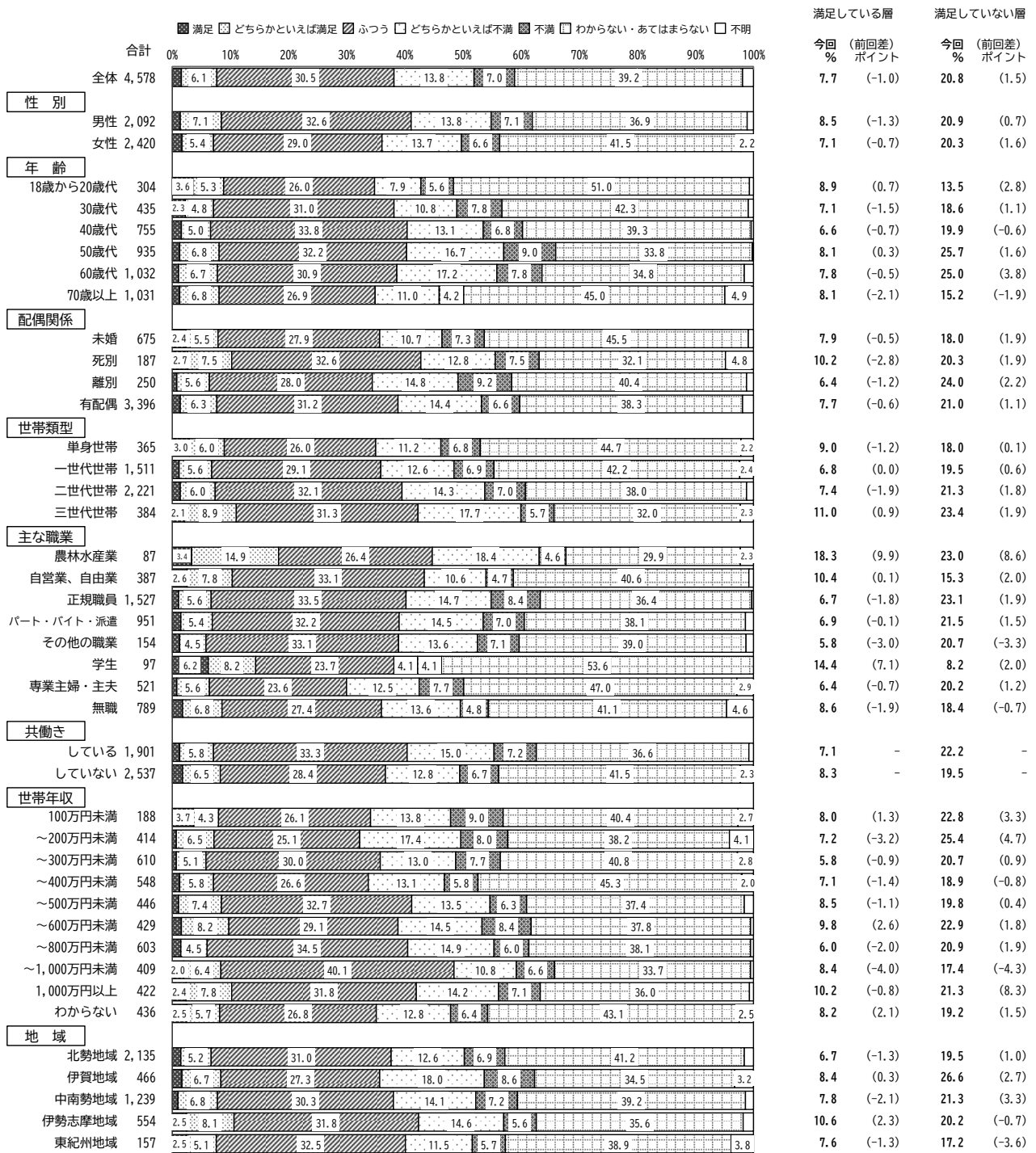
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、100万円以上200万円未満の「満足していない層」の割合(25.4%)が高く、前回調査の割合と比較すると4.7ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足していない層」の割合(26.6%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.7ポイント高くなっています。

図表 2-2-13 介護・福祉サービスの満足度（属性別）

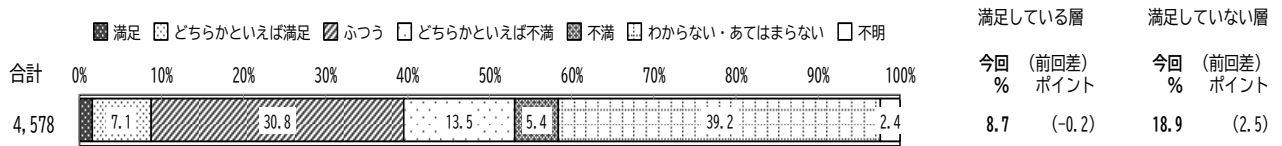


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 子育てのしやすさの満足度について

- 「満足している層」の割合が8.7%で、「満足していない層」の割合（18.9%）より10.2ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.2ポイント低く、「満足していない層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-14 子育てのしやすさの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が3.0ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合(31.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.4ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(22.4%)が高く、前回調査の割合と比較すると5.7ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合(22.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.8ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合(24.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.3ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

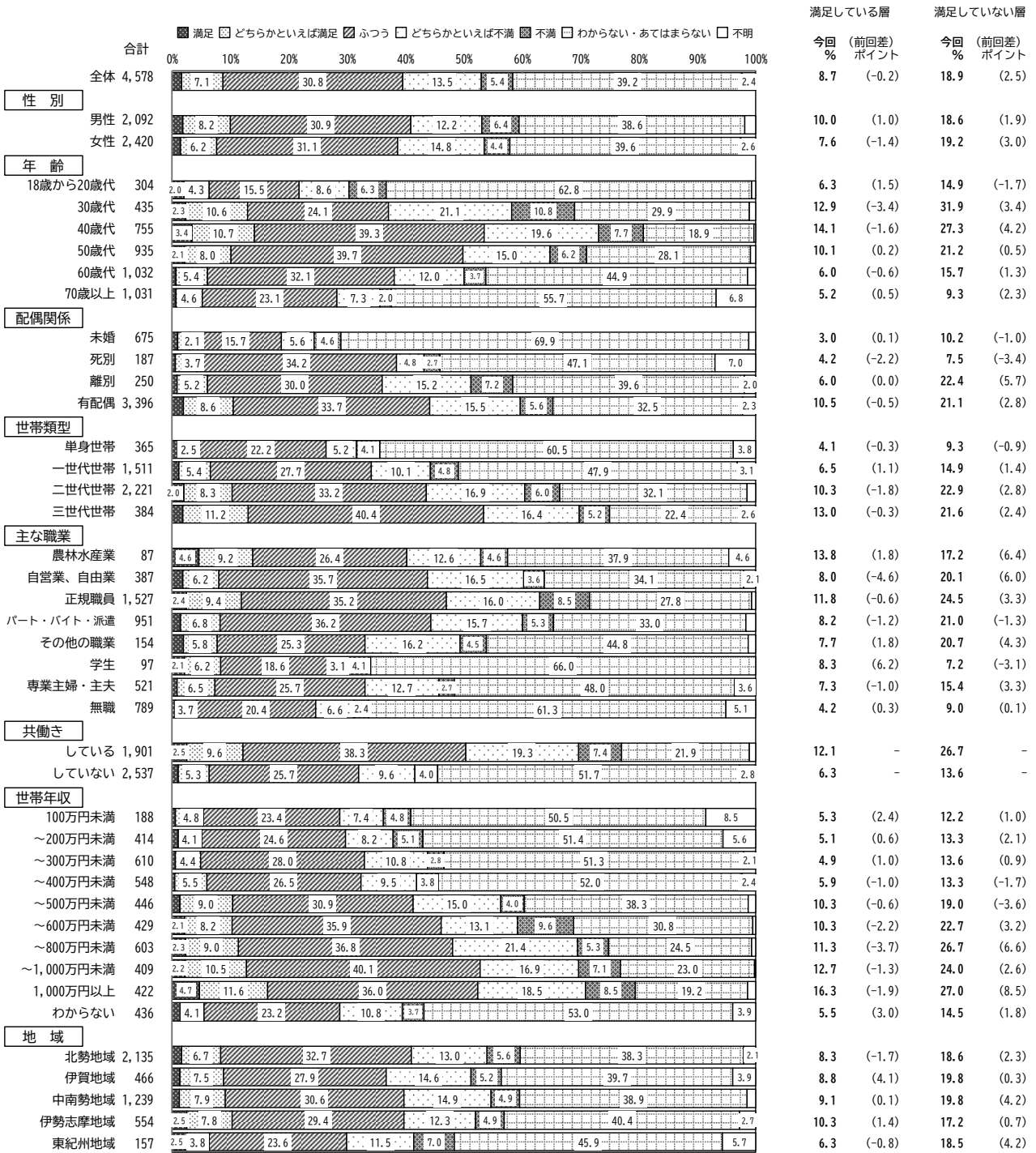
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足していない層」の割合(27.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると8.5ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域、中南勢地域の「満足していない層」の割合(19.8%)が高く、中南勢地域では前回調査の割合と比較すると4.2ポイント高くなっています。

図表 2-2-15 子育てのしやすさの満足度（属性別）

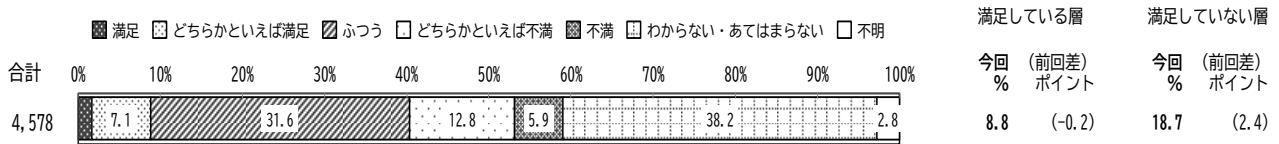


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 子どもの教育の満足度について

- 「満足している層」の割合が8.8%で、「満足していない層」の割合（18.7%）より9.9ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.2ポイント低く、「満足していない層」の割合が2.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-16 子どもの教育の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が3.2ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、40歳代の「満足していない層」の割合(28.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると5.8ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(22.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると5.0ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合(23.0%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.6ポイント高くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合(24.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.5ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

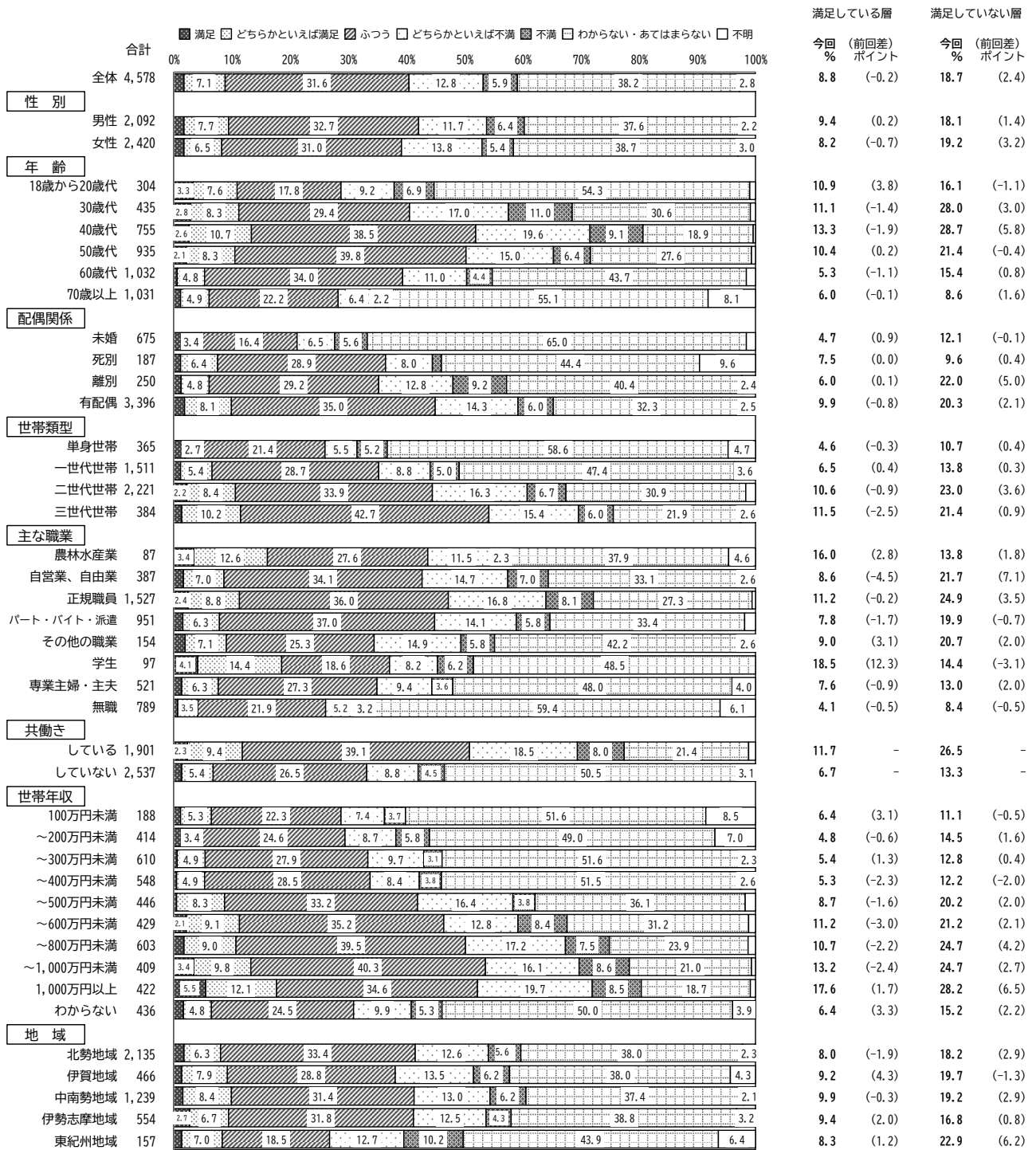
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足していない層」の割合(28.2%)が高く、前回調査の割合と比較すると6.5ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合(22.9%)が高く、前回調査の割合と比較すると6.2ポイント高くなっています。

図表 2-2-17 子どもの教育の満足度（属性別）

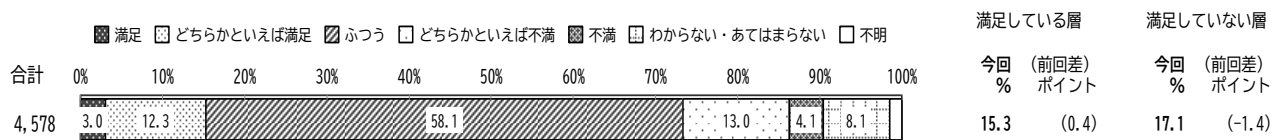


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度について

- 「満足している層」の割合が15.3%で、「満足していない層」の割合（17.1%）より1.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.4ポイント高く、「満足していない層」の割合が1.4ポイント低くなっています。

図表 2-2-18 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が4.2ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 40歳代から70歳未満の年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、60歳代の「満足していない層」の割合(21.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.7ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 死別を除くすべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合(18.8%)が高く、前回調査の割合と比較すると0.2ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 三世帯世帯を除くすべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、単身世帯、一世帯世帯の「満足していない層」の割合(17.8%)が高く、単身世帯では前回調査の割合と比較すると3.4ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 正規職員、パート・バイト・派遣、無職で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合(18.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると0.8ポイント低くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

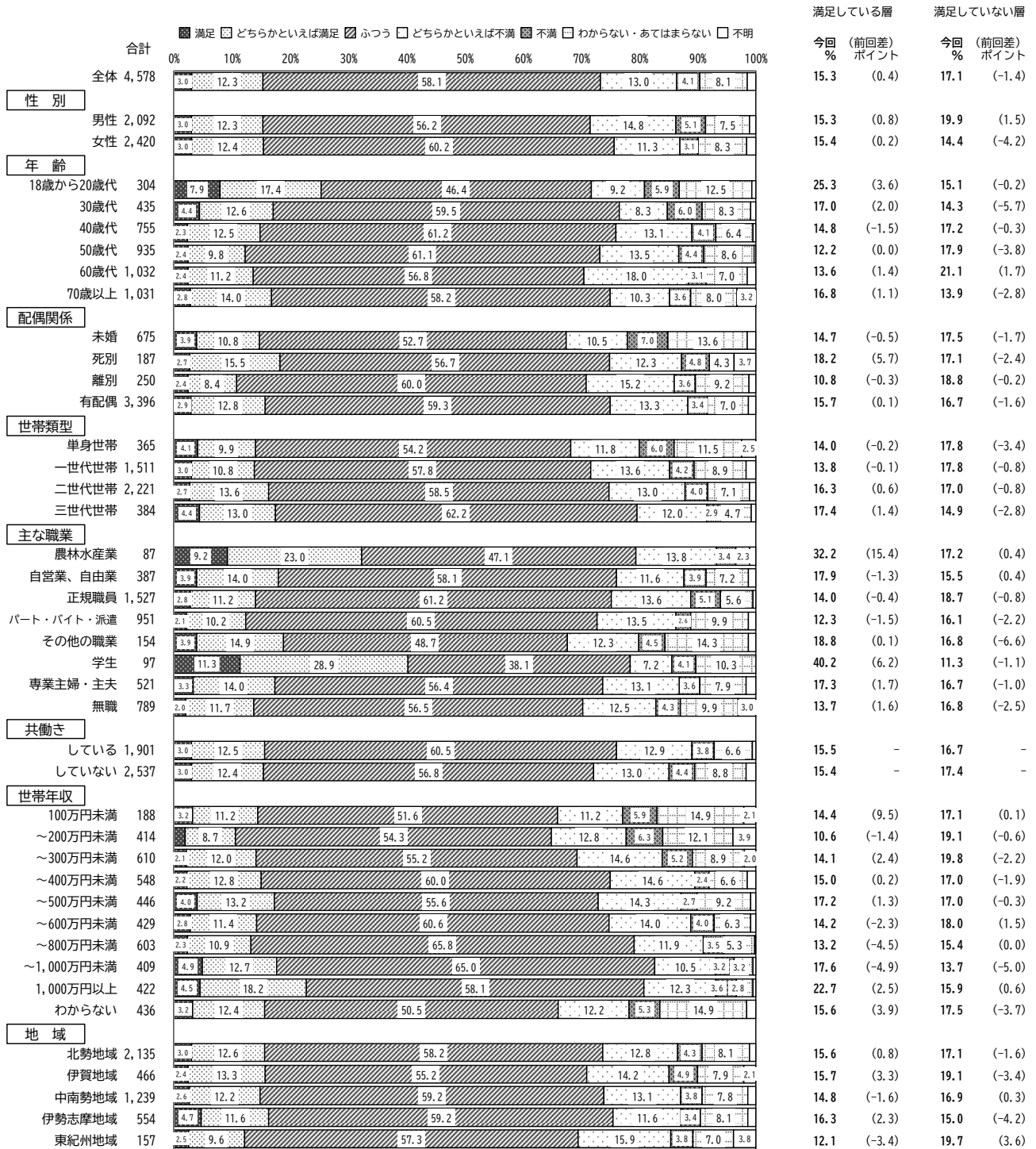
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が400万円未満、500万円以上800万円未満で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、200万円以上300万円未満の「満足していない層」の割合(19.8%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.2ポイント低くなっています。

【地域別】

- 伊勢志摩地域を除くすべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合(19.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-19 交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度（属性別）

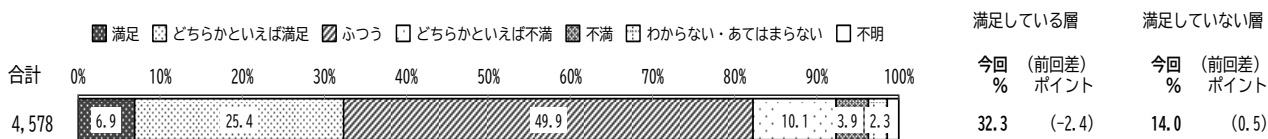


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 身のまわりの自然環境の満足度について

- 「満足している層」の割合が32.3%で、「満足していない層」の割合（14.0%）より18.3ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が2.4ポイント低く、「満足していない層」の割合が0.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-20 身のまわりの自然環境の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足している層」の割合が4.1ポイント低くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合(38.8%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.2ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、死別、有配偶の「満足している層」の割合(32.6%)が高く、死別では前回調査の割合と比較すると8.1ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足している層」の割合(36.2%)が高く、前回調査の割合と比較すると2.0ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合(49.5%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.0ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。

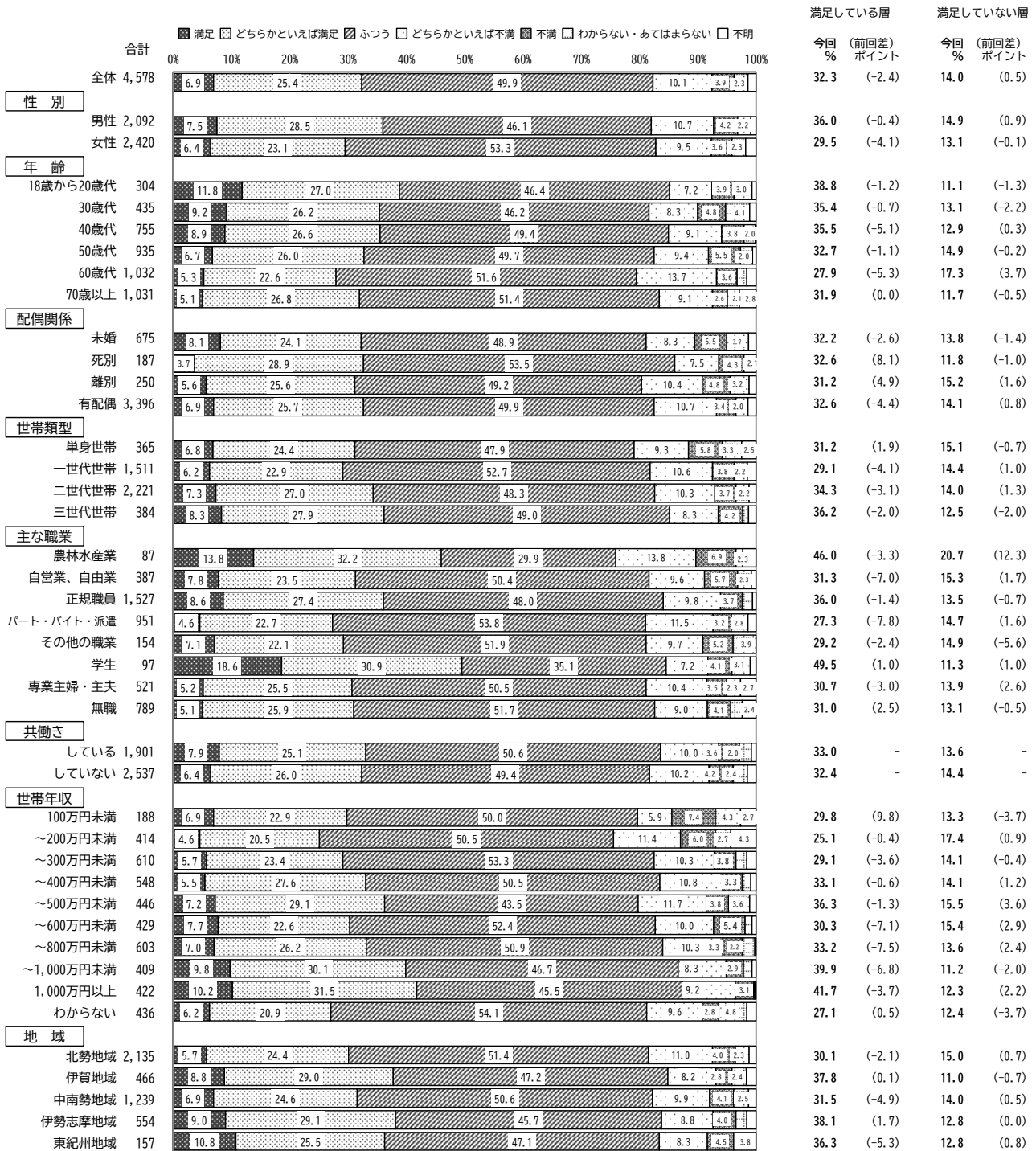
【世帯収入別】

- すべての世帯収入で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、1,000万円以上の「満足している層」の割合(41.7%)が高く、前回調査の割合と比較すると3.7ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊勢志摩地域の「満足している層」の割合(38.1%)が高く、前回調査の割合と比較すると1.7ポイント高くなっています。

図表 2-2-21 身のまわりの自然環境の満足度（属性別）

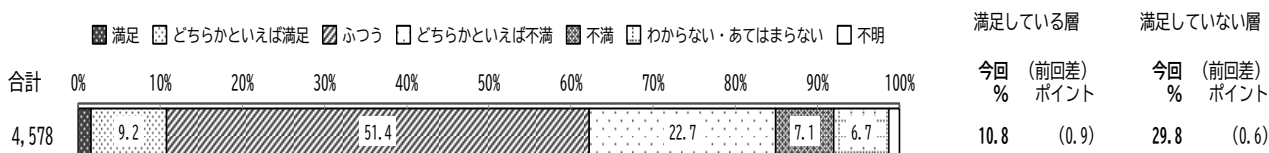


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 自然災害への備えの満足度について

- 「満足している層」の割合が10.8%で、「満足していない層」の割合（29.8%）より19.0ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.9ポイント高く、「満足していない層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-22 自然災害への備えの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足していない層」の割合が2.3ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、60歳代の「満足していない層」の割合（35.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.6ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合（32.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.7ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（31.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.0ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、農林水産業の「満足していない層」の割合（32.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると10.4ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

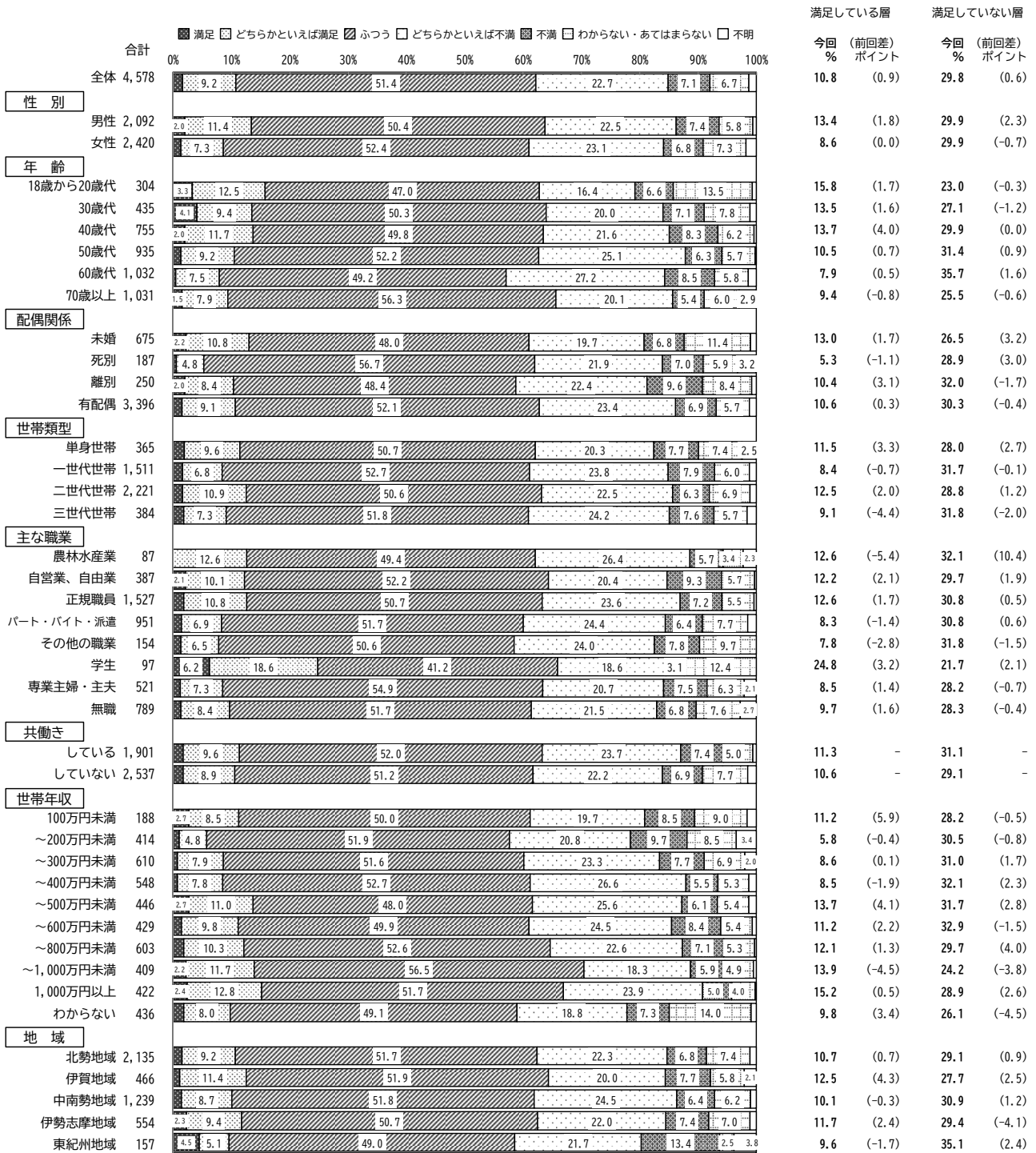
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、500万円以上600万円未満の「満足していない層」の割合（32.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.5ポイント低くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（35.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-23 自然災害への備えの満足度（属性別）

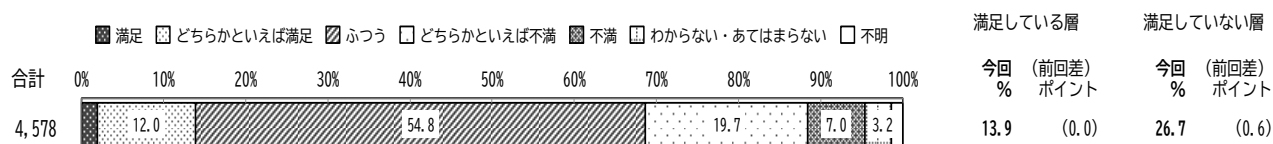


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出している。
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度について

- 「満足している層」の割合が13.9%で、「満足していない層」の割合（26.7%）より12.8ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は変化がなく、「満足していない層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-24 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足していない層」の割合が1.2ポイント高くなっています。

【年齢別】

- 30歳代以上のすべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、30歳代の「満足していない層」の割合（31.0%）が高く、前回調査の割合と比較すると変化はありません。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合（28.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると0.5ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、二世帯世帯の「満足していない層」の割合（27.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると変化はありません。

【主な職業別】

- 学生を除くすべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員の「満足していない層」の割合（30.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.6ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

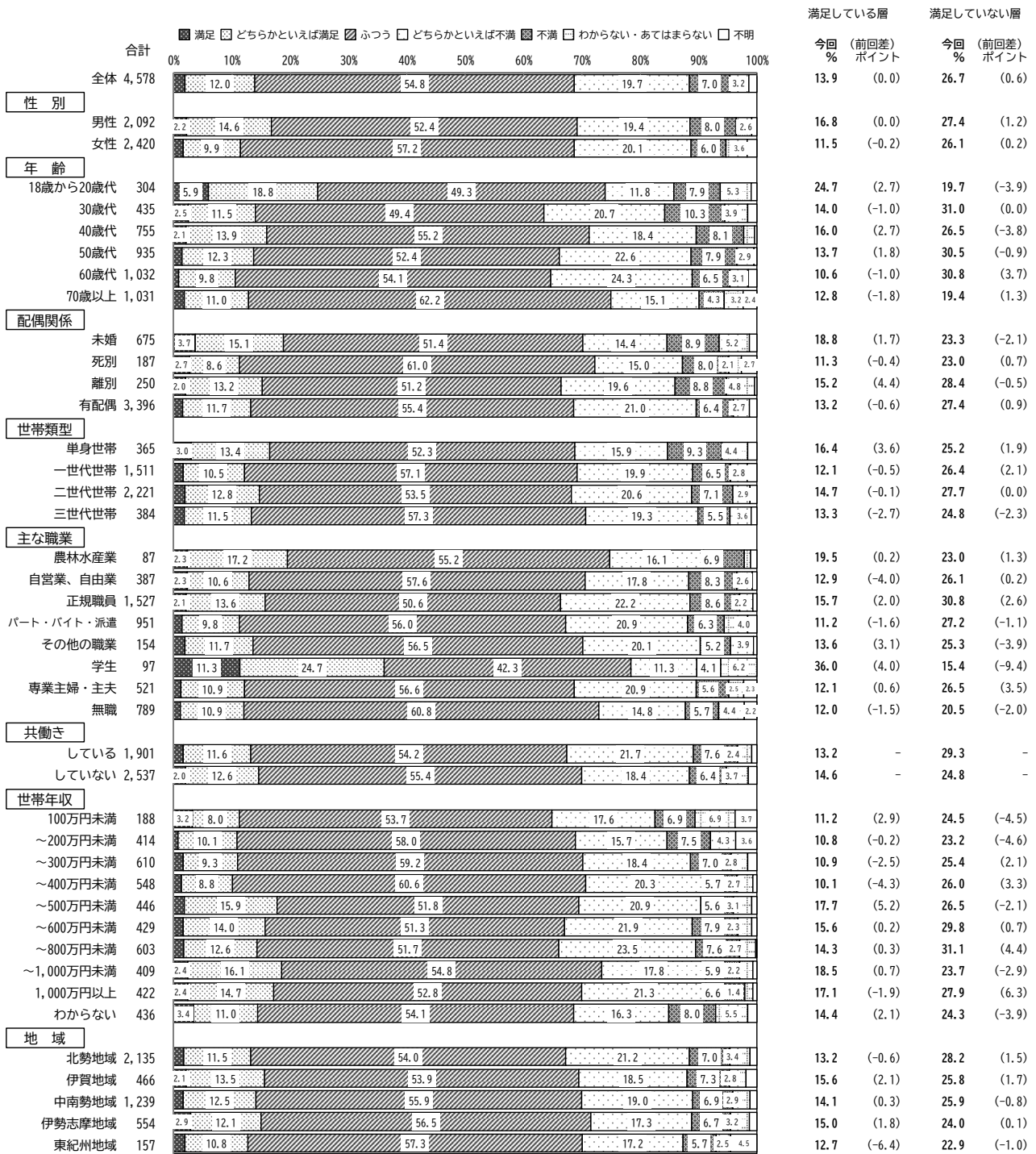
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合（31.1%）が高く、前回調査の割合と比較すると4.4ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、北勢地域の「満足していない層」の割合（28.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-25 交通安全・防犯など身のまわりの安全の満足度（属性別）

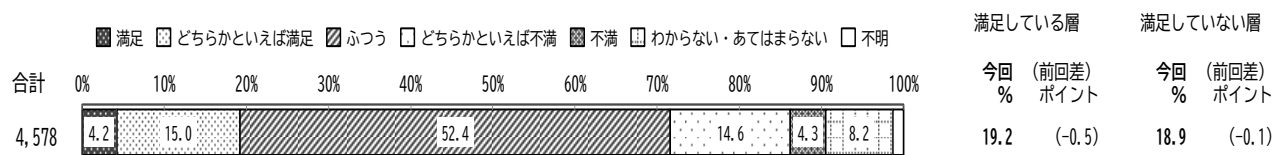


※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出している。
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度について

- 「満足している層」の割合が19.2%で、「満足していない層」の割合（18.9%）より0.3ポイント高くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合が0.5ポイント低く、「満足していない層」の割合が0.1ポイント低くなっています。

図表 2-2-26 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度



※「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男性で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、男性の「満足している層」の割合が0.4ポイント低くなっています。

【年齢別】

- 18歳から20歳代、70歳以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、18歳から20歳代の「満足している層」の割合（32.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると0.8ポイント高くなっています。

【配偶関係別】

- 未婚を除くすべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、離別の「満足していない層」の割合（21.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.6ポイント低くなっています。

【世帯類型別】

- 一世帯世帯、二世帯世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高く、単身世帯では「満足している層」と「満足していない層」の割合が他の世帯と比較して最も高くなっています。

【主な職業別】

- 農林水産業、自営業、自由業、学生、専業主婦・主夫で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足している層」の割合（49.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると8.2ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしていない世帯で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。

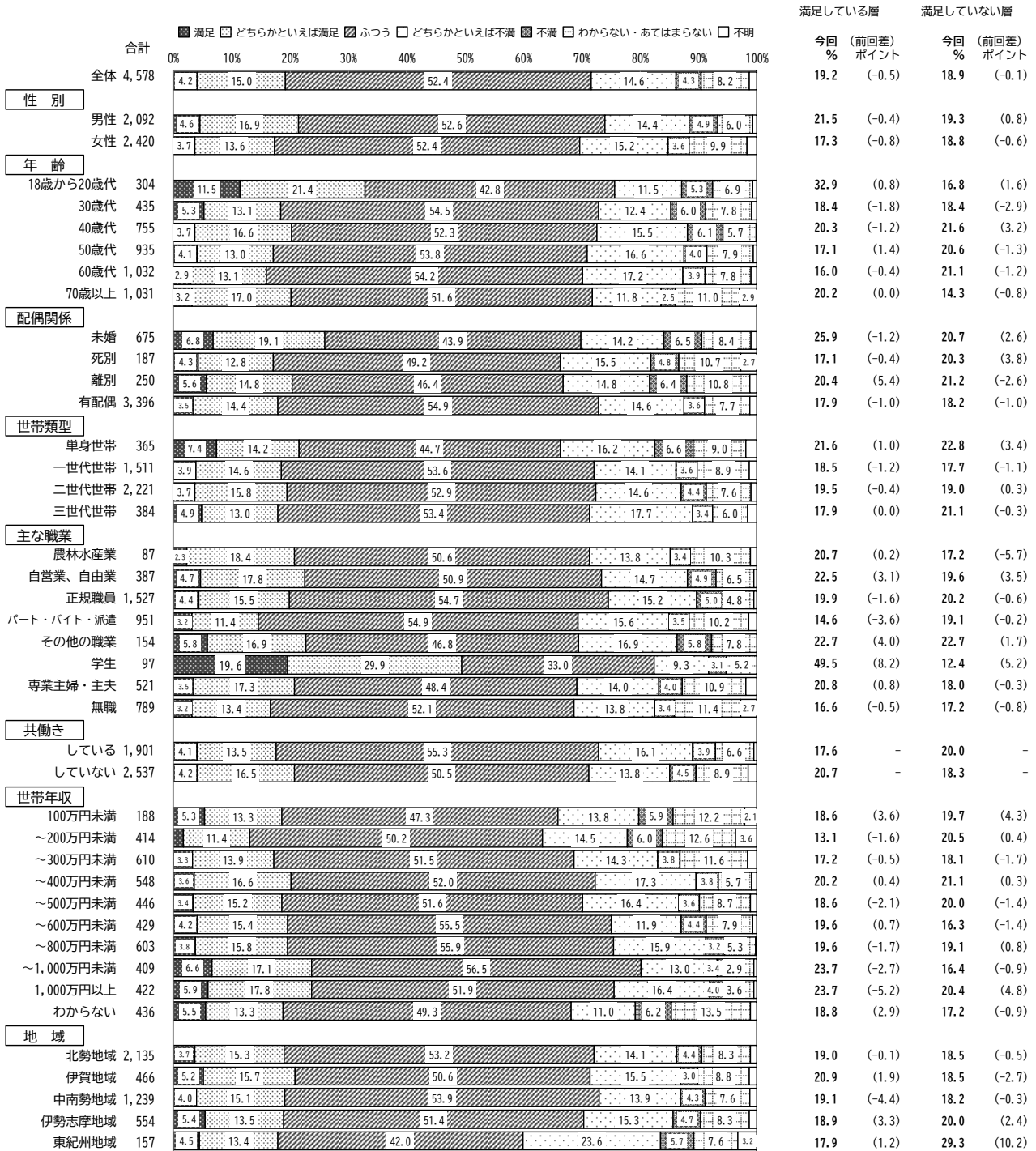
【世帯収入別】

- 世帯全体の年間収入額が500万円以上で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、800万円以上の「満足している層」の割合（23.7%）が高く、1,000万円以上では、前回調査の割合と比較すると5.2ポイント低くなっています。

【地域別】

- 北勢地域、伊賀地域、中南勢地域で「満足している層」の割合が「満足していない層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域の「満足している層」の割合（20.9%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-27 文化・スポーツなどの趣味、生きがいの満足度（属性別）

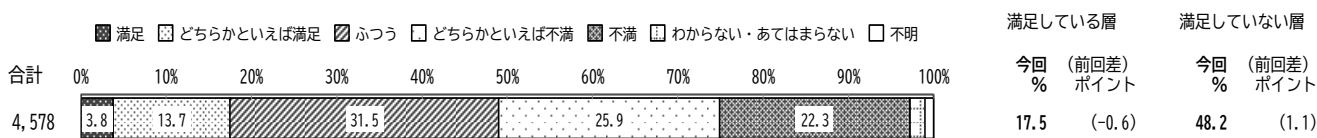


※本質問の回答割合 (%) は、「わからない・あてはまらない」や「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出している。
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

○ 移動手段、交通の便利さの満足度について

- 「満足している層」の割合が17.5%で、「満足していない層」の割合（48.2%）より30.7ポイント低くなっています。
- 前回調査の割合と比較すると、「満足している層」の割合は0.6ポイント低く、「満足していない層」の割合が1.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-28 移動手段、交通の便利さの満足度



※ 「満足している層」の割合・・・「満足」と「どちらかといえば満足」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※ 「満足していない層」の割合・・・「不満」と「どちらかといえば不満」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※割合は、「わからない・あてはまらない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。前回調査の割合と比較すると、女性の「満足していない層」の割合が1.2ポイント高くなっています。

【年齢別】

- すべての年代で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、50歳代の「満足していない層」の割合（52.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.4ポイント低くなっています。

【配偶関係別】

- すべての配偶関係で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、未婚の「満足していない層」の割合（49.2%）が高く、前回調査の割合と比較すると1.7ポイント高くなっています。

【世帯類型別】

- すべての世帯構造で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、三世帯世帯の「満足していない層」の割合（49.8%）が高く、前回調査の割合と比較すると0.4ポイント低くなっています。

【主な職業別】

- すべての職業で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、学生の「満足していない層」の割合（52.5%）が高く、前回調査の割合と比較すると3.0ポイント高くなっています。

【共働き】

- 共働きをしている、していないにかかわらず、「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。

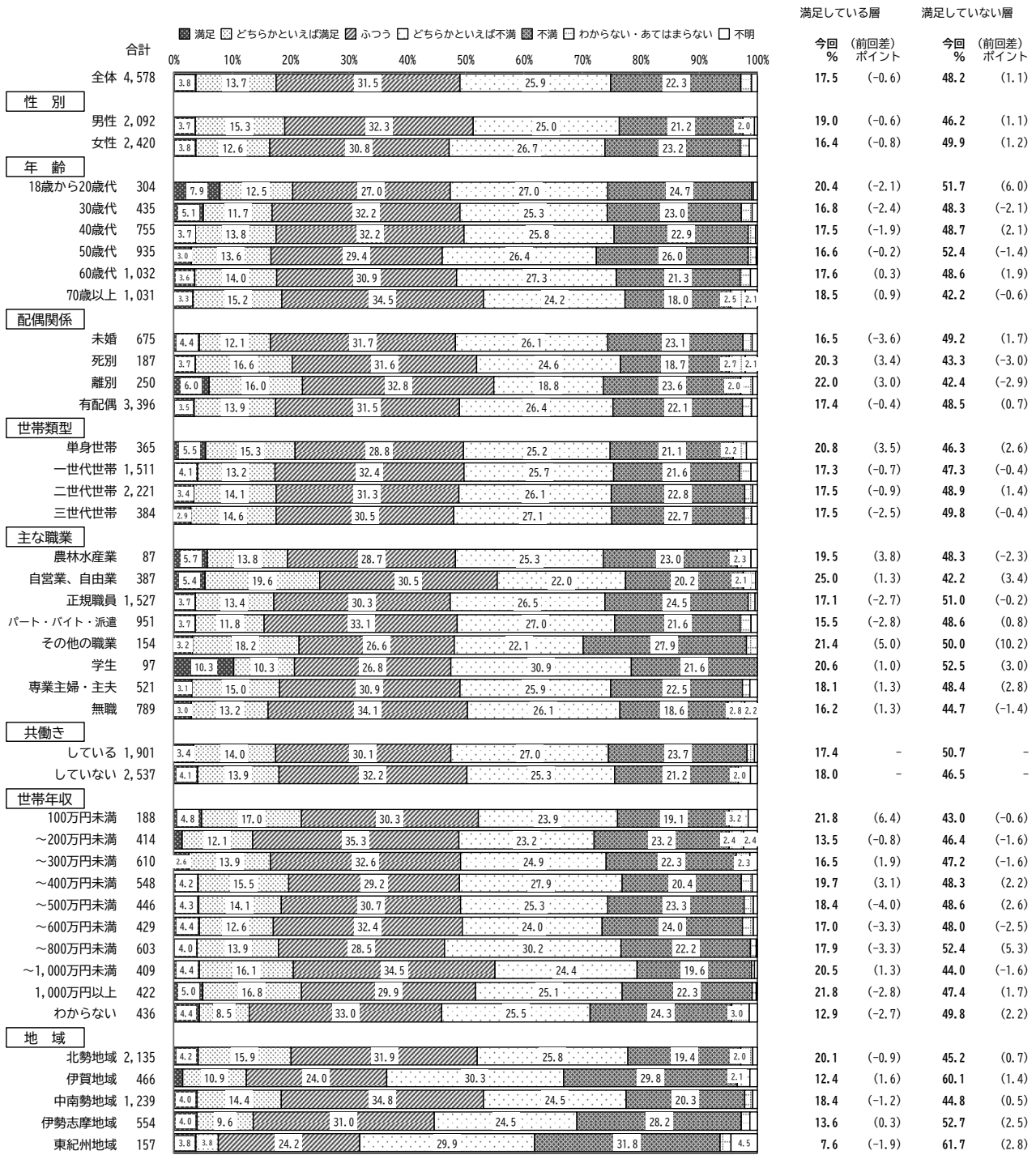
【世帯収入別】

- すべての世帯年収で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、600万円以上800万円未満の「満足していない層」の割合（52.4%）が高く、前回調査の割合と比較すると5.3ポイント高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「満足していない層」の割合が「満足している層」の割合より高くなっています。特に、東紀州地域の「満足していない層」の割合（61.7%）が高く、前回調査の割合と比較すると2.8ポイント高くなっています。

図表 2-2-29 移動手段、交通の便利さの満足度（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「わからない・あてはまらない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出している。
 ※「共働き」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。

Ⅱ 集計結果

3. 県が注力している取組

3. 県が注力している取組に関することについて

「強じんな美し国ビジョンみえ」で示す基本理念の実現に向けて取組を一層加速させていかなければならないと考えられる課題を抽出し、積極果敢に対応していくため、県民の皆さんの実感や状況をみえ県民1万人アンケートでおききました。

問番号	質問文の概要	課題
問3	自然災害が起こったとき、被害を少なくするためにどれに重点をおくべきか	災害への備えについて
問4	「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思うか	
問5	避難所での生活においてどのようなことを求めるか	
問7	家庭生活において男女の地位は平等になっていると思うか	男女共同参画について
問8	どのような分野で男女の地位は平等になっていないと思うか	
問17	三重県に今後も住み続けたいと思うか	定住意向について
問18	問17の答えた理由	
問19-①	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】	公共交通について
問19-②	出かける際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】	
問20-①	自宅から鉄道やバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じるか【鉄道】	
問20-②	自宅から鉄道やバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じるか【バス】	
問21	県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか	観光について
問22	日本人と国籍の異なる外国人が、地域社会で共に生きていく共生社会についてどう思うか	共生社会について
問23	行政手続をする際、デジタルサービスを利用したことはあるか	デジタルの活用について
問23-2	デジタルサービスを利用したことがない理由	
問24	国政選挙・地方選挙時に、これまでに見た・聞いたことがある啓発媒体	選挙について

※「結婚について」、「子ども・子育て支援について」、「人口減少対策について」、の集計結果は75ページから96ページに記載

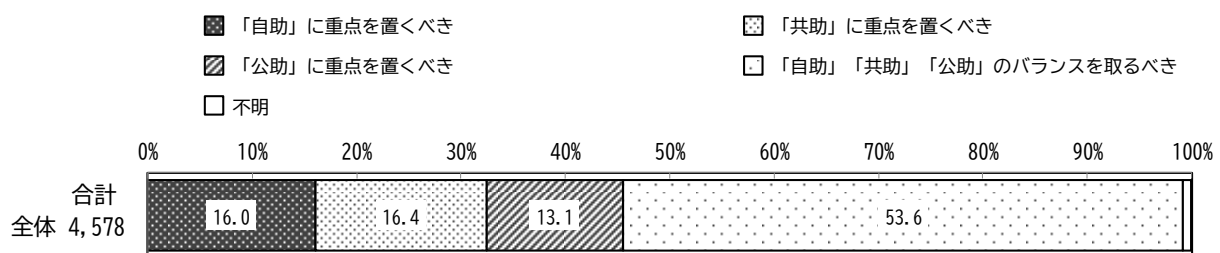
➤ 県が注力している取組に関すること（項目ごとの集計結果）

3.1 災害への備えについて

問3 あなたは、自然災害が起こったときに、被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきと考えていますか。

- 自然災害が起きた場合、「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきかについて質問したところ、「『自助』『共助』『公助』のバランスを取るべき」が53.6%で最も高く、次いで「『共助』に重点を置くべき」（16.4%）、「『自助』に重点を置くべき」（16.0%）となっています。

図表 3-3-1 自然災害が起こったとき、「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきだと思うか



※本質問の回答割合 (%) は、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「『自助』『共助』『公助』のバランスを取るべき」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「『自助』『共助』『公助』のバランスを取るべき」の割合（58.9%）が高くなっています。

【年代別】

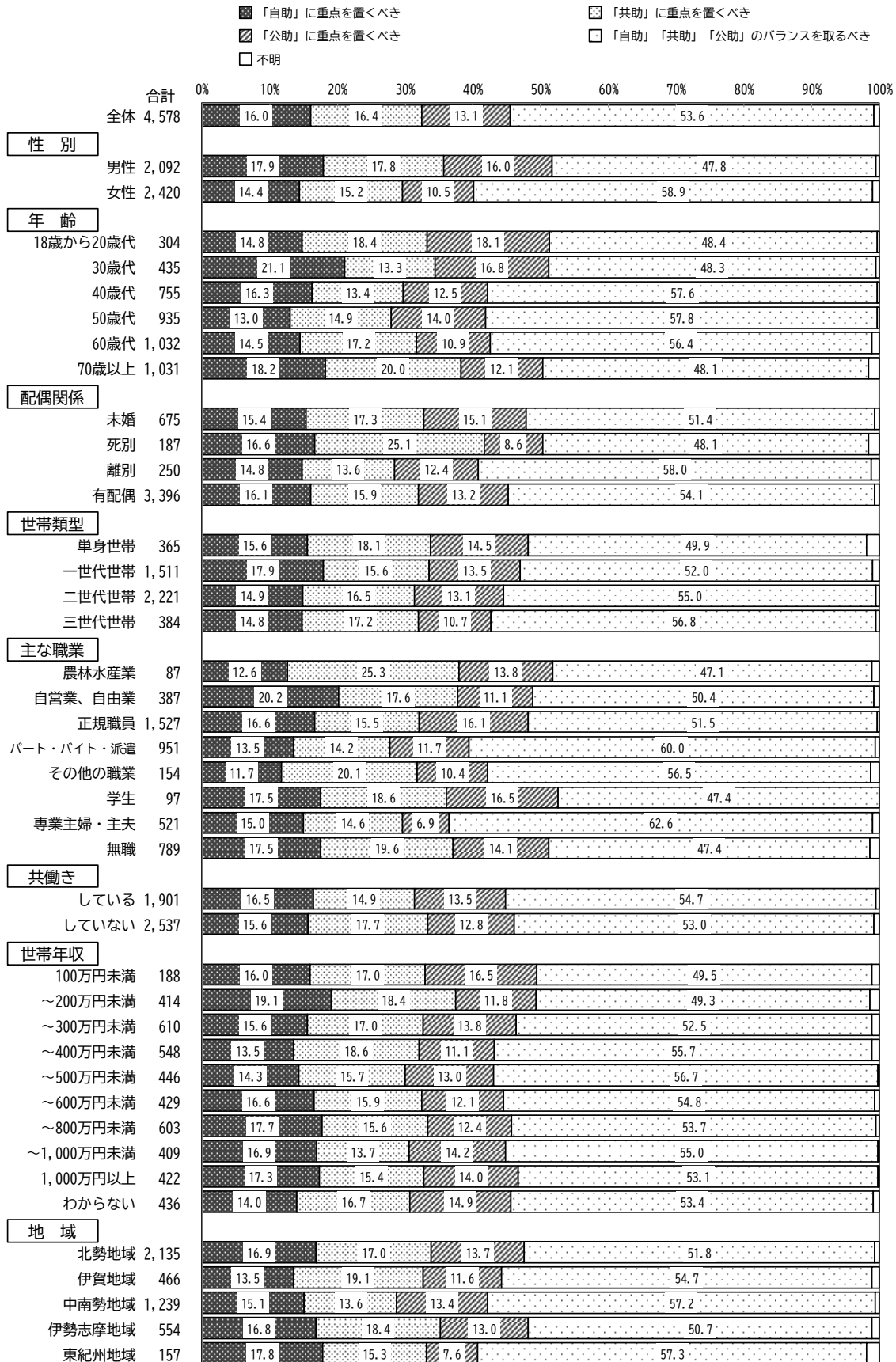
- すべての年代で「『自助』『共助』『公助』のバランスを取るべき」の割合が最も高くなっています。特に、40歳代から70歳未満では半数を超える割合となっています。

【地域別】

- すべての地域で「『自助』『共助』『公助』のバランスを取るべき」の割合が最も高くなっています。「『自助』に重点を置くべき」と「『共助』に重点を置くべき」と回答した割合を比較した場合、中南勢地域、東紀州地域では「『自助』に重点を置くべき」の割合が高く、北勢地域、伊賀地域、伊勢志摩地域では「『共助』に重点を置くべき」の割合が高くなっています。

図表 3-3-2 自然災害が起こったとき、「自助」、「共助」、「公助」のどれに重点をおくべきだと思うか

(属性別)



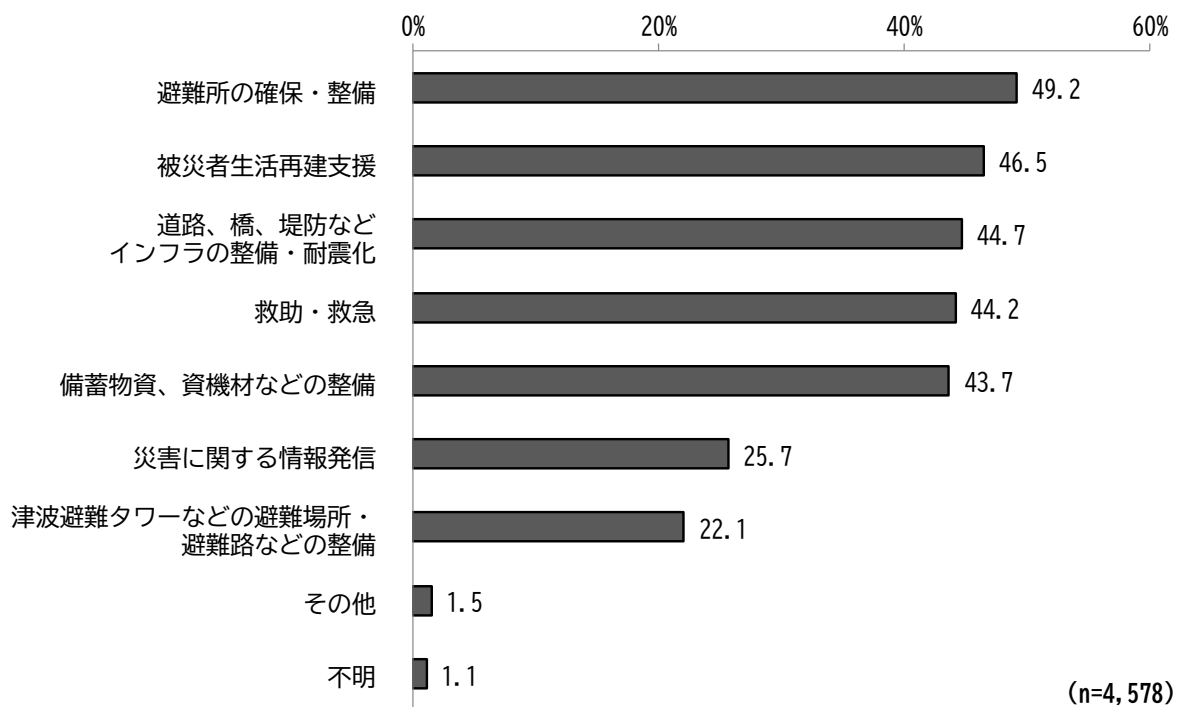
※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問4 あなたは、「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思いますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

○ 「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思うかについて質問したところ、「避難所の確保・整備」が49.2%で最も高く、次いで「被災者生活再建支援」(46.5%)、「道路、橋、堤防などインフラの整備・耐震化」(44.7%)となっています。

図表 3-4-1 「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思うか



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 3-4-2 「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思うか（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	津波避難 タワーなど の避難 場所・ 避難路など の整備	道路、橋、 堤防など インフラの 整備・ 耐震化	備蓄物資、 資機材など の整備	避難所の 確保・整備	救助・救急	災害に関する 情報発信	被災者生活 再建支援	その他	不明
全体		4,578	22.1	44.7	43.7	49.2	44.2	25.7	46.5	1.5	1.1
性別	男性	2,092	21.4	47.5	43.7	47.3	43.8	24.2	45.2	1.8	0.8
	女性	2,420	22.6	42.3	43.9	51.0	44.5	26.9	48.0	1.2	1.3
年齢	18歳から20歳代	304	30.9	48.7	51.6	46.7	48.4	19.7	31.3	1.3	-
	30歳代	435	26.9	47.4	53.8	49.0	39.8	19.5	36.8	2.1	0.7
	40歳代	755	24.0	47.0	49.7	48.5	43.4	20.1	46.2	1.5	0.7
	50歳代	935	22.0	45.0	44.8	47.8	44.3	23.9	49.5	1.2	0.7
	60歳代	1,032	20.0	45.6	38.9	50.5	44.9	29.1	50.5	1.6	1.1
	70歳以上	1,031	17.8	39.5	37.3	51.1	44.0	32.5	49.0	1.6	2.1
配偶関係	未婚	675	24.9	47.4	46.2	46.4	45.6	19.7	42.7	2.1	1.2
	死別	187	21.9	42.8	36.9	44.9	46.5	31.0	51.9	1.1	1.1
	離別	250	22.4	38.0	40.0	46.0	46.8	25.6	48.8	2.0	2.0
	有配偶	3,396	21.6	44.8	44.1	50.4	43.6	26.7	46.9	1.4	0.9
世帯類型	単身世帯	365	24.7	40.8	40.5	46.0	43.3	30.1	44.1	2.5	2.5
	一世帯世帯	1,511	20.3	45.2	42.4	51.0	43.5	28.7	46.5	1.6	1.0
	二世帯世帯	2,221	23.1	44.9	45.4	48.4	44.6	23.3	46.6	1.3	0.8
	三世帯世帯	384	21.1	45.6	44.0	50.0	44.0	22.9	51.3	1.6	1.8
主な職業	農林水産業	87	17.2	42.5	37.9	41.4	42.5	33.3	55.2	2.3	-
	自営業、自由業	387	21.2	41.1	41.6	49.1	41.9	29.5	47.5	3.1	0.8
	正規職員	1,527	24.2	47.9	47.1	48.8	43.4	21.7	43.6	1.3	0.4
	パート・バイト・派遣	951	22.3	43.8	44.3	47.8	44.3	24.7	51.5	0.7	1.1
	その他の職業	154	16.9	42.2	46.1	46.8	51.9	25.3	49.4	1.3	1.9
	学生	97	36.1	50.5	52.6	51.5	43.3	20.6	28.9	-	-
	専業主婦・主夫	521	18.0	43.2	43.8	53.0	43.4	31.3	47.6	1.2	1.7
	無職	789	20.0	43.0	37.5	50.4	45.9	28.4	46.8	2.4	2.3
共働き	している	1,901	22.8	45.8	45.4	49.6	43.6	24.4	46.3	1.3	0.6
	していない	2,537	21.4	44.1	43.0	49.3	44.4	26.6	46.9	1.6	1.4
世帯年収	100万円未満	188	25.0	40.4	37.2	51.6	41.0	32.4	39.4	1.1	2.7
	～200万円未満	414	18.6	38.6	39.4	51.2	44.9	28.7	48.1	2.7	2.2
	～300万円未満	610	21.0	39.0	39.7	50.7	44.1	28.0	49.8	2.0	1.6
	～400万円未満	548	16.4	44.7	42.0	49.1	46.4	29.0	49.1	2.2	1.5
	～500万円未満	446	23.5	45.1	45.7	48.2	42.8	24.0	50.4	0.7	0.4
	～600万円未満	429	22.6	45.0	45.7	46.9	48.3	24.9	45.9	1.4	0.7
	～800万円未満	603	26.9	45.4	46.4	49.1	43.0	23.7	46.3	0.8	0.2
	～1,000万円未満	409	22.7	51.1	47.9	49.1	41.1	23.2	44.5	0.7	0.2
	1,000万円以上	422	26.3	49.3	49.1	49.1	37.7	24.2	40.8	1.2	0.9
	わからない	436	19.7	48.2	43.8	48.9	50.7	21.8	45.9	1.8	0.7
地域	北勢地域	2,135	21.6	44.4	44.1	51.4	43.4	25.1	47.2	1.5	1.0
	伊賀地域	466	10.7	45.9	44.4	45.5	51.5	30.7	45.9	0.9	2.4
	中南勢地域	1,239	24.0	44.5	44.2	49.8	43.5	24.5	45.6	1.8	0.6
	伊勢志摩地域	554	26.7	44.9	42.1	44.0	43.5	25.8	48.0	1.6	1.1
	東紀州地域	157	31.2	47.1	39.5	43.3	40.1	28.7	43.3	0.6	2.5

※凡例：第1位 第2位 第3位

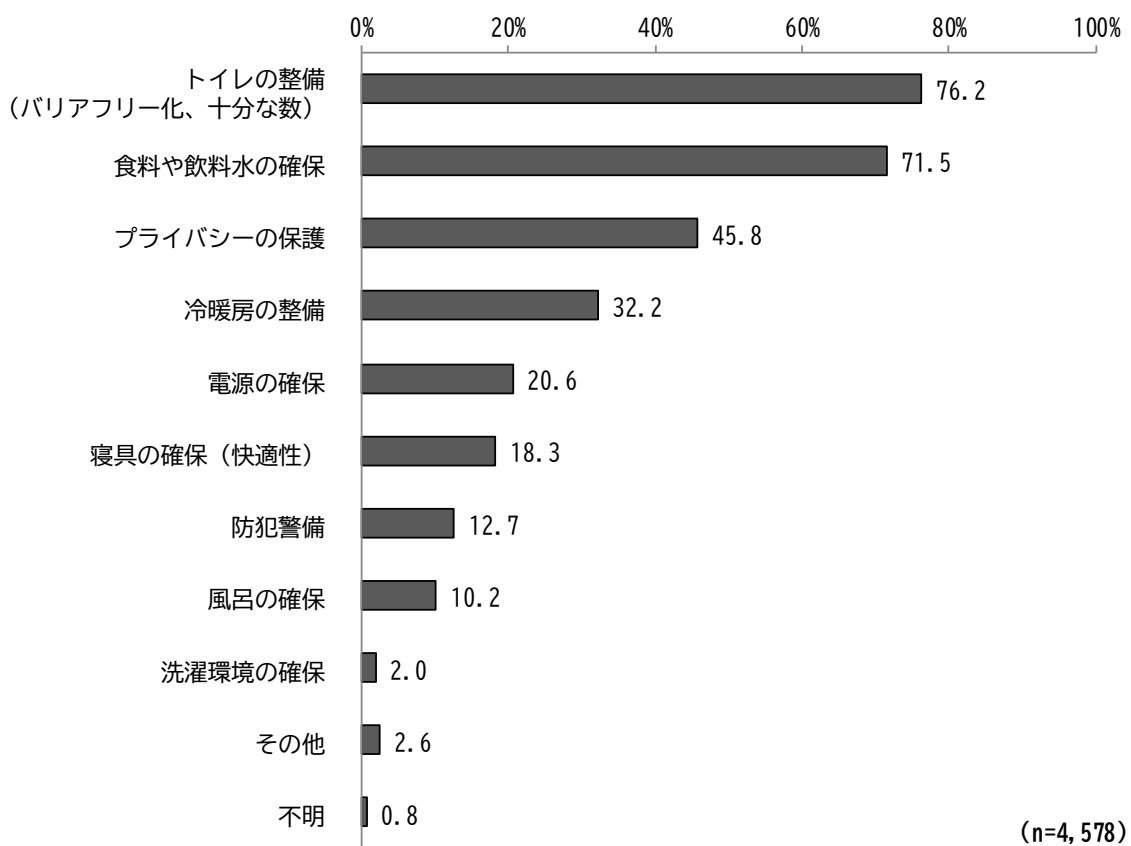
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問5 大規模な災害が発生したときは、避難所での生活が必要となることがあります（場合によっては長期間）。あなたは、避難所での生活においてどのようなことを求めますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

（○は3つまで）

- 避難所での生活においてどのようなことを求めるかについて質問したところ、「トイレの整備（バリアフリー化、十分な数）」が76.2%で最も高く、次いで「食料や飲料水の確保」（71.5%）、「プライバシーの保護」（45.8%）となっています。

図表 3-5-1 避難所での生活においてどのようなことを求めるか



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 3-5-2 避難所での生活においてどのようなことを求めるか（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（%）

		合計	冷暖房の整備	トイレの整備 (バリアフリー化、十分な数)	寝具の確保 (快適性)	プライバシーの保護	防犯警備	食料や飲料水の確保	電源の確保	風呂の確保	洗濯環境の確保	その他	不明
全体		4,578	32.2	76.2	18.3	45.8	12.7	71.5	20.6	10.2	2.0	2.6	0.8
性別	男性	2,092	32.8	73.4	20.5	40.9	11.0	73.1	23.1	11.7	1.9	2.4	0.6
	女性	2,420	31.9	78.9	16.4	49.9	14.0	70.2	18.5	8.8	2.1	2.8	0.9
年齢	18歳から20歳代	304	35.9	68.4	20.7	40.1	13.8	76.3	26.0	8.9	1.0	2.3	0.3
	30歳代	435	40.9	60.9	21.6	44.1	16.6	66.7	25.5	10.3	2.1	3.9	0.5
	40歳代	755	35.2	71.1	16.6	47.7	17.9	66.0	23.4	11.1	1.7	2.4	0.3
	50歳代	935	33.8	76.3	14.4	51.7	15.0	66.3	20.3	9.9	1.3	3.4	0.7
	60歳代	1,032	31.8	80.3	19.2	46.5	10.7	73.0	17.0	9.8	2.1	2.2	1.0
	70歳以上	1,031	25.0	85.0	20.5	40.3	6.6	79.4	18.7	10.3	3.1	1.9	1.3
配偶関係	未婚	675	31.9	71.7	19.6	41.0	15.0	69.6	26.5	12.1	1.8	2.5	0.7
	死別	187	31.6	87.2	19.3	41.7	7.5	80.2	13.9	7.0	3.7	1.6	0.5
	離別	250	35.6	69.6	19.6	44.0	10.4	71.2	20.8	12.4	0.8	3.2	1.6
	有配偶	3,396	32.1	77.1	17.8	47.1	12.7	71.5	19.8	9.7	2.1	2.7	0.8
世帯類型	単身世帯	365	31.5	73.2	20.3	42.5	11.0	71.5	23.3	10.4	1.9	2.7	1.4
	一世代世帯	1,511	30.7	80.2	18.9	45.1	11.4	72.9	17.9	10.7	2.0	2.4	1.1
	二世代世帯	2,221	33.6	74.2	17.8	46.5	13.8	70.9	21.3	10.0	1.7	2.8	0.5
	三世代世帯	384	32.0	76.0	16.7	48.4	13.0	70.3	24.7	8.3	4.2	1.3	0.3
主な職業	農林水産業	87	28.7	80.5	21.8	41.4	13.8	75.9	21.8	8.0	2.3	1.1	-
	自営業、自由業	387	28.9	74.7	16.8	43.9	12.9	71.3	20.2	12.7	2.8	3.9	1.3
	正規職員	1,527	35.6	70.8	18.4	46.2	15.8	68.3	23.0	10.7	1.7	3.1	0.4
	パート・バイト・派遣	951	34.2	75.6	16.9	50.8	11.7	70.2	19.8	10.5	2.3	2.0	0.8
	その他の職業	154	39.0	77.3	17.5	48.7	14.9	65.6	22.1	9.7	0.6	1.3	-
	学生	97	27.8	79.4	23.7	34.0	15.5	75.3	27.8	7.2	2.1	-	-
	専業主婦・主夫	521	31.9	83.3	15.9	48.4	11.7	72.7	16.9	9.2	1.7	2.9	0.6
	無職	789	25.1	83.1	21.2	39.4	7.6	79.5	18.6	8.6	2.3	2.3	1.4
共働き	している	1,901	34.8	73.0	17.1	49.4	15.7	67.2	21.4	10.0	1.9	2.9	0.6
	していない	2,537	30.8	78.9	19.2	43.2	10.4	74.7	19.9	10.2	2.1	2.2	0.8
世帯年収	100万円未満	188	29.8	78.2	19.7	44.1	9.0	73.4	19.7	9.0	1.6	1.6	1.1
	～200万円未満	414	29.2	78.7	21.3	37.4	8.2	77.5	19.3	11.1	3.4	3.1	1.9
	～300万円未満	610	29.7	79.5	17.2	43.9	9.2	74.4	20.8	11.1	2.3	2.3	1.5
	～400万円未満	548	30.5	79.4	18.1	43.8	8.8	77.4	20.8	9.9	1.5	1.6	1.3
	～500万円未満	446	33.0	76.0	17.5	46.0	9.9	75.1	21.5	10.3	2.0	1.8	0.7
	～600万円未満	429	33.8	74.4	20.7	43.6	16.3	69.2	19.3	10.5	1.4	4.2	0.5
	～800万円未満	603	35.2	73.1	16.4	51.4	17.1	67.8	19.6	10.6	2.3	2.8	-
	～1,000万円未満	409	34.0	71.1	17.4	50.9	16.4	65.0	23.0	9.3	2.0	2.9	-
	1,000万円以上	422	34.4	76.3	18.7	48.1	14.7	65.2	23.2	7.6	1.9	3.3	0.5
	わからない	436	32.3	75.9	18.8	46.3	15.1	71.6	18.8	9.9	1.8	1.8	0.5
地域	北勢地域	2,135	34.2	76.2	18.0	45.9	12.8	70.4	20.5	9.2	2.2	2.9	0.8
	伊賀地域	466	30.7	78.3	19.1	42.9	11.2	75.3	21.5	10.5	2.8	1.9	0.6
	中南勢地域	1,239	31.8	74.3	19.0	46.4	13.4	72.6	20.2	10.7	1.6	2.5	0.6
	伊勢志摩地域	554	28.0	79.4	18.4	47.3	12.3	70.6	19.7	11.7	1.8	2.5	0.9
	東紀州地域	157	28.0	74.5	15.3	44.6	9.6	72.6	26.8	11.5	1.9	2.5	1.9

※凡例： 第1位 第2位 第3位

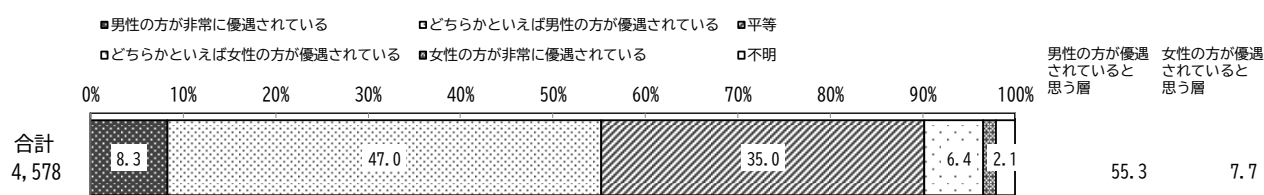
※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.2 男女共同参画について

問7 あなたは、家庭生活において男女の地位は平等になっていると思いますか。
一人暮らしの方はご実家などご自身の経験をふまえてお答えください。

- 家庭生活において男女の地位は平等になっていると思うかについて質問したところ、「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が55.3%で、「女性の方が優遇されていると思う層」(7.7%)より47.6ポイント高くなっています。

図表 3-7-1 家庭生活において男女の地位は平等になっていると思うか



※「男性の方が優遇されていると思う層」の割合・・・「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「女性の方が優遇されていると思う層」の割合・・・「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「男性の方が優遇されていると思う層」の割合(65.7%)が高くなっています。

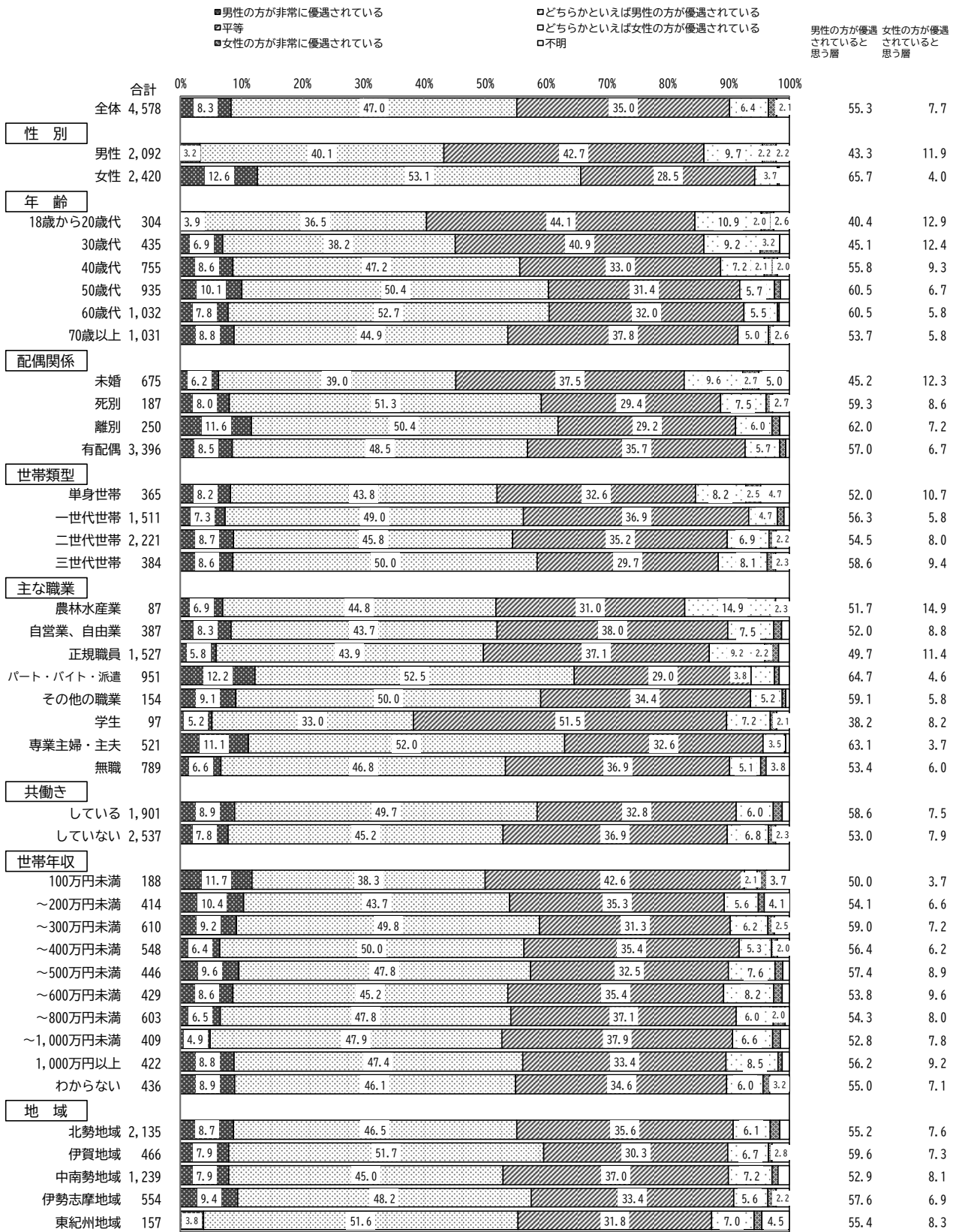
【年代別】

- すべての年代で「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が高くなっています。特に、「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が最も高いのは50歳代、60歳代(60.5%)で、最も低いのは18歳から20歳代(40.4%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が高くなっています。特に、「男性の方が優遇されていると思う層」の割合が最も高いのは伊賀地域(59.6%)で、最も低いのは中南勢地域(52.9%)となっています。

図表 3-7-2 家庭生活において男女の地位は平等になっていると思うか（属性別）

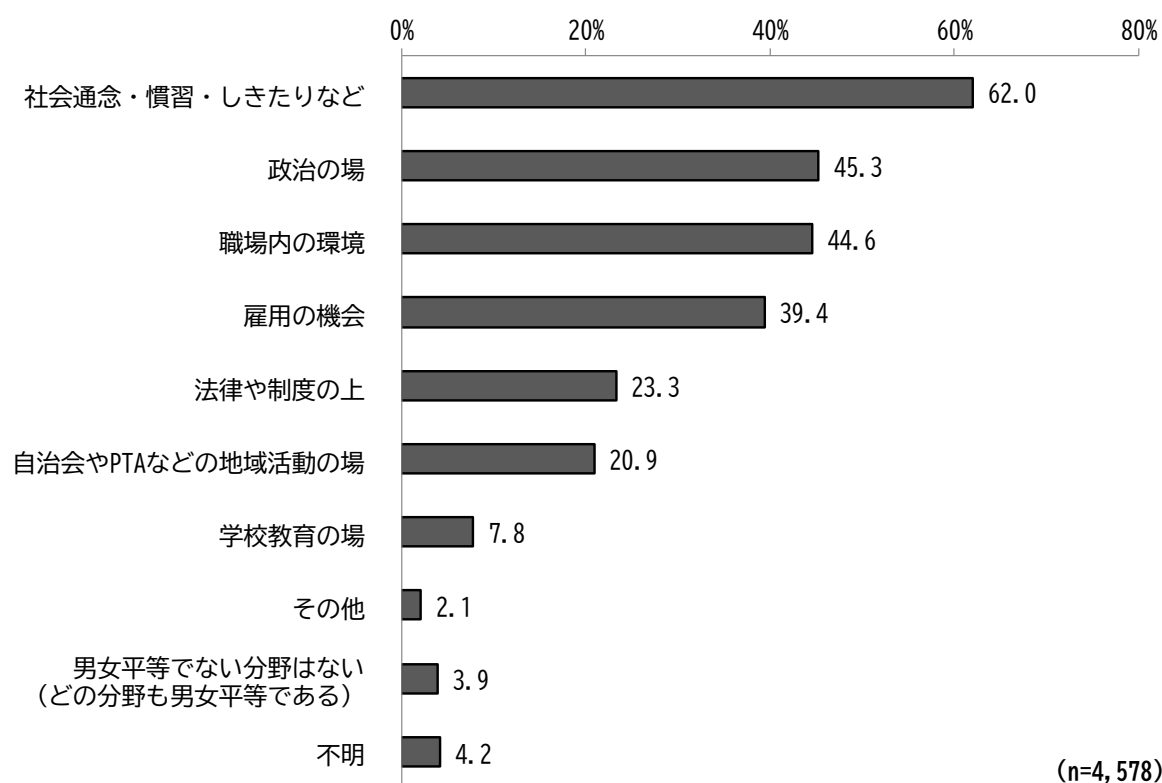


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問8 あなたは、家庭生活（問7）以外でどのような分野で男女の地位は平等になっていないと思いますか。（複数回答可）

○ どのような分野で男女の地位は平等になっていないと思うかについて質問したところ、「社会通念・慣習・しきたりなど」が62.0%で最も高く、次いで「政治の場」（45.3%）、「職場内の環境」（44.6%）となっています。

図表 3-8-1 どのような分野で男女の地位は平等になっていないと思うか



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 3-8-2 どのような分野で男女の地位は平等になっていないと思うか（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	職場内の環境	学校教育の場	政治の場	法律や制度の上	雇用の機会	社会通念・慣習・しきたりなど	自治会やPTAなどの地域活動の場	その他	男女平等でない分野はない(どの分野も男女平等である)	不明
全体		4,578	44.6	7.8	45.3	23.3	39.4	62.0	20.9	2.1	3.9	4.2
性別	男性	2,092	46.7	7.5	42.0	21.7	40.9	58.9	20.1	2.1	5.0	3.6
	女性	2,420	42.8	7.9	48.2	24.8	38.1	65.0	21.5	2.0	3.0	4.3
年齢	18歳から20歳代	304	43.7	14.5	48.7	26.0	39.5	57.6	18.1	1.3	6.9	1.0
	30歳代	435	51.5	9.2	44.8	23.7	38.6	54.9	23.9	2.5	3.9	1.4
	40歳代	755	47.7	6.5	44.4	21.9	38.5	60.1	26.6	3.6	4.0	1.7
	50歳代	935	45.5	8.1	47.5	23.0	39.8	64.5	20.6	2.0	2.8	2.1
	60歳代	1,032	45.7	8.4	47.5	25.5	41.2	65.7	19.3	1.7	3.2	4.3
	70歳以上	1,031	38.1	5.2	41.4	21.1	38.4	62.5	18.1	1.3	4.8	9.0
	配偶関係	未婚	675	45.8	10.5	44.7	24.1	37.5	59.6	17.3	3.0	5.8
死別		187	34.8	5.9	36.9	18.7	35.8	54.5	16.0	2.1	4.3	11.8
離別		250	56.0	9.6	42.0	22.4	40.8	54.4	15.2	3.2	4.8	4.0
有配偶		3,396	44.5	7.2	46.7	23.5	40.2	64.0	22.5	1.8	3.5	3.3
世帯類型	単身世帯	365	49.3	10.1	44.4	25.2	37.5	57.0	13.7	2.2	4.4	6.6
	一世代世帯	1,511	44.7	7.5	46.9	24.6	40.6	63.7	18.5	1.7	3.6	3.8
	二世帯世帯	2,221	44.5	7.6	44.7	22.6	39.9	62.0	23.7	1.9	3.8	3.5
	三世帯世帯	384	47.7	7.8	46.1	21.9	35.4	62.8	21.6	1.8	5.2	5.5
主な職業	農林水産業	87	41.4	8.0	33.3	23.0	31.0	57.5	31.0	3.4	4.6	5.7
	自営業、自由業	387	37.2	5.9	50.1	19.6	35.1	65.1	18.9	3.6	4.1	4.9
	正規職員	1,527	51.3	7.9	45.3	24.0	40.2	59.7	22.9	2.0	3.9	1.2
	パート・バイト・派遣	951	43.7	8.4	46.1	22.8	42.1	62.5	21.6	2.3	3.2	3.7
	その他の職業	154	49.4	11.7	50.6	32.5	46.8	65.6	19.5	1.3	2.6	4.5
	学生	97	33.0	17.5	46.4	17.5	33.0	57.7	16.5	-	10.3	-
	専業主婦・主夫	521	44.7	6.5	49.9	25.7	39.2	68.7	19.2	1.9	3.1	4.0
	無職	789	39.0	6.2	39.8	22.2	37.8	62.0	17.7	1.4	4.7	9.1
共働き	している	1,901	44.8	7.4	46.8	23.8	38.6	62.7	24.3	1.8	3.4	2.9
	していない	2,537	45.2	8.1	44.8	23.3	40.8	62.4	18.7	2.2	4.2	4.3
世帯年収	100万円未満	188	33.0	9.0	30.3	17.6	33.5	55.9	17.6	2.7	7.4	10.6
	～200万円未満	414	47.7	7.7	42.5	21.3	31.6	53.9	18.8	2.4	4.3	9.2
	～300万円未満	610	42.8	5.2	43.3	24.1	42.0	66.2	18.2	1.0	3.8	4.4
	～400万円未満	548	44.7	7.5	47.1	24.3	41.4	65.9	20.8	0.7	2.7	4.2
	～500万円未満	446	51.1	7.8	45.7	22.0	45.5	63.9	18.6	1.3	3.4	2.7
	～600万円未満	429	48.3	9.1	49.0	26.8	43.6	61.8	23.1	2.8	3.5	1.9
	～800万円未満	603	48.1	7.8	46.9	24.7	40.6	63.8	24.9	2.2	3.8	1.3
	～1,000万円未満	409	47.2	7.3	46.7	22.0	36.9	64.5	23.5	2.0	3.2	2.2
	1,000万円以上	422	44.7	6.4	49.5	21.1	38.2	65.4	24.4	1.7	2.8	2.4
	わからない	436	40.4	10.6	43.6	25.0	36.5	54.4	18.8	4.4	6.9	5.0
地域	北勢地域	2,135	45.7	8.1	45.3	24.0	40.3	61.7	22.5	1.6	4.1	4.2
	伊賀地域	466	47.2	8.8	45.5	20.8	47.2	64.6	20.0	2.4	2.1	4.7
	中南勢地域	1,239	44.4	7.6	46.2	23.0	37.2	61.9	20.7	2.2	4.1	3.4
	伊勢志摩地域	554	48.0	6.1	44.6	23.1	40.3	62.8	17.5	2.9	3.8	4.0
	東紀州地域	157	41.4	7.6	39.5	24.8	35.7	61.1	14.6	2.5	6.4	5.7

※凡例： 第1位 第2位 第3位

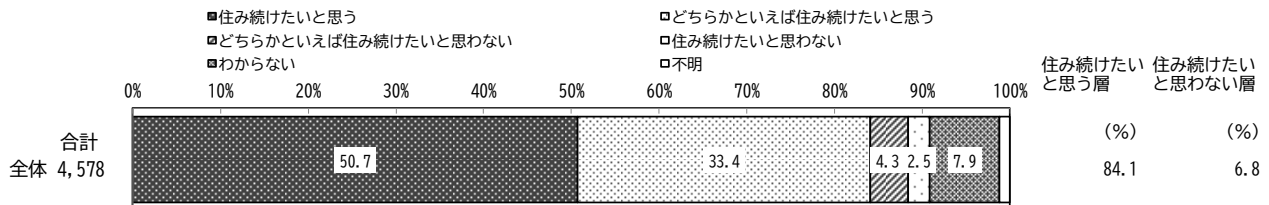
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

3.3 定住意向について

問 17 あなたは、三重県に今後も住み続けたいと思いますか。

- 三重県に今後も住み続けたいと思うかについて質問したところ、「住み続けたいと思う層」は84.1%で、「住み続けたいと思わない層」は6.8%となっています。

図表 3-17-1 三重県に今後も住み続けたいと思うか



※「住み続けたいと思う層」の割合・・・「住み続けたいと思う」と「どちらかといえば住み続けたいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※「住み続けたいと思わない層」の割合・・・「住み続けたいと思わない」と「どちらかといえば住み続けたいと思わない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計

※表質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「住み続けたいと思う層」の割合が高くなっています。男性と女性の「住み続けたいと思う層」、「住み続けたいと思わない層」を比較すると、その差は僅かとなっています。

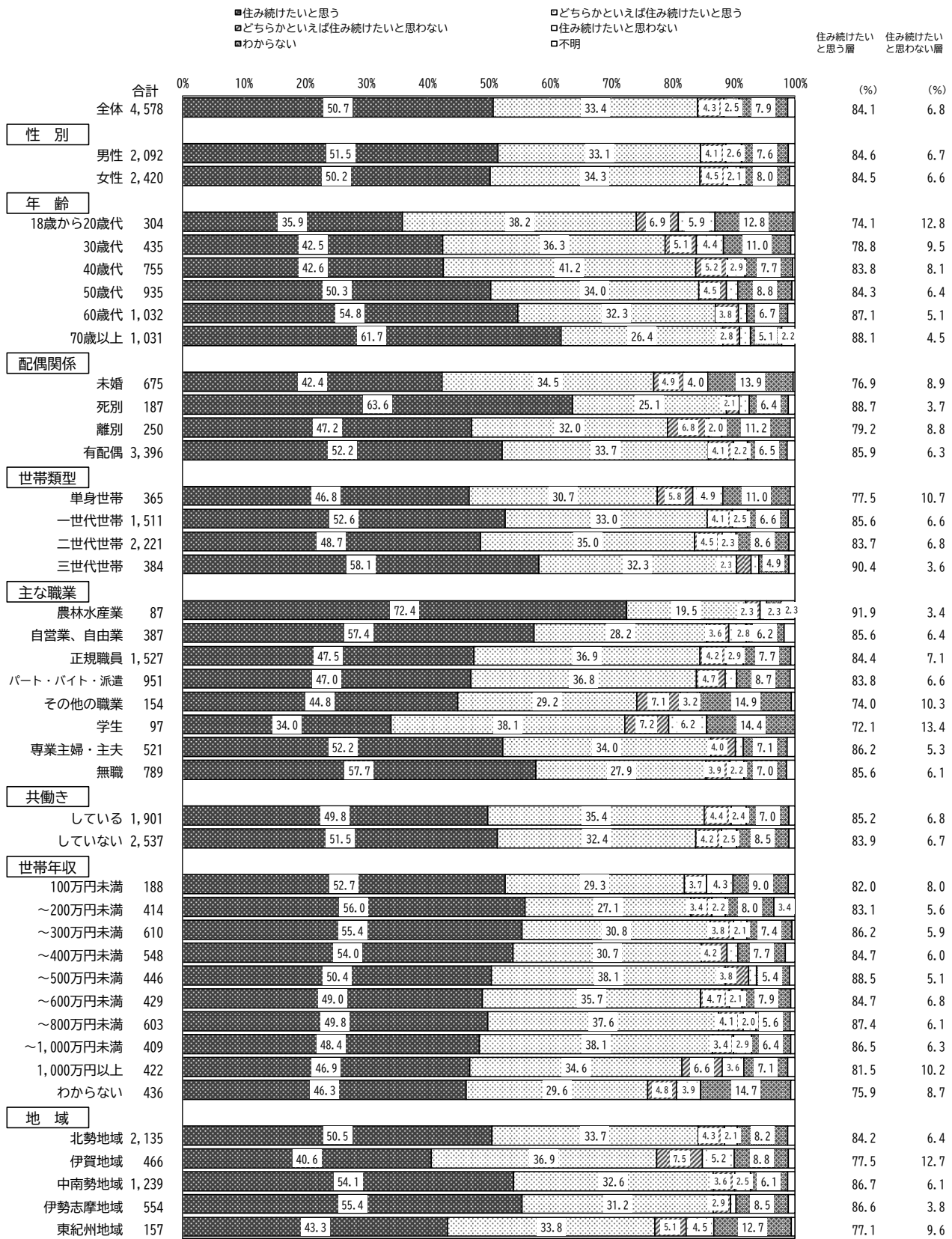
【年代別】

- すべての年代で「住み続けたいと思う層」の割合が高くなっており、年代が高くなるにつれ割合が高くなる傾向にあります。

【地域別】

- すべての地域で「住み続けたいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「住み続けたいと思う層」の割合が最も高い地域は中南勢地域 (86.7%) で、「住み続けたいと思わない層」の割合が最も高い地域は伊賀地域 (12.7%) となっています。

図表 3-17-2 三重県に今後も住み続けたいと思うか（属性別）



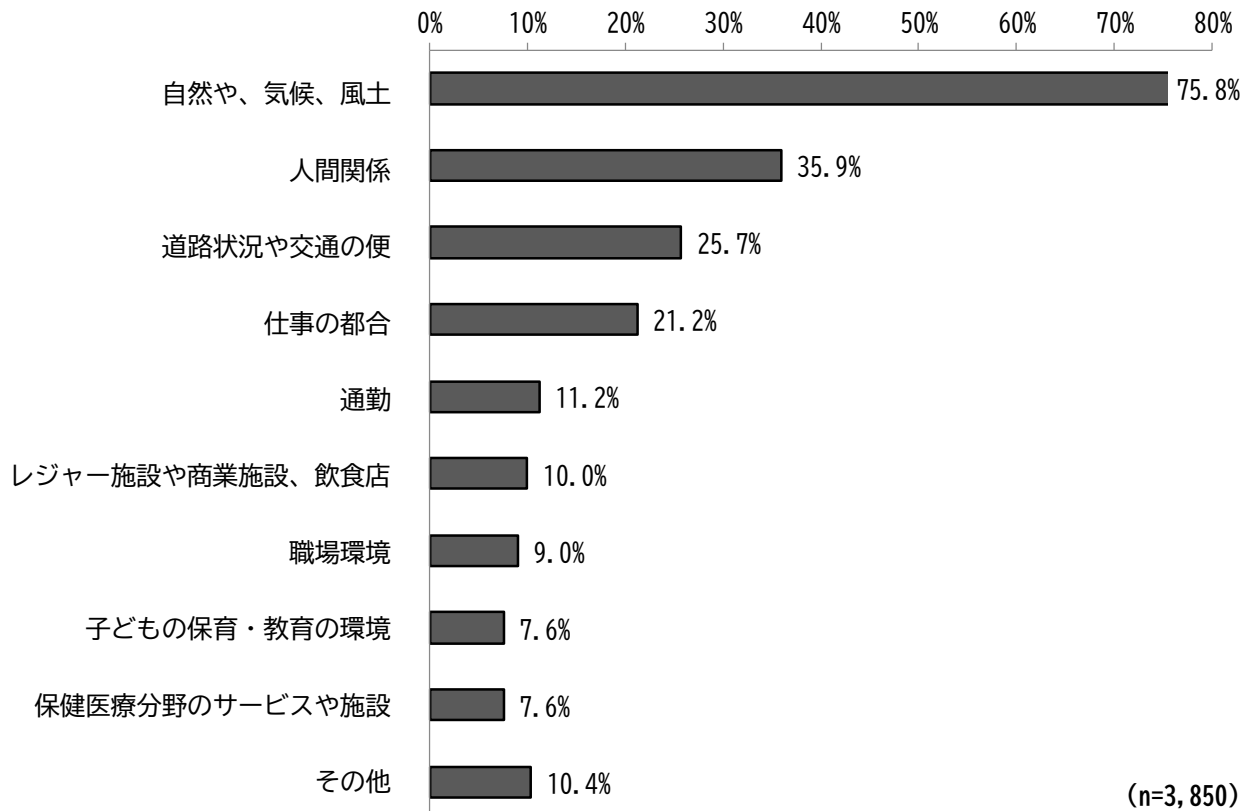
※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

問 18 問 17 で、そう答えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

(○は3つまで)

○ 問 17 の「住み続けたいと思う層」では、「自然や、気候、風土」の割合が75.8%で最も高く、次いで「人間関係」(35.9%)、「道路状況や交通の便」(25.7%)となっています。

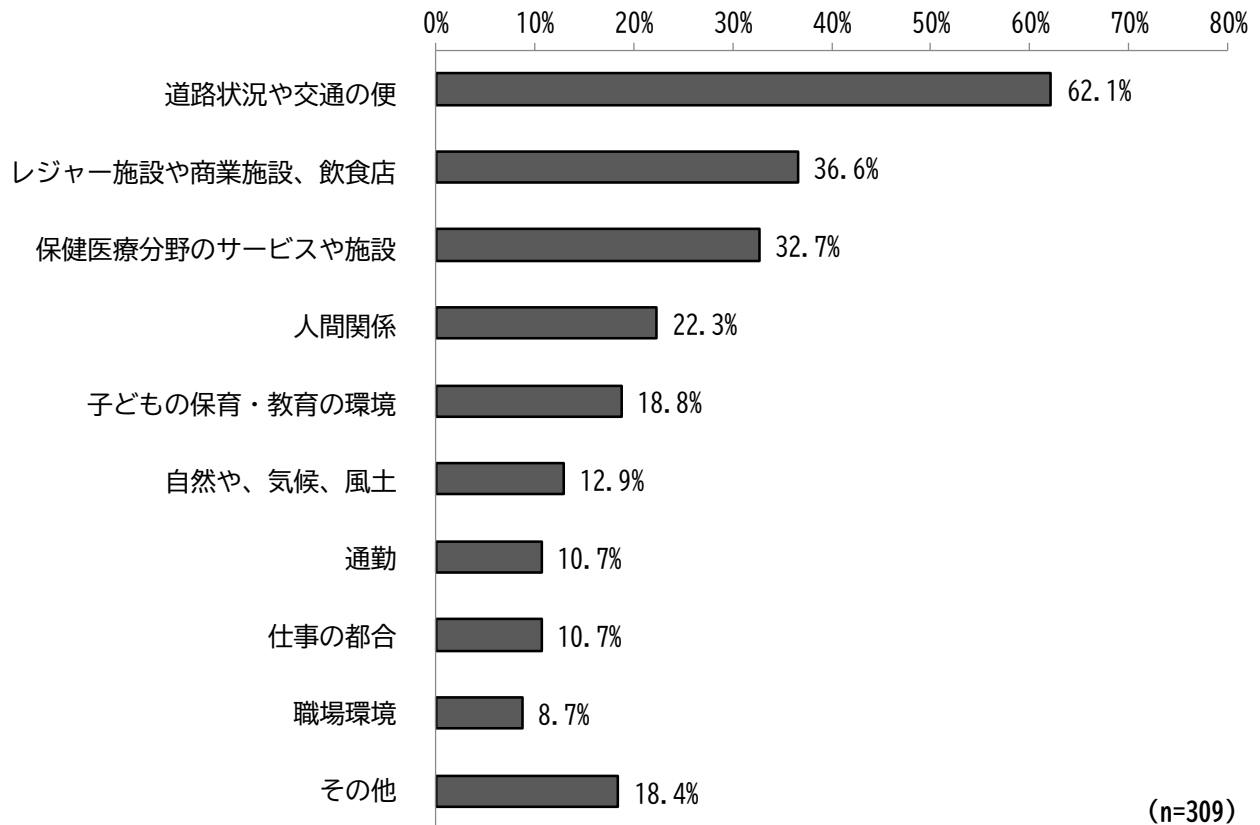
図表 3-18-1 三重県に今後も住み続けたいと思う理由



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」を分母に含めず算出

- 問17の「住み続けたいと思わない層」では、「道路状況や交通の便」の割合が62.1%で最も高く、次いで「レジャー施設や商業施設、飲食店」(36.6%)、「保健医療分野のサービスや施設」(32.7%)となっています。

図表 3-18-2 三重県に今後も住み続けたいと思わない理由



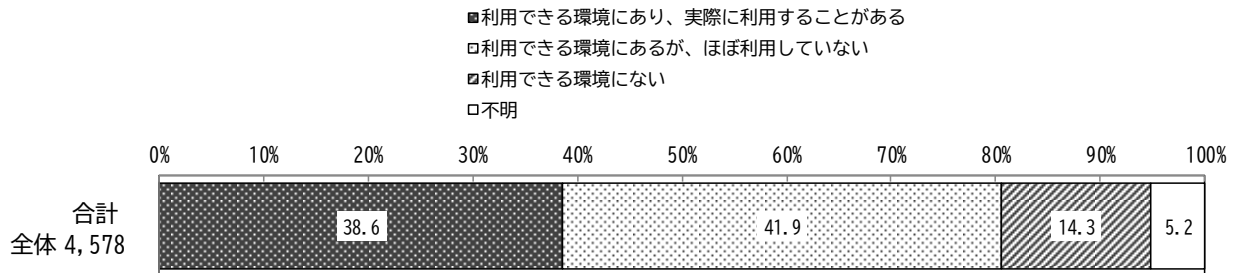
※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」を分母に含めず算出

3.4 公共交通について

問 19 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。

- お出かけの際に、鉄道を利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」が41.9%で最も高く、次いで「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(38.6%)、「利用できる環境にない」(14.3%)となっています。

図表 3-19-1 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】



【性別】

- 男性では「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合 (41.6%) が最も高く、女性では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合 (43.3%) が最も高くなっています。

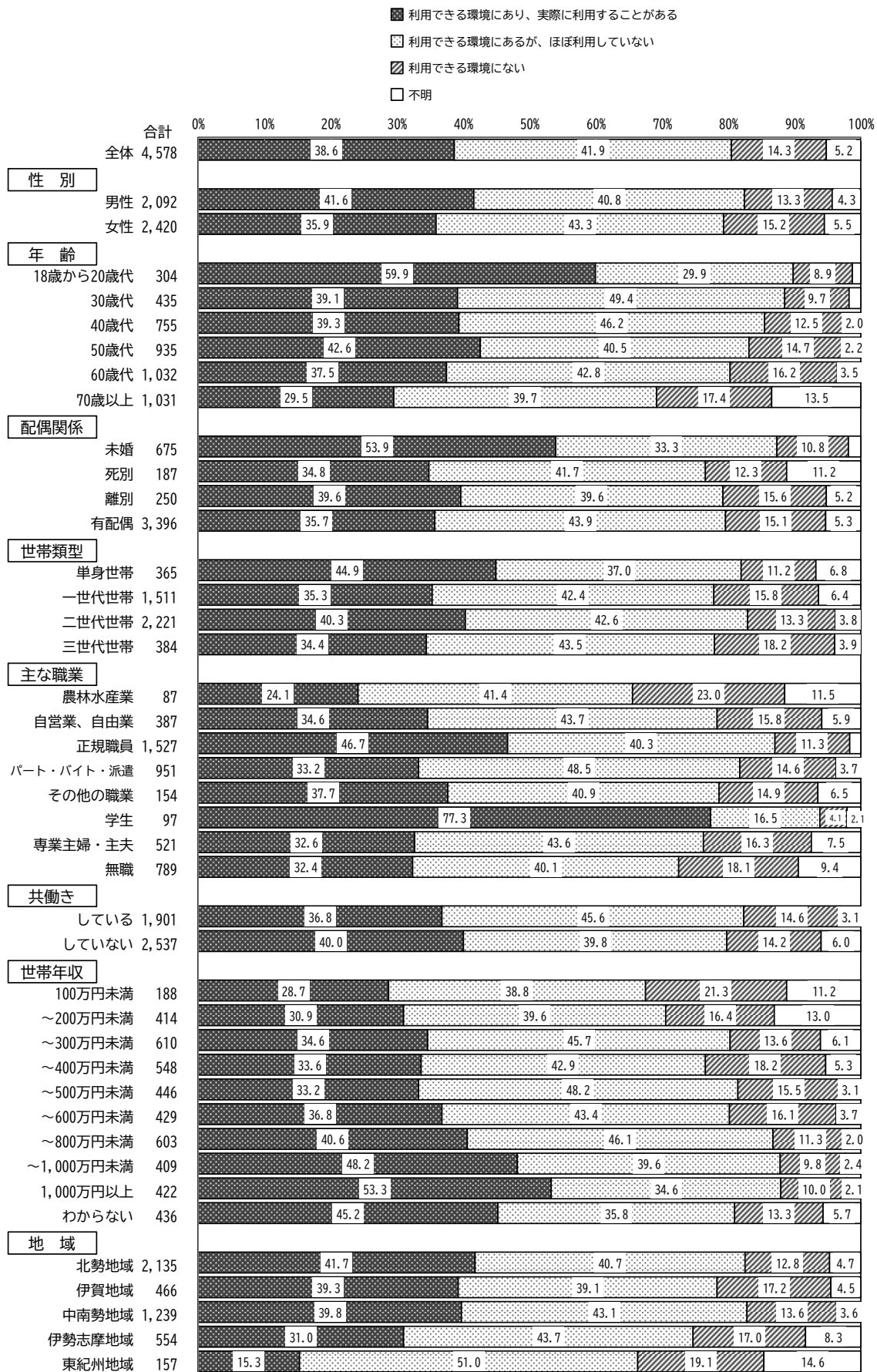
【年代別】

- 18歳から20歳代、50歳代で「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合が最も高くなっています。それ以外の年代では「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- 「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」の割合は北勢地域 (41.7%) が最も高く、東紀州地域 (15.3%) が最も低くなっています。

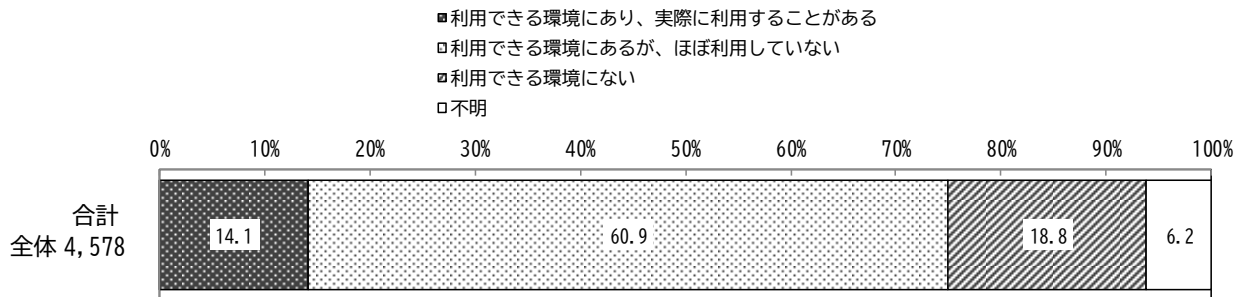
図表 3-19-2 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【鉄道】(属性別)



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

- お出かけの際に、バスを利用できる環境にあるかについて質問したところ、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」が60.9%で最も高く、次いで「利用できる環境にない」(18.8%)、「利用できる環境にあり、実際に利用することがある」(14.1%)となっています。

図表 3-19-3 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】



※本質問の回答割合 (%) は、不明 (未記入など) も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合(62.6%)が高くなっています。

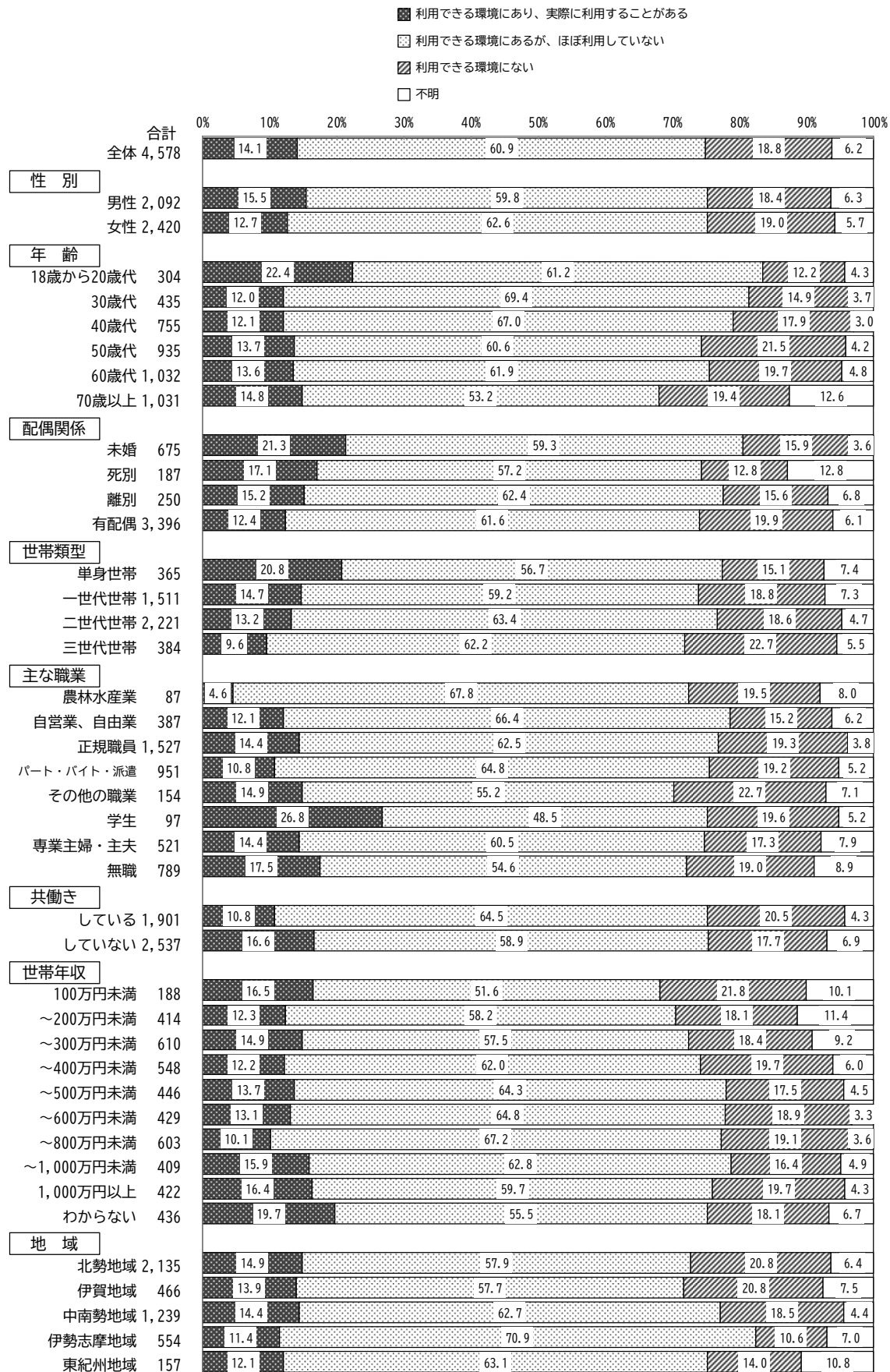
【年代別】

- すべての年代で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が高くなっています。特に、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高いのは 30 歳代(69.4%)で、最も低いのは 70 歳以上(53.2%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が高くなっています。特に、「利用できる環境にあるが、ほぼ利用していない」の割合が最も高い地域は伊勢志摩地域(70.9%)で、最も低い地域は伊賀地域(57.7%)となっています。

図表 3-19-4 お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にあるか【バス】(属性別)

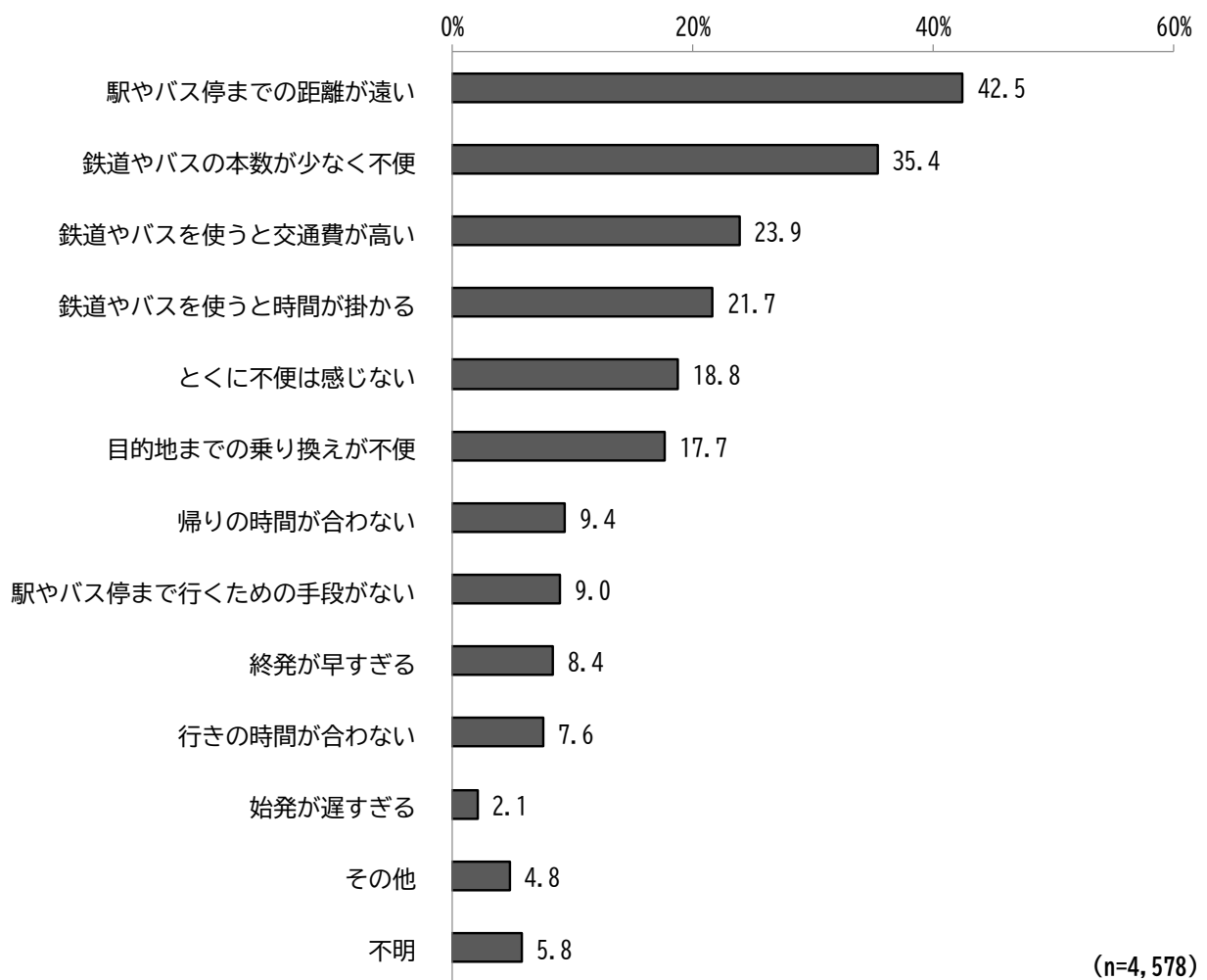


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問 20 あなたは、ご自宅から鉄道やバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じますか。(複数回答可)

- ご自宅から鉄道を利用するときに、どのような部分で不便を感じるかについて質問したところ、「駅までの距離が遠い」の割合が42.5%で最も高く、次いで「鉄道の本数が少なく不便」(35.4%)、「鉄道を使うと交通費が高い」(23.9%)となっています。

図表 3-20-1 自宅から鉄道を利用するときに、どのような部分で不便を感じるか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

※鉄道を利用するときに不便を感じる理由のみを質問

図表 3-20-2 自宅から鉄道やバスを利用するとき、どのような部分で不便を感じるか【鉄道】
(属性別)

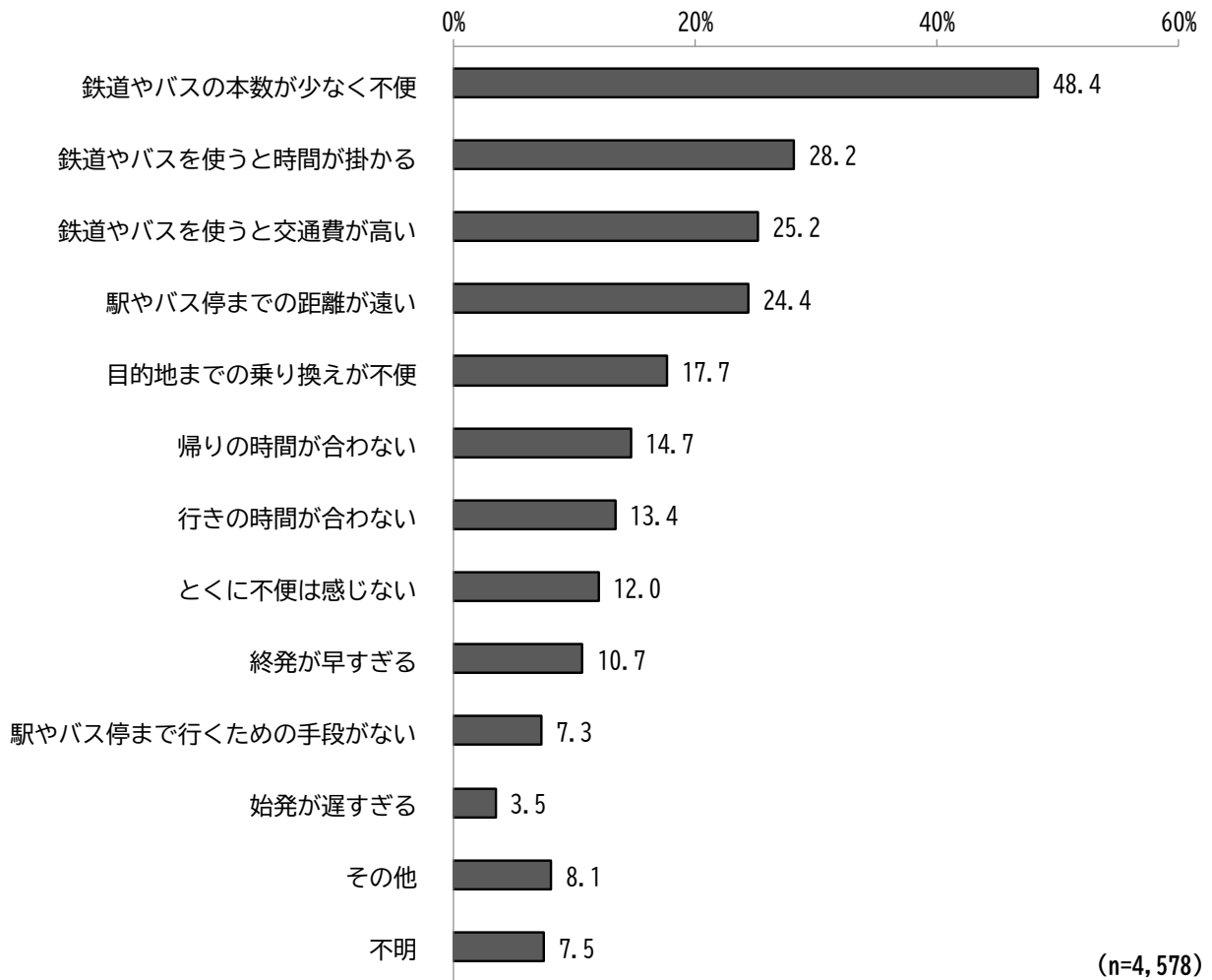
		合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)													
		合計	駅やバス停までの距離が遠い	駅やバス停まで行くための手段がない	鉄道やバスを使うと交通費が高い	鉄道やバスを使うと時間が掛かる	鉄道やバスの本数が少なく不便	目的地までの乗り換えが不便	行ききの時間が合わない	帰りの時間が合わない	始発が遅すぎる	終発が早すぎる	とくに不便は感じない	その他	不明
全体		4,578	42.5	9.0	23.9	21.7	35.4	17.7	7.6	9.4	2.1	8.4	18.8	4.8	5.8
性別	男性	2,092	41.4	8.2	22.0	21.1	33.5	16.8	7.4	8.5	2.4	8.2	20.4	4.1	5.2
	女性	2,420	43.6	9.5	25.8	22.3	37.3	18.7	7.6	10.0	1.8	8.6	17.7	5.4	6.0
年齢	18歳から20歳代	304	46.1	11.8	31.9	20.1	44.1	19.4	10.9	13.2	2.6	14.5	14.8	3.0	3.9
	30歳代	435	48.3	7.1	23.4	21.6	36.8	22.3	10.1	11.5	1.6	11.7	16.8	4.6	4.4
	40歳代	755	47.0	8.5	24.8	22.8	37.9	19.1	9.4	11.3	2.1	10.7	17.6	5.4	2.4
	50歳代	935	45.0	8.6	25.5	22.0	36.8	19.1	7.4	10.1	2.9	10.6	16.9	4.4	4.3
	60歳代	1,032	41.0	8.5	23.0	22.1	35.3	17.2	6.8	8.8	1.8	6.2	21.2	3.9	5.5
	70歳以上	1,031	35.1	9.5	20.7	20.7	29.4	14.2	4.9	5.8	1.6	4.0	27.6	6.4	10.4
配偶関係	未婚	675	44.1	9.8	26.7	20.0	38.5	17.5	8.7	10.5	2.2	12.6	18.1	4.1	4.7
	死別	187	36.9	11.8	22.5	26.2	33.2	19.3	8.0	11.8	-	3.2	22.5	4.3	10.2
	離別	250	38.0	6.8	20.4	21.6	36.8	18.4	9.2	11.2	3.2	12.0	22.0	4.4	6.4
	有配偶	3,396	42.8	8.9	23.8	21.9	34.8	17.7	7.3	8.9	2.0	7.5	18.7	4.9	5.6
世帯類型	単身世帯	365	40.5	8.8	23.3	21.1	35.3	13.7	6.6	10.4	1.9	8.2	20.8	4.4	7.1
	一世帯世帯	1,511	41.2	8.8	23.4	21.2	33.0	17.3	6.8	8.6	1.7	6.8	18.6	5.8	6.7
	二世帯世帯	2,221	42.6	8.4	24.6	22.7	36.4	18.8	8.6	10.0	2.5	9.8	19.2	4.4	4.8
	三世帯世帯	384	50.5	10.4	23.7	19.0	38.3	17.4	5.7	6.8	1.3	6.8	16.4	4.4	4.9
主な職業	農林水産業	87	51.7	11.5	19.5	29.9	36.8	28.7	10.3	12.6	2.3	6.9	18.4	1.1	6.9
	自営業、自由業	387	40.1	6.2	16.3	24.3	29.7	15.8	7.0	8.8	2.1	8.3	23.8	4.9	6.5
	正規職員	1,527	44.6	9.2	23.2	21.5	37.5	18.7	9.2	11.2	2.8	11.7	18.1	4.2	3.3
	パート・バイト・派遣	951	44.1	8.3	27.8	22.6	37.5	19.2	6.8	8.3	2.0	8.2	16.2	4.7	6.3
	その他の職業	154	42.9	11.7	26.0	19.5	37.0	19.5	7.8	8.4	1.3	7.8	18.2	5.8	2.6
	学生	97	50.5	11.3	39.2	12.4	42.3	14.4	9.3	9.3	3.1	11.3	11.3	-	5.2
	専業主婦・主夫	521	38.2	8.3	28.4	23.4	36.3	19.6	6.3	7.5	1.0	5.8	19.2	5.6	7.3
共働き	無職	789	38.9	9.3	20.3	19.4	29.9	13.3	5.8	8.1	1.5	4.2	22.8	6.2	8.1
	している	1,901	45.4	8.5	24.4	23.1	35.6	19.2	8.5	10.1	2.3	9.4	17.9	4.6	3.9
	していない	2,537	40.8	9.1	23.8	20.9	35.6	16.8	6.9	8.9	1.9	7.8	19.6	5.0	6.5
世帯年収	100万円未満	188	34.6	12.2	24.5	18.6	34.6	16.5	10.1	12.8	4.3	8.0	22.9	3.7	10.6
	~200万円未満	414	40.1	10.4	24.6	19.6	33.3	12.8	7.2	9.4	2.2	6.5	17.6	5.1	10.6
	~300万円未満	610	40.7	10.7	25.1	22.6	36.7	19.3	6.1	8.5	1.6	6.4	18.9	6.9	5.4
	~400万円未満	548	41.2	7.1	23.7	23.2	32.5	19.3	6.9	8.8	2.0	6.2	20.1	4.2	6.2
	~500万円未満	446	43.3	8.7	26.0	23.5	35.9	18.2	6.1	7.2	1.6	7.2	17.9	6.3	5.8
	~600万円未満	429	44.3	10.0	22.8	23.5	41.3	21.4	7.9	11.2	1.4	11.4	18.2	4.2	3.0
	~800万円未満	603	44.4	8.0	27.9	21.6	36.2	16.7	8.5	9.8	2.0	9.0	19.1	3.3	3.6
	~1,000万円未満	409	44.5	8.1	23.7	23.7	36.2	17.8	6.1	8.8	2.4	10.8	17.4	3.4	4.4
	1,000万円以上	422	44.3	9.0	19.7	20.9	32.5	19.2	9.0	9.7	3.1	10.9	27.3	5.2	2.1
	わからない	436	42.9	7.6	27.8	17.4	34.6	16.1	10.1	10.3	1.6	8.7	19.5	4.4	6.4
地域	北勢地域	2,135	41.6	8.3	22.7	21.6	32.1	17.3	5.9	7.6	2.0	7.0	21.5	4.4	5.2
	伊賀地域	466	38.8	9.0	30.9	29.0	47.9	25.3	7.5	9.7	2.6	8.6	16.3	4.7	4.3
	中南勢地域	1,239	44.1	9.2	24.1	18.5	29.3	12.9	6.5	8.0	1.3	8.6	19.7	4.4	6.6
	伊勢志摩地域	554	45.7	9.6	21.3	20.0	43.9	22.0	11.7	13.7	3.1	11.7	13.5	6.7	5.4
	東紀州地域	157	40.8	12.1	28.0	33.1	63.1	26.1	24.2	28.7	3.8	13.4	5.7	5.7	8.9

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

- ご自宅からバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じるかについて質問したところ、「バスの本数が少なく不便」の割合が 48.4%で最も高く、次いで「バスを使うと時間が掛かる」(28.2%)、「バスを使うと交通費が高い」(25.2%)となっています。

図表 3-20-3 自宅からバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じるか



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

※バスを利用するときに不便を感じる理由のみを質問

図表 3-20-4 自宅から鉄道やバスを利用するとき、どのような部分で不便を感じるか【バス】
(属性別)

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	駅やバス停までの距離が遠い	駅やバス停まで行くための手段がない	鉄道やバスを使うと交通費が高い	鉄道やバスを使うと時間が掛かる	鉄道やバスの本数が少なく不便	目的地までの乗り換えが不便	行ききの時間が合わない	帰りの時間が合わない	始発が遅すぎる	終発が早すぎる	とくに不便は感じない	その他	不明
全体		4,578	24.4	7.3	25.2	28.2	48.4	17.7	13.4	14.7	3.5	10.7	12.0	8.1	7.5
性別	男性	2,092	23.1	6.9	23.4	27.0	47.8	18.1	12.9	13.7	4.4	11.2	13.8	7.2	7.7
	女性	2,420	25.7	7.6	26.9	29.6	49.2	17.4	13.8	15.4	2.9	10.5	10.4	9.0	7.1
年齢	18歳から20歳代	304	26.6	8.2	29.3	28.0	53.9	19.4	19.4	19.7	6.3	16.1	11.5	7.6	7.6
	30歳代	435	28.3	7.1	20.5	30.8	49.2	22.1	14.9	15.2	3.0	11.0	14.5	6.9	5.7
	40歳代	755	25.7	8.1	26.2	33.9	48.5	20.4	14.7	16.6	4.0	10.9	12.3	7.4	4.9
	50歳代	935	25.7	6.1	28.7	28.9	50.4	18.7	14.3	16.3	3.9	12.7	9.4	8.0	7.3
	60歳代	1,032	21.5	6.7	26.6	28.9	51.1	16.9	13.6	15.1	3.7	11.5	11.0	7.9	5.9
	70歳以上	1,031	23.1	8.2	21.4	22.4	42.4	13.8	8.7	9.7	2.3	7.0	14.0	10.0	11.3
配偶関係	未婚	675	24.9	8.0	25.2	28.4	51.6	19.0	15.7	16.6	6.2	14.8	13.9	8.6	6.7
	死別	187	19.3	6.4	23.5	25.7	41.2	13.4	10.7	15.5	-	4.8	16.0	9.6	13.9
	離別	250	18.8	4.0	27.2	28.8	50.4	18.0	11.6	14.4	3.2	13.6	12.8	6.8	7.2
	有配偶	3,396	24.9	7.5	25.3	28.4	48.1	17.7	13.3	14.2	3.2	10.0	11.4	8.1	7.2
世帯類型	単身世帯	365	21.9	7.1	21.9	26.6	51.8	15.9	11.5	15.3	3.0	12.9	14.5	6.8	8.8
	一世帯世帯	1,511	23.2	7.4	24.5	25.5	47.7	15.8	11.3	13.5	2.8	10.3	11.1	8.9	8.1
	二世帯世帯	2,221	25.5	7.2	26.7	30.8	49.1	19.1	15.3	15.6	4.2	11.1	12.0	7.7	6.3
	三世帯世帯	384	26.0	7.6	25.0	28.1	47.1	20.6	13.8	14.1	3.6	10.4	11.2	7.8	8.6
主な職業	農林水産業	87	28.7	11.5	21.8	27.6	46.0	26.4	23.0	21.8	8.0	12.6	8.0	4.6	8.0
	自営業、自由業	387	21.2	4.7	21.7	29.7	42.4	12.4	11.9	13.2	2.6	10.1	15.5	7.8	7.8
	正規職員	1,527	26.3	7.3	24.8	30.3	51.8	20.5	16.3	18.1	4.4	13.5	11.3	6.7	5.9
	パート・バイト・派遣	951	22.6	6.6	28.8	30.7	47.7	16.9	12.3	13.2	2.9	10.2	10.3	9.0	7.6
	その他の職業	154	27.3	10.4	25.3	24.7	52.6	19.5	14.3	14.9	3.2	12.3	11.7	7.8	6.5
	学生	97	26.8	8.2	42.3	23.7	57.7	20.6	20.6	17.5	10.3	15.5	4.1	5.2	8.2
	専業主婦・主夫	521	27.8	8.3	27.6	28.8	47.2	16.3	10.2	11.7	2.1	10.2	12.5	9.6	7.5
	無職	789	21.2	7.6	21.3	22.3	45.6	15.6	9.9	11.5	2.9	6.6	14.6	9.8	9.4
共働き	している	1,901	25.2	7.0	26.4	30.8	48.6	19.6	15.5	16.7	3.7	11.2	10.7	7.3	6.4
	していない	2,537	24.2	7.6	24.8	26.8	48.9	16.6	12.1	13.4	3.4	10.6	12.8	8.8	7.6
世帯年収	100万円未満	188	23.4	13.3	24.5	21.3	43.6	11.7	12.2	14.9	4.3	10.6	12.2	6.9	12.2
	~200万円未満	414	23.2	8.9	22.9	23.4	42.8	14.5	9.7	12.3	2.9	7.7	11.8	8.0	11.1
	~300万円未満	610	23.4	7.4	26.7	26.6	47.5	17.2	10.8	13.1	2.5	9.2	12.8	11.6	7.0
	~400万円未満	548	22.6	6.2	26.7	29.2	48.2	19.3	14.1	15.7	4.4	9.7	11.9	7.8	6.9
	~500万円未満	446	23.8	7.2	29.7	32.1	51.1	16.1	12.1	13.0	3.6	9.2	10.5	8.1	5.6
	~600万円未満	429	24.9	9.6	23.3	32.6	52.0	23.5	13.5	15.9	3.0	12.6	12.4	7.0	4.0
	~800万円未満	603	28.2	7.0	25.0	29.5	51.6	17.1	15.9	16.3	3.3	12.6	12.1	6.5	7.1
	~1,000万円未満	409	20.3	5.6	25.2	33.3	49.9	19.1	14.4	14.7	3.9	11.2	9.5	5.6	7.3
	1,000万円以上	422	25.6	6.9	22.3	27.0	46.4	21.8	16.1	16.6	4.3	15.2	13.3	8.5	6.4
	わからない	436	27.8	6.2	26.6	24.5	47.7	14.2	14.9	14.7	4.1	10.8	14.7	8.3	8.5
地域	北勢地域	2,135	23.7	7.0	23.0	27.2	45.1	15.7	11.3	12.6	3.7	10.6	12.6	9.1	8.7
	伊賀地域	466	23.4	6.7	29.4	27.5	52.4	16.3	15.0	17.2	4.3	9.9	11.8	7.5	7.9
	中南勢地域	1,239	27.0	7.8	26.4	27.4	48.3	18.6	12.8	13.9	2.7	11.1	12.1	8.1	5.6
	伊勢志摩地域	554	21.3	7.0	25.8	33.2	56.3	23.3	18.8	19.0	4.0	12.5	10.8	5.6	5.8
	東紀州地域	157	28.0	10.2	33.7	35.7	54.8	22.3	22.3	25.5	4.5	8.3	9.6	6.4	8.3

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

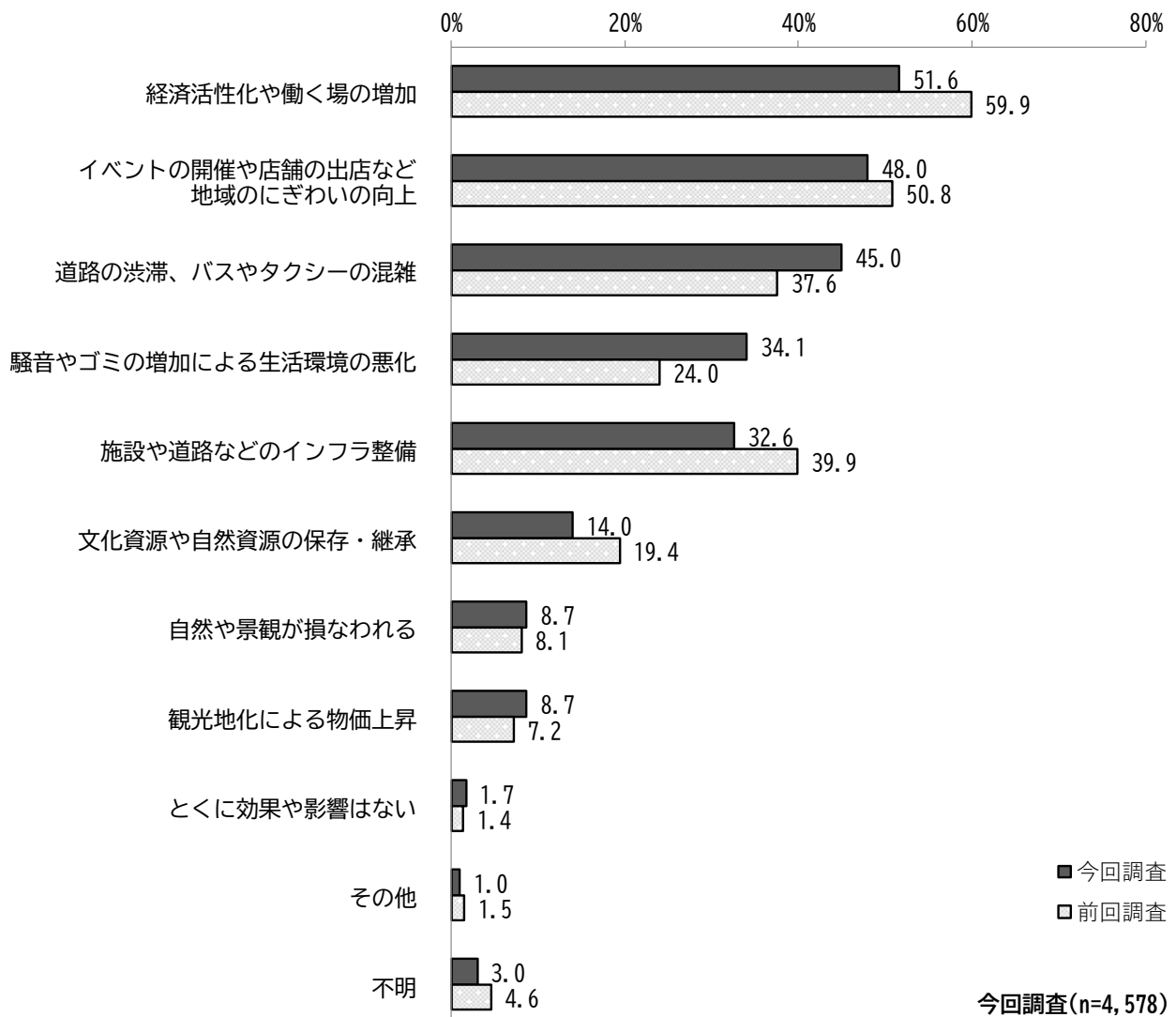
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

3.5 観光について

問 21 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うかについて質問したところ、「経済活性化や働く場の増加」が51.6%で最も高く、次いで「イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上」(48.0%)、「道路の渋滞、バスやタクシーの混雑」(45.0%)となっています。
- 前回調査と比較すると、主に「道路の渋滞、バスやタクシーの混雑」(45.0%)、「騒音やゴミの増加による生活環境の悪化」(34.1%)が増加し、「経済活性化や働く場の増加」(51.6%)、「施設や道路などのインフラ整備」(32.6%)が減少しています。

図表 3-21-1 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 3-21-2 県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思うか（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上	経済活性化や働く場の増加	施設や道路などのインフラ整備	文化資源や自然資源の保存・継承	騒音やゴミの増加による生活環境の悪化	道路の渋滞、バスやタクシーの混雑	自然や景観が損なわれる	観光地化による物価上昇	とくに効果や影響はない	その他	不明
全体		4,578	48.0	51.6	32.6	14.0	34.1	45.0	8.7	8.7	1.7	1.0	3.0
性別	男性	2,092	47.0	49.5	36.7	13.9	36.2	45.8	9.6	9.8	1.9	1.1	2.1
	女性	2,420	49.2	53.8	29.3	14.1	32.4	44.5	7.8	7.8	1.4	1.0	3.5
年齢	18歳から20歳代	304	57.2	50.3	33.6	14.5	34.9	47.7	8.6	9.5	0.7	1.3	1.3
	30歳代	435	54.5	52.4	34.5	10.8	29.2	51.3	5.3	9.9	3.0	0.5	0.2
	40歳代	755	51.7	59.2	31.7	10.1	33.6	49.5	6.8	8.9	0.8	1.3	1.2
	50歳代	935	50.1	54.9	34.8	11.6	35.0	49.7	8.1	7.6	1.0	1.3	1.2
	60歳代	1,032	46.2	49.2	32.4	16.2	35.0	44.5	11.2	8.3	1.8	0.8	2.5
	70歳以上	1,031	40.7	46.5	31.0	18.4	34.9	35.1	9.6	8.8	2.3	1.2	7.3
配偶関係	未婚	675	48.1	48.9	30.8	15.3	37.9	48.0	10.5	11.0	1.8	1.8	1.2
	死別	187	40.6	48.7	25.7	21.4	28.9	38.0	9.6	9.6	0.5	1.1	5.9
	離別	250	47.2	50.4	29.6	14.0	29.6	44.0	8.0	12.4	2.8	1.2	3.2
	有配偶	3,396	48.6	52.6	33.6	13.3	34.0	45.1	8.3	8.0	1.6	0.9	3.1
世帯類型	単身世帯	365	44.4	48.8	30.7	13.4	32.1	43.0	9.3	12.9	2.7	1.6	3.8
	一世代世帯	1,511	45.6	51.1	35.0	14.0	33.3	42.4	9.3	8.4	1.8	0.9	4.0
	二世世代世帯	2,221	50.2	51.9	31.3	14.0	35.2	48.0	7.9	8.5	1.5	1.1	1.9
	三世世代世帯	384	50.5	56.5	35.2	14.6	33.6	42.4	9.4	7.0	0.5	1.0	2.1
主な職業	農林水産業	87	47.1	52.9	37.9	19.5	39.7	35.6	13.8	4.6	-	-	1.1
	自営業、自由業	387	46.3	50.9	36.4	13.2	32.6	41.3	9.6	10.9	1.3	1.3	3.1
	正規職員	1,527	54.6	55.2	36.2	11.5	32.5	50.7	7.9	8.3	1.3	1.2	0.6
	パート・バイト・派遣	951	46.7	53.5	28.9	13.0	38.1	46.5	7.7	8.5	1.7	0.6	2.4
	その他の職業	154	43.5	48.7	33.8	14.3	28.6	50.6	10.4	8.4	3.9	1.9	2.6
	学生	97	53.6	52.6	27.8	19.6	34.0	43.3	8.2	10.3	-	2.1	2.1
	専業主婦・主夫	521	45.9	49.1	29.8	15.5	33.2	44.9	8.8	7.7	1.5	1.0	4.0
	無職	789	41.3	45.8	30.8	18.3	34.9	35.4	9.8	9.4	2.4	1.0	6.8
共働き	している	1,901	51.0	56.0	34.9	11.8	34.3	46.4	7.7	7.5	1.3	0.9	1.5
	していない	2,537	46.3	48.7	31.4	15.6	34.6	44.7	9.4	9.7	1.9	1.1	3.4
世帯年収	100万円未満	188	45.2	39.4	21.3	17.0	39.4	39.4	15.4	11.7	3.2	1.1	4.8
	～200万円未満	414	45.2	44.4	26.8	15.5	38.6	39.6	9.7	9.2	1.7	1.0	6.3
	～300万円未満	610	43.6	48.2	33.3	17.5	36.1	40.3	9.3	10.0	1.8	1.3	3.9
	～400万円未満	548	43.8	51.5	37.0	17.0	33.9	42.0	10.4	9.7	1.1	0.9	2.7
	～500万円未満	446	48.7	54.0	35.0	15.0	31.8	46.0	7.4	9.0	1.8	0.7	2.0
	～600万円未満	429	51.0	57.1	31.5	10.3	37.1	45.5	9.3	5.6	0.9	0.9	2.3
	～800万円未満	603	54.1	58.0	34.0	10.8	33.8	50.9	6.0	9.3	1.5	0.8	1.0
	～1,000万円未満	409	52.1	55.7	32.0	12.7	29.8	49.9	6.1	7.8	1.0	1.0	1.2
	1,000万円以上	422	52.4	57.6	37.9	12.6	28.4	49.3	7.1	5.9	1.2	0.9	2.1
	わからない	436	46.1	44.5	30.7	13.1	34.2	47.2	10.1	9.9	3.0	1.8	2.8
地域	北勢地域	2,135	45.4	47.9	32.5	12.6	37.1	48.9	8.9	8.0	2.2	1.2	2.9
	伊賀地域	466	52.6	55.6	36.9	20.8	30.9	27.9	6.9	8.6	1.5	0.4	3.6
	中南勢地域	1,239	51.8	53.3	32.0	14.1	32.6	47.1	9.0	8.6	0.7	1.2	2.0
	伊勢志摩地域	554	45.3	60.1	31.6	13.4	28.9	49.1	7.0	12.3	1.1	0.9	2.9
	東紀州地域	157	52.2	52.2	33.1	14.6	35.0	15.3	15.3	6.4	3.2	0.6	6.4

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

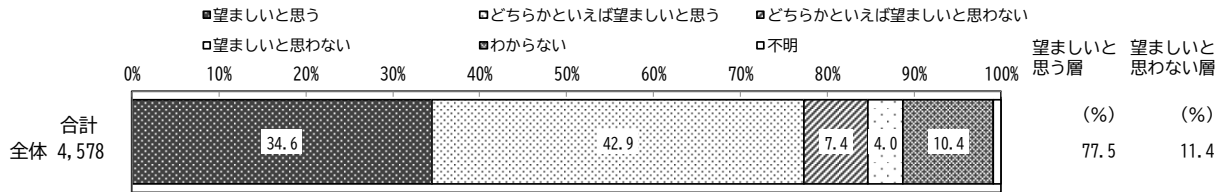
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

3.6 共生社会について

問 22 あなたは、日本人と国籍の異なる外国人が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく共生社会についてどう思いますか。

- 共生社会についてどう思うかについて質問したところ、「望ましいと思う層」の割合が 77.5% で、「望ましくない層」の割合（11.4%）より 66.1 ポイント高くなっています。

図表 3-22-1 共生社会についてどう思うか



※「望ましいと思う層」の割合・・・「望ましいと思う」と「どちらかといえば望ましいと思う」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「望ましくない層」の割合・・・「望ましくない」と「どちらかといえば望ましくない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。

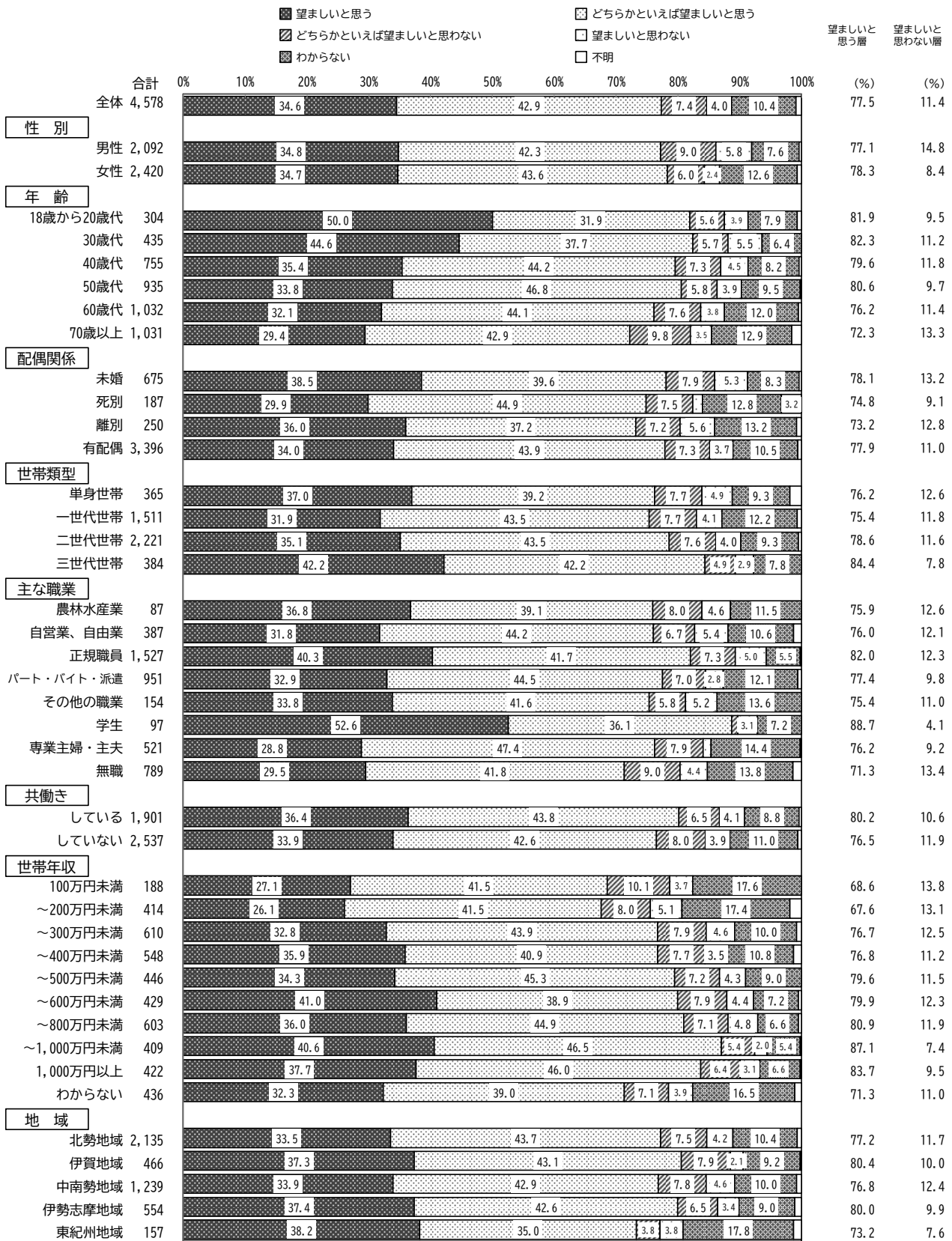
【年代別】

- すべての年代で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が最も高いのは 30 歳代 (82.3%) で、最も低いのは 70 歳以上 (72.3%) となっています。

【地域別】

- すべての地域で「望ましいと思う層」の割合が高くなっています。特に、「望ましいと思う層」の割合が最も高いのは伊賀地域 (80.4%) で、最も低いのは東紀州地域 (73.2%) となっています。

図表 3-22-2 共生社会についてどう思うか（属性別）



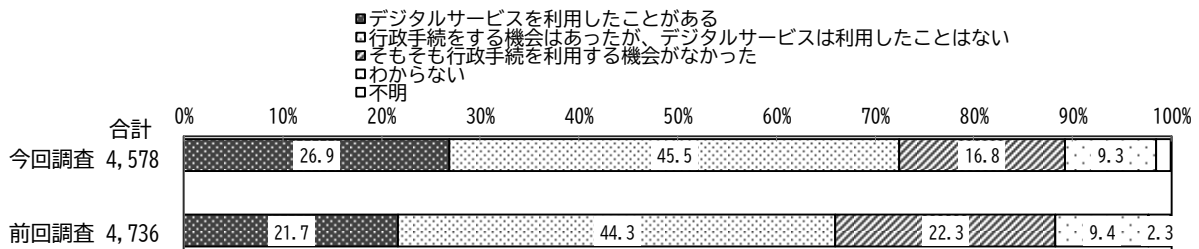
※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

3.7 デジタルの活用について

問 23 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。

- 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるかについて質問したところ、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が45.5%で最も高く、次いで「行政手続のデジタルサービスを利用したことがある」(26.9%)、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.8%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「行政手続のデジタルサービスを利用したことがある」(26.9%)が5.2ポイント、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(45.5%)が1.2ポイント増加し、「そもそも行政手続を利用する機会がなかった」(16.8%)が5.5ポイント減少しています。

図表 3-23-1 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるか



※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「行政手続きをする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」(46.3%)の割合が高くなっています。

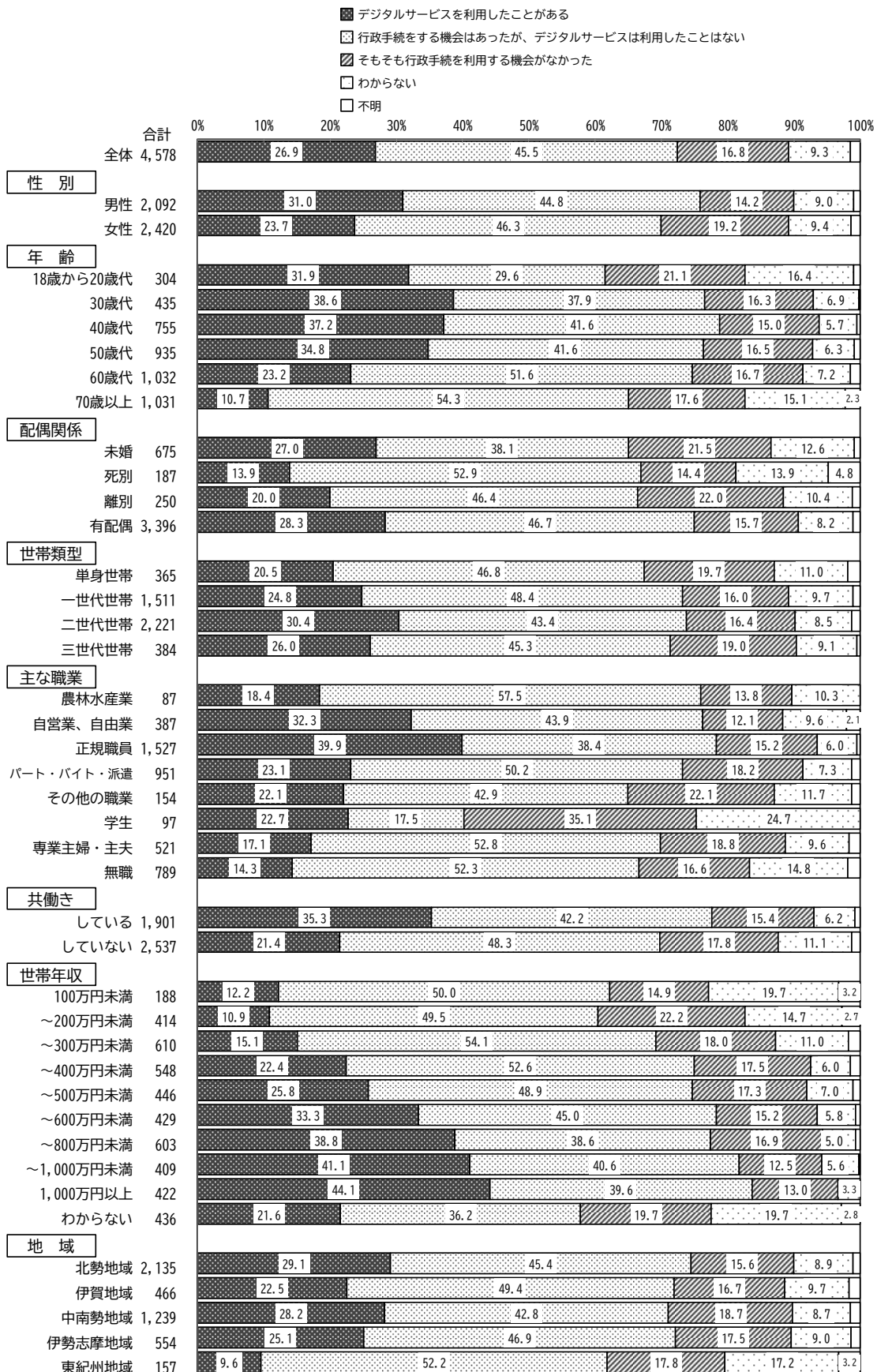
【年代別】

- 40歳代以上で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。それ以外の年代では「デジタルサービスを利用したことがある」の割合が最も高くなっています。

【地域別】

- すべての地域で「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高くなっています。特に、「行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない」の割合が最も高い地域は東紀州地域(52.2%)で、最も低い地域は中南勢地域(42.8%)となっています。

図表 3-23-2 行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはあるか（属性別）

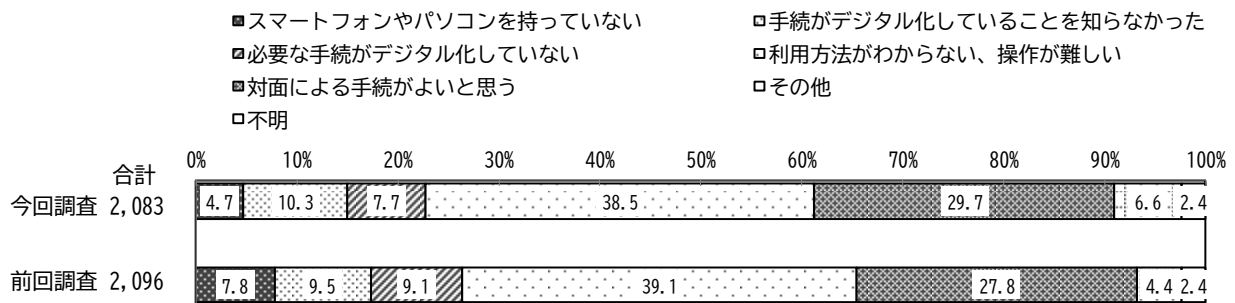


※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問 23-2 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由は何ですか。

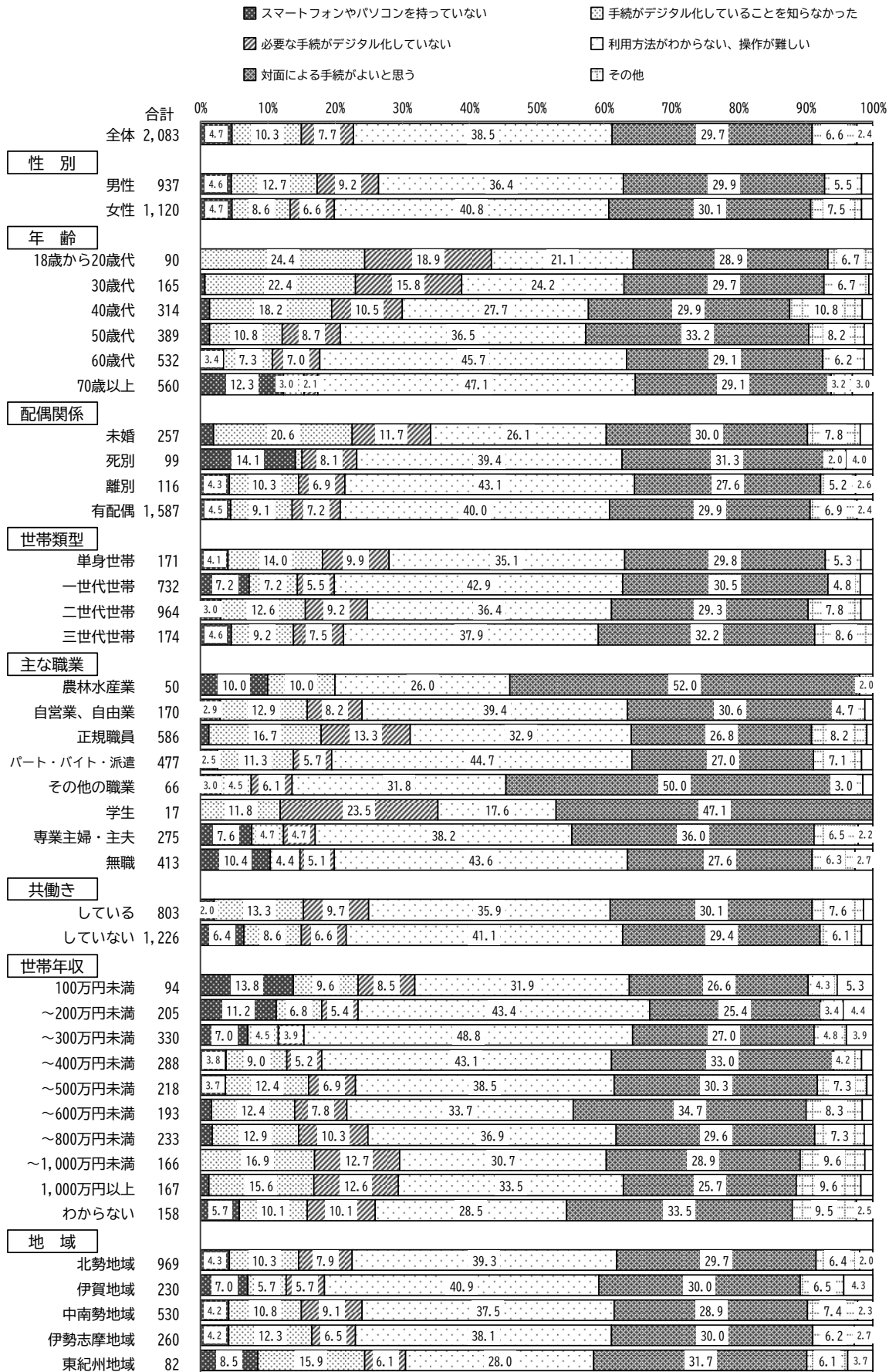
- 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由について質問したところ、「利用方法がわからない、操作が難しい」の割合が38.5%で最も高く、次いで「対面による手続がよいと思う」(29.7%)、「手続がデジタル化していることを知らなかった」(10.3%)となっています。
- 前回調査と比較すると、「対面による手続がよいと思う」(29.7%)が1.9ポイント、「手続がデジタル化していることを知らなかった」(10.3%)が0.8ポイント増加し、「利用方法がわからない、操作が難しい」(38.5%)が0.6ポイント減少しています。

図表 3-23-2-1 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由



※本質問の回答割合(%)は、「その他」や「不明(未記入など)」も分母に含めて算出

図表 3-23-2-2 行政手続をする機会があったが、デジタルサービスは利用したことはない理由（属性別）



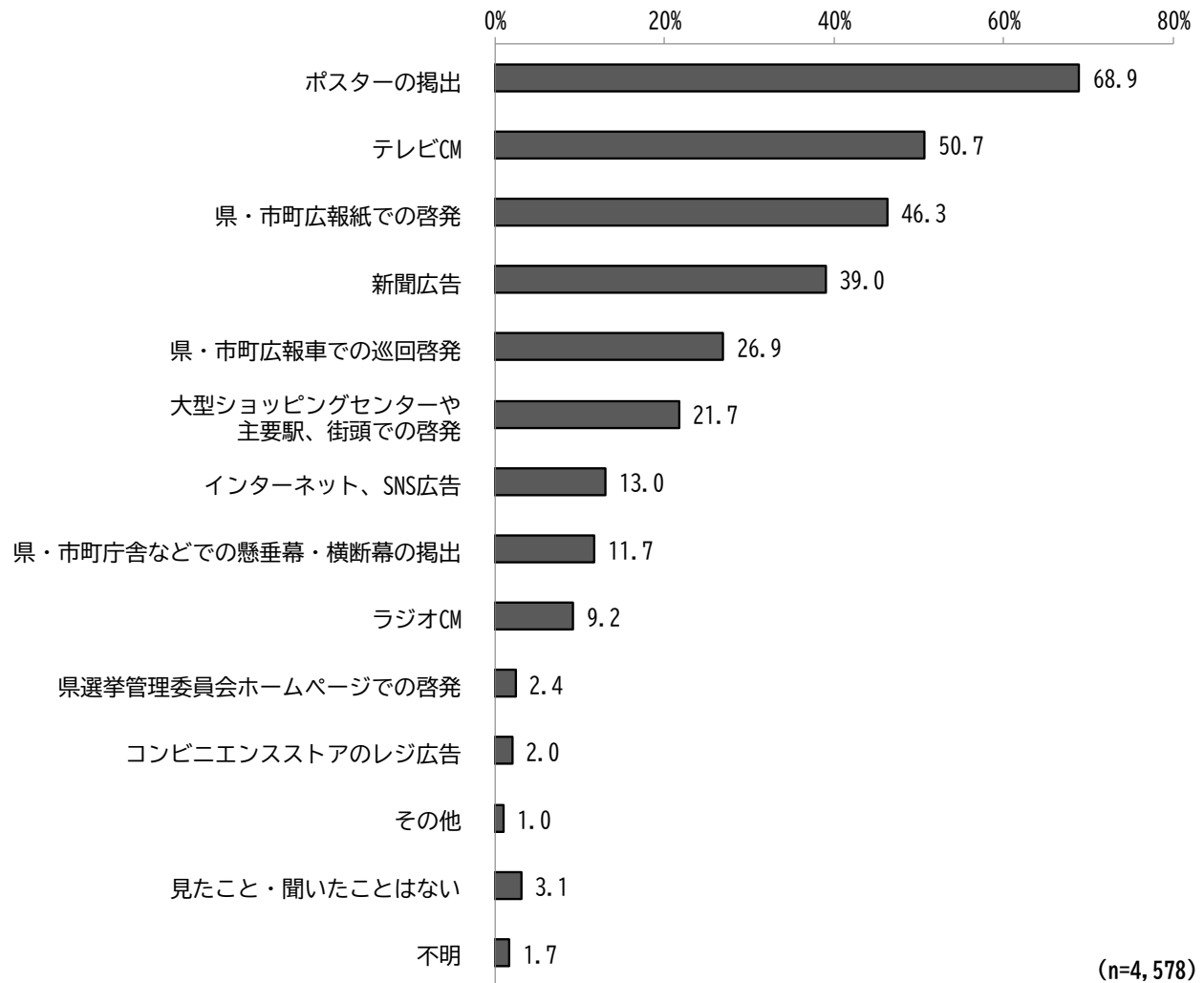
※本質問の回答割合（％）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.8 選挙について

問 24 県では、国政選挙・地方選挙（県議会議員選挙、知事選挙）時に、県民に向けて、選挙期日の周知や投票を呼び掛ける啓発を行っています。あなたが、これまでに見た・聞いたことがあるものは、どの啓発媒体ですか。（複数回答可）

○ これまでに見た・聞いたことがある啓発媒体について質問したところ、「ポスターの掲出」が68.9%で最も高く、次いで「テレビCM」（50.7%）、「県・市町広報紙での啓発」（46.3%）となっています。

図表 3-24-1 これまでに見た・聞いたことがある啓発媒体



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

図表 3-24-2 これまでに見た・聞いたことがある啓発媒体（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（%）

		合計	テレビCM	ラジオCM	新聞広告	インターネット、SNS広告	ポスターの掲出	コンビニエンスストアのレジ広告	大型ショッピングセンターや主要駅、街頭での啓発	県・市町広報紙での啓発	県・市町村舎などでの懸垂幕・横断幕の掲出	県・市町広報車での巡回啓発	県選挙管理委員会ホームページでの啓発	その他	見たこと・聞いたことはない	不明
全体		4,578	50.7	9.2	39.0	13.0	68.9	2.0	21.7	46.3	11.7	26.9	2.4	1.0	3.1	1.7
性別	男性	2,092	53.8	11.5	41.3	16.9	66.7	2.7	19.9	45.6	13.0	24.8	3.1	1.2	3.3	0.5
	女性	2,420	49.2	7.3	37.9	10.0	72.1	1.4	23.5	47.9	10.8	29.3	1.9	0.8	2.8	1.2
年齢	18歳から20歳代	304	33.2	3.3	16.4	19.1	60.5	2.6	21.7	24.3	11.5	37.3	0.7	1.0	8.9	1.0
	30歳代	435	35.4	3.9	17.0	19.8	65.3	2.3	23.4	30.6	12.0	24.4	2.3	0.2	8.5	0.2
	40歳代	755	44.0	11.5	26.2	17.6	72.5	2.1	24.4	38.3	11.4	29.1	2.8	1.3	2.9	0.4
	50歳代	935	51.2	11.3	35.3	16.3	71.8	2.6	23.9	42.7	11.4	26.2	2.2	1.6	2.5	1.1
	60歳代	1,032	57.7	10.0	49.1	9.9	70.2	1.6	20.0	54.4	10.1	25.1	2.4	1.0	1.4	0.9
	70歳以上	1,031	62.2	9.1	59.6	5.7	69.5	1.4	19.6	62.9	14.3	28.9	2.9	0.4	1.3	1.3
配偶関係	未婚	675	41.2	8.0	28.4	19.3	66.7	2.5	24.1	37.3	11.6	29.5	2.5	1.5	6.1	1.0
	死別	187	52.9	5.9	45.5	6.4	65.8	2.7	19.3	54.0	9.1	29.9	1.6	-	2.1	4.8
	離別	250	44.4	9.6	29.2	10.0	70.0	2.0	16.8	39.6	14.4	26.4	2.0	1.2	5.2	3.2
	有配偶	3,396	52.9	9.7	41.6	12.5	69.8	1.8	21.9	49.6	11.7	26.5	2.5	0.9	2.4	1.5
世帯類型	単身世帯	365	47.9	8.8	34.0	13.4	66.0	1.9	17.3	41.4	12.1	22.7	1.4	2.2	6.0	2.5
	一世代世帯	1,511	56.1	10.0	45.5	10.5	70.3	1.7	22.2	53.0	12.1	26.9	2.8	0.9	2.3	0.7
	二世帯世帯	2,221	48.8	9.2	35.7	15.3	69.4	2.0	22.7	43.3	11.6	27.7	2.4	0.9	3.3	0.8
	三世帯世帯	384	49.7	7.8	42.7	11.7	72.1	2.9	21.9	47.9	11.5	29.9	1.8	1.0	1.0	0.8
主な職業	農林水産業	87	62.1	16.1	52.9	6.9	69.0	2.3	14.9	56.3	12.6	24.1	4.6	-	2.3	1.1
	自営業、自由業	387	52.5	10.9	44.2	15.2	66.1	2.1	19.9	46.3	11.9	22.0	2.3	0.5	4.1	1.3
	正規職員	1,527	48.5	11.3	29.7	19.3	69.0	2.5	22.7	40.7	13.0	25.7	2.6	1.2	3.8	0.5
	パート・バイト・派遣	951	48.9	7.8	34.3	10.7	70.8	1.9	22.9	45.7	11.4	30.7	2.9	1.8	2.7	1.2
	その他の職業	154	51.3	9.1	48.7	14.9	68.8	3.2	16.2	39.0	9.7	19.5	0.6	-	3.9	0.6
	学生	97	29.9	2.1	19.6	16.5	68.0	4.1	25.8	21.6	6.2	27.8	1.0	-	5.2	-
	専業主婦・主夫	521	54.7	6.0	49.5	7.7	75.4	1.3	25.9	58.0	9.6	33.4	1.7	0.6	2.3	0.8
	無職	789	58.0	8.7	54.2	6.8	67.4	1.0	18.8	57.4	12.5	26.0	2.3	0.5	1.6	1.3
共働き	している	1,901	49.9	10.3	33.5	15.2	68.9	2.5	22.6	43.7	11.9	25.5	2.4	0.9	3.1	0.6
	していない	2,537	52.6	8.7	43.9	11.9	70.2	1.6	21.7	49.3	11.8	28.6	2.4	0.9	3.0	0.9
世帯年収	100万円未満	188	44.1	6.9	39.9	8.0	60.1	1.1	16.0	37.2	6.9	20.7	1.6	0.5	4.3	4.3
	～200万円未満	414	52.9	8.0	42.5	6.8	63.3	1.2	19.1	44.2	11.1	26.6	2.4	0.5	2.7	4.8
	～300万円未満	610	56.6	8.7	48.5	8.9	70.8	1.6	20.0	55.4	11.5	26.9	3.1	0.3	3.1	2.3
	～400万円未満	548	52.6	8.9	46.0	10.8	70.6	1.8	19.5	53.1	13.1	25.0	2.7	1.1	2.4	1.3
	～500万円未満	446	54.0	12.6	38.6	12.8	68.6	2.5	19.3	48.0	12.8	26.0	2.9	0.7	2.9	1.3
	～600万円未満	429	49.2	8.6	36.8	14.0	69.2	2.1	24.2	43.6	10.5	26.8	3.3	1.9	2.3	0.2
	～800万円未満	603	50.1	9.5	32.7	16.7	72.8	2.7	24.9	47.3	11.1	28.7	1.3	1.0	2.7	0.3
	～1,000万円未満	409	49.4	11.2	36.2	19.3	70.9	2.2	24.0	47.9	14.9	27.1	2.7	1.2	3.9	0.5
	1,000万円以上	422	50.7	11.4	32.5	22.3	68.5	1.9	23.9	47.9	12.1	26.8	2.4	1.2	3.8	0.9
	わからない	436	42.4	4.6	34.9	9.9	68.6	2.1	23.4	42.7	10.3	32.1	0.9	1.1	3.9	1.8
地域	北勢地域	2,135	52.1	8.5	39.5	13.2	68.3	2.1	23.9	44.7	10.0	24.5	2.8	1.0	3.3	1.3
	伊賀地域	466	57.3	6.4	44.4	9.4	71.0	1.9	20.8	55.6	16.3	32.4	1.7	0.4	1.7	3.0
	中南勢地域	1,239	47.1	11.1	36.6	13.9	69.4	2.0	20.7	43.2	11.9	31.0	1.9	0.9	3.2	1.7
	伊勢志摩地域	554	53.2	10.3	39.9	14.1	69.5	1.6	19.5	52.2	14.1	23.8	2.7	1.1	3.1	1.8
東紀州地域	157	52.9	8.3	33.8	12.1	66.9	1.9	11.5	45.9	11.5	21.7	2.5	1.9	3.2	2.5	

※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（%）は、「その他」や「不明（未記入など）」も分母に含めて算出

3.9 国体について

問 25 国民体育大会*（以下、国体）については、国等において、大会の充実・活性化を図りながら、持続可能なスポーツ大会を目指して議論が行われています。また、施設整備や開・閉会式など、大会の準備・運営に関わる開催都道府県の人的・財政的負担が増大しており、簡素化などに向けた議論も併せて行われています。

今後の国体の開催について、何か意見などがありましたら、ご自由にお書きください。
(自由記述)

*2024年からは「国民スポーツ大会」へ名称変更

■「国体について」の自由記述の回答数は1,170件。

■主な意見

【肯定的な意見】

- ・ 競技者にとって重要な大会なので、今後も大いに盛り上げて開催してほしい。
- ・ 国民の交流の場、地域活性化のため継続してほしい。
- ・ スポーツ振興のため、三重県での開催を望みます。
- ・ これからも継続してほしい。スポーツすること、応援することの素晴らしさをみんなで感じたい。

【見直しが必要】

- ・ 簡素化したうえで大会を持続してほしい。
- ・ 広域で開催するなど既存施設の有効利用を促進すべき。
- ・ 簡素化等工夫してほしい。
- ・ 数年に一度の開催でよいと思う。
- ・ 全国からボランティア等募集して盛り上げてほしい。
- ・ 持ち回りは必要なのか。
- ・ もう少し経費を抑えるべきだと思う。
- ・ 人的、財政的負担が少なくできる方法を考えてほしい。
- ・ 時代に合わせてマイナーチェンジを行ってほしい。
- ・ 競技ごとに会場（開催地）を固定してしまってもよいのではないか。

【否定的な意見】

- ・ 財政負担が大きいため、子ども施策など他の施策に使ってほしい。
- ・ 開催する必要性を感じない。
- ・ 無理に実施しなくてよい。

Ⅱ 集計結果

4. 結婚や子ども・子育て に関すること

4. 結婚や子ども・子育てについて

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていく必要があります。

ここでは、「結婚に対する考え方」や「子ども・子育て」などの集計結果について記載しています。

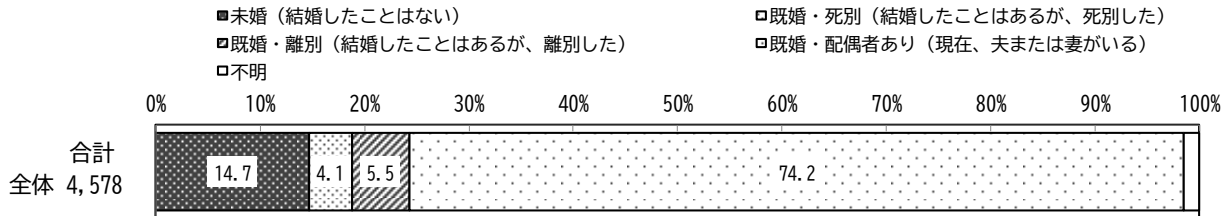
項目	質問文の概要
結婚経験 (問6)	これまでに結婚をしたことがあるか
結婚に対する 考え方 (問6-2)	(問6で「未婚」と回答した方へ) 今後の人生を通して考えた場合、結婚に対する考えは、次のうちどちらか (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない
理想の子どもの人数 (問9)	子どもを何人くらいほしいか、あるいは、ほしかったか
実際の子どもの人数 (問10)	子どもの有無
子どもの属性 (問10-2)	現在、ご家庭にいる子どもの属性 (未就学児、小学生・中学生、高校生、大学生など)
男性の家事・育児参画 (問11)	今後、男性が家事や育児に参画していくためには、 どのようなことが必要だと思うか
子育てと仕事の両立 (問12)	子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策
地域社会の見守りの中での 子ども・子育て (問13)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか
ヤングケアラーについて (問14)	「ヤングケアラー」について知っていたか
フリースクールについて (問15)	「フリースクール」について知っていたか
人口減少対策について (問16)	子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策

4.1 結婚について

問6 あなたは、これまでに結婚したことはありますか。

- 回答者の配偶関係は、「未婚」が14.7%、「有配偶」が74.2%、「死別」が4.1%、「離別」が5.5%となっています。

図表 4-6-1 配偶関係

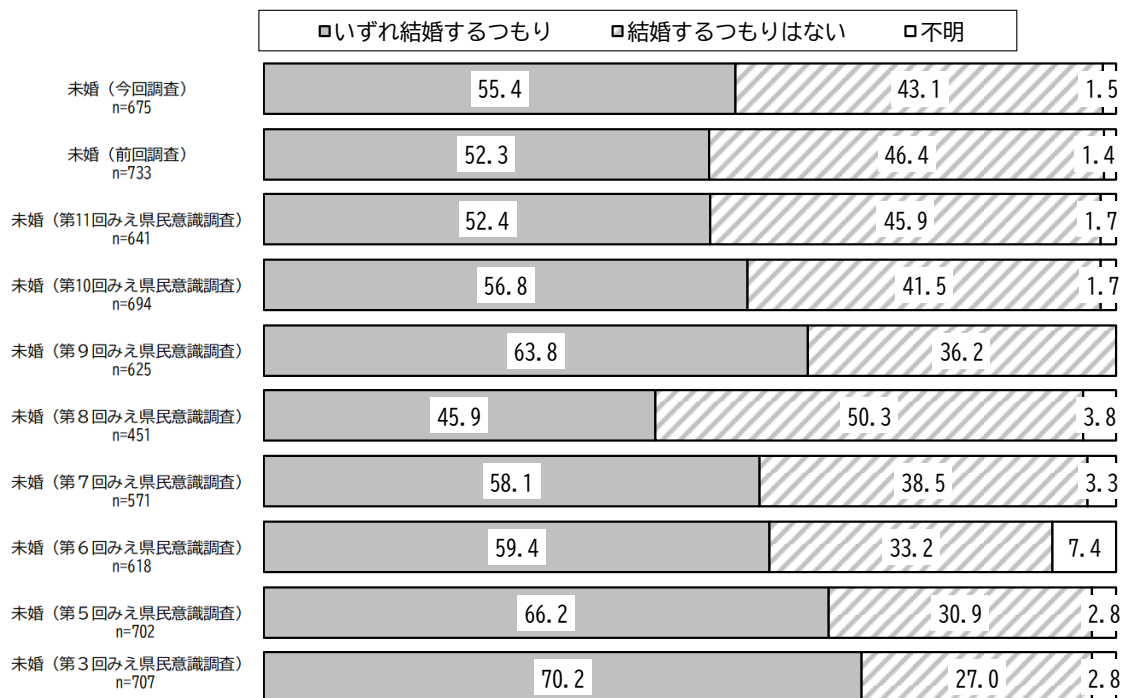


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

問6-2 これまでに結婚したことがない方 (問6で「未婚」を選んだ方) におききします。
 今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

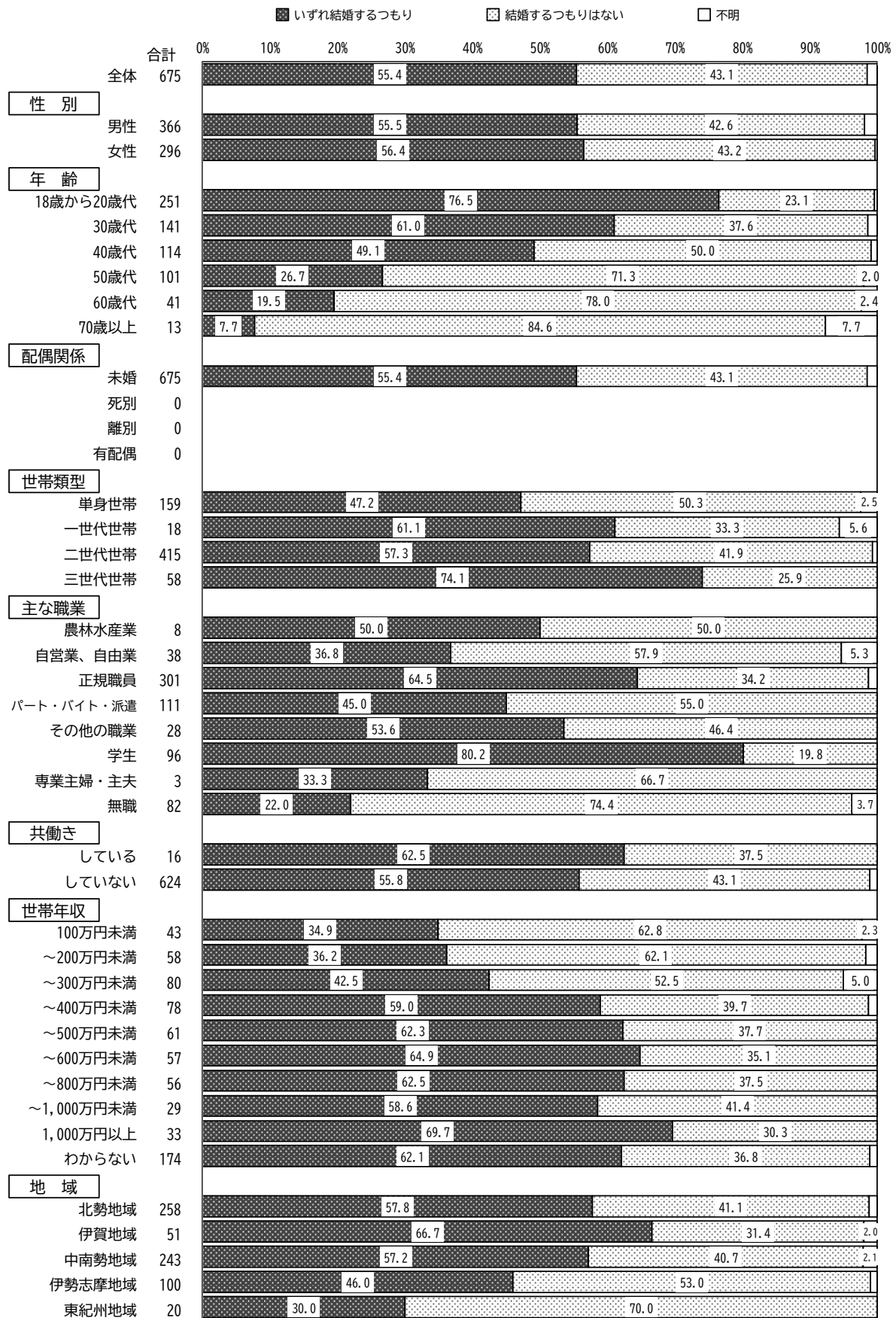
- 結婚に対する考え方について、未婚の方は「いずれ結婚するつもり」が55.4%、「結婚するつもりはない」が43.1%となっています。

図表 4-6-2-1 未婚の方の結婚に対する考え方



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未記入など)」も分母に含めて算出

図表 4-6-2-2 未婚の方の結婚に対する考え方（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出
 ※グラフのない項目は、該当がないかサンプル数が10未満のため、公表を差し控えたものです。

4.2 子ども・子育て支援について

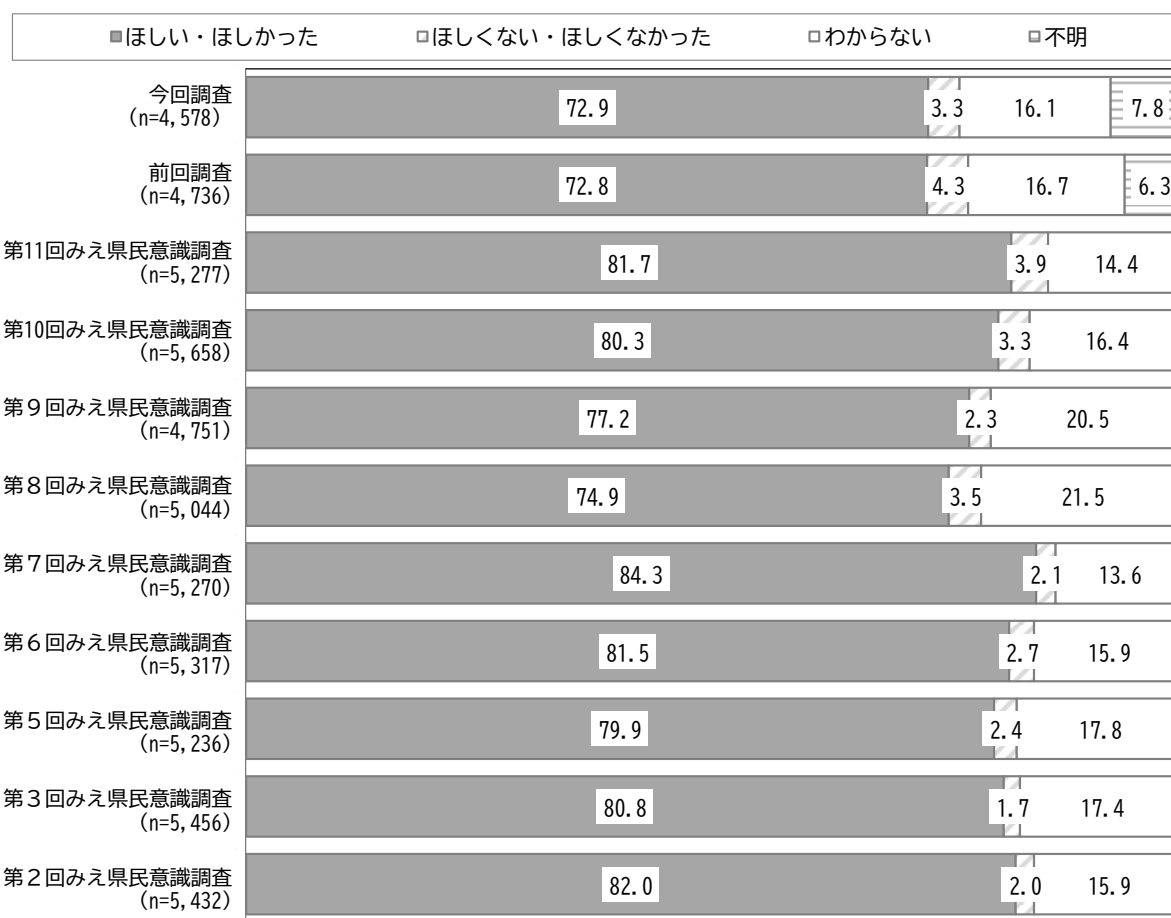
問9 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。

▶ 子どもを希望する割合

○ 子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は72.9%で、前回調査より0.1ポイント高くなっています。

図表 4-9-1 子どもを希望する割合

(%)

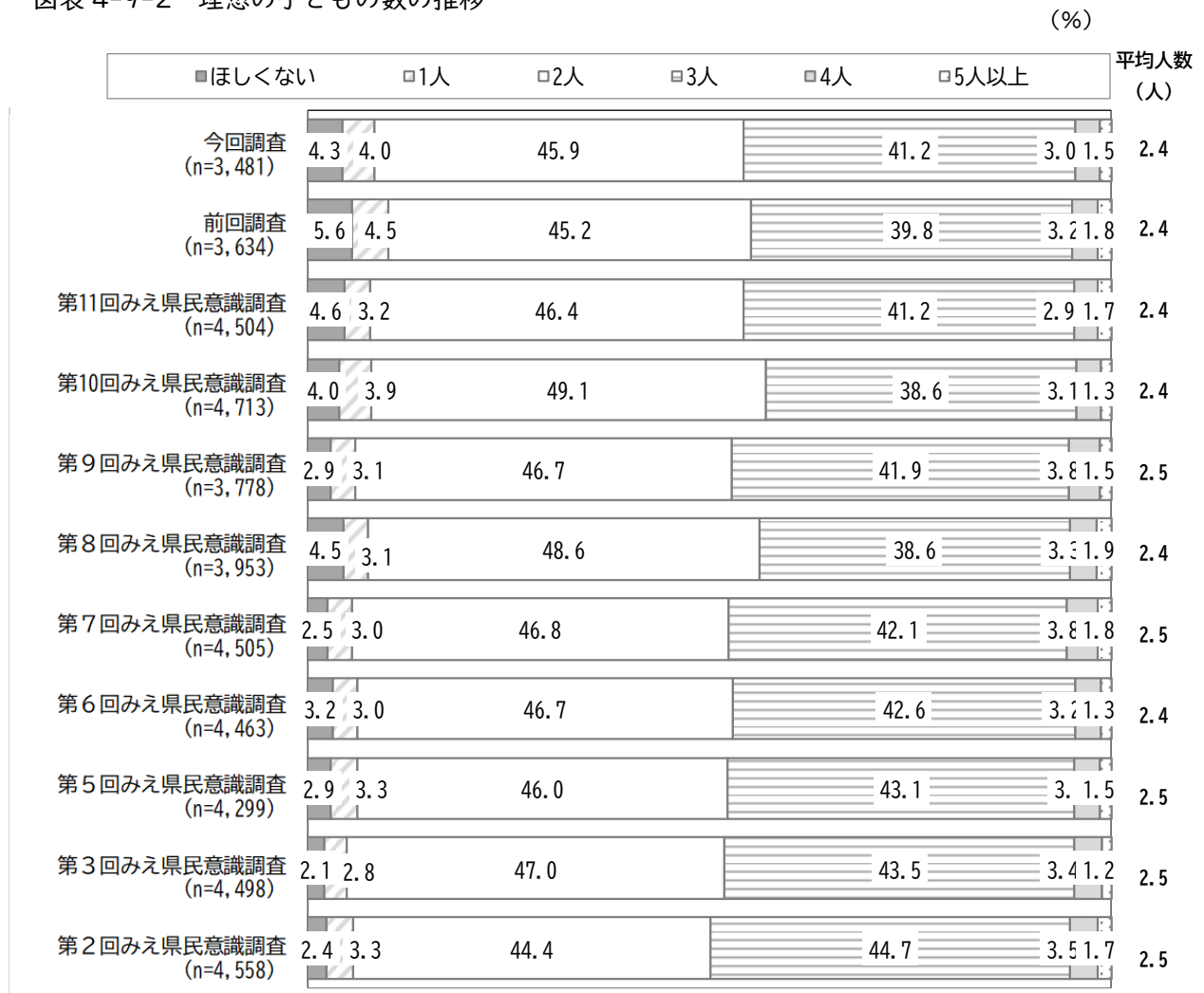


※第11回みえ県民意識調査以前は「わからない」と「不明」を合算し、「わからない」で計上

➤ 理想の子どもの数

- 理想の子どもの数について、「2人」の割合が45.9%で最も高く、次いで「3人」(41.2%)となっています。前回調査と比較すると「2人」、「3人」の割合はそれぞれ高くなっています。

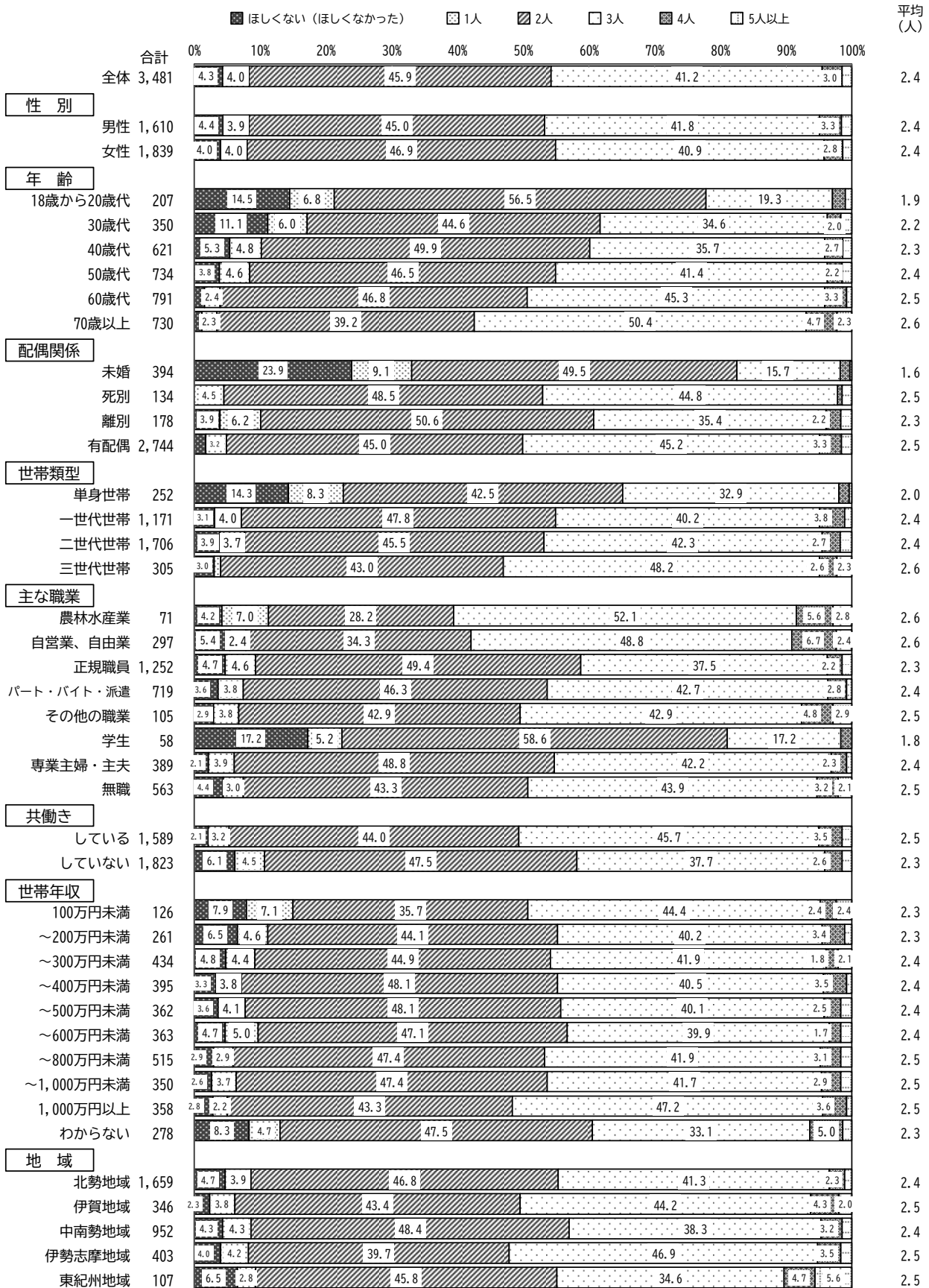
図表 4-9-2 理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

図表 4-9-3 理想の子どもの数（属性別）



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出

※平均値は、「ほしくない」の回答を「0人」として算出

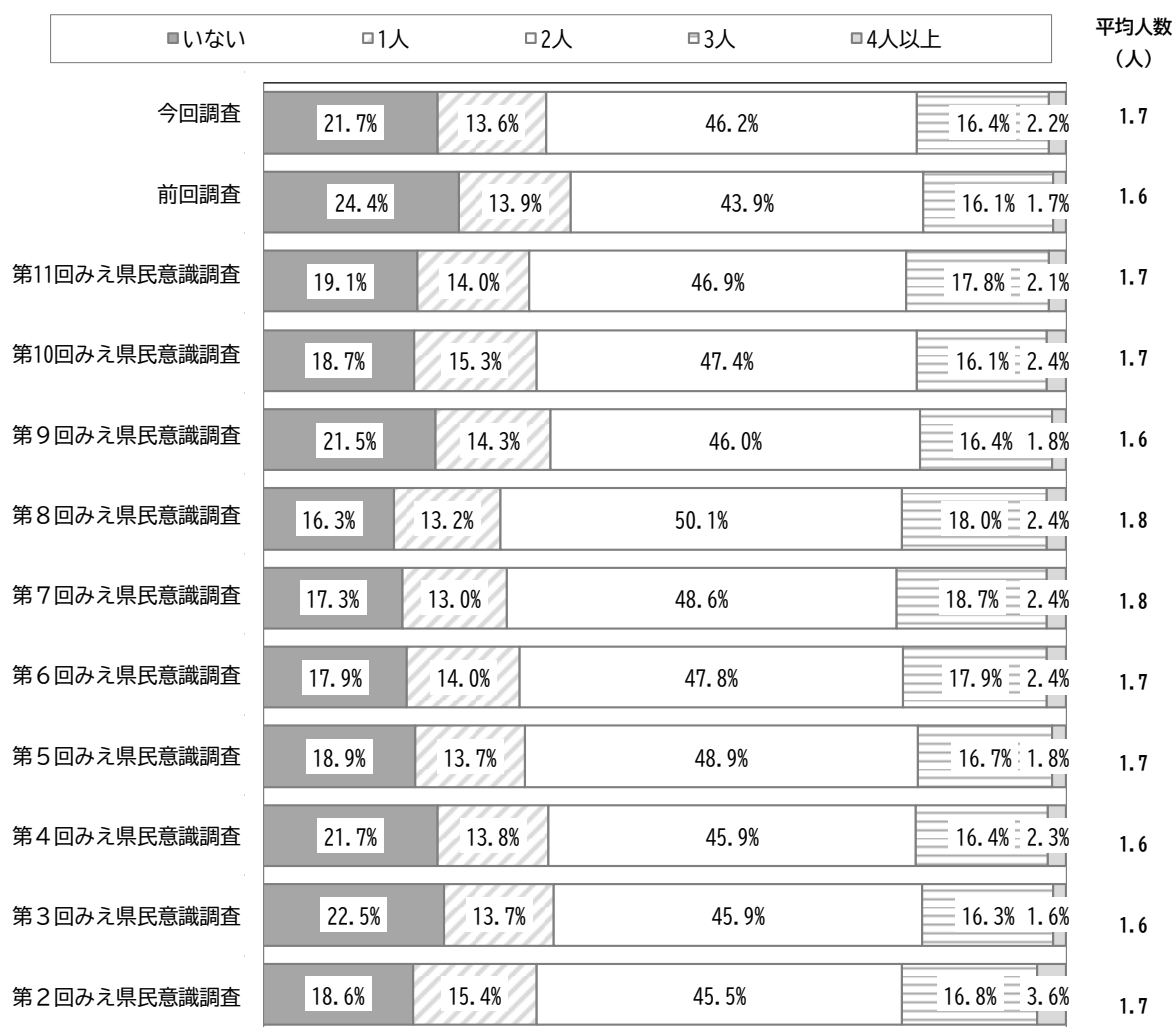
問 10 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

➤ 子どもの数

○ 実際の子どもの数を質問したところ、「2人」が46.2%、「いない」が21.7%、「3人」が16.4%、「1人」が13.6%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は1.7人で、前回調査より0.1ポイント高くなっています。

図表 4-10-1-1 子どもの数

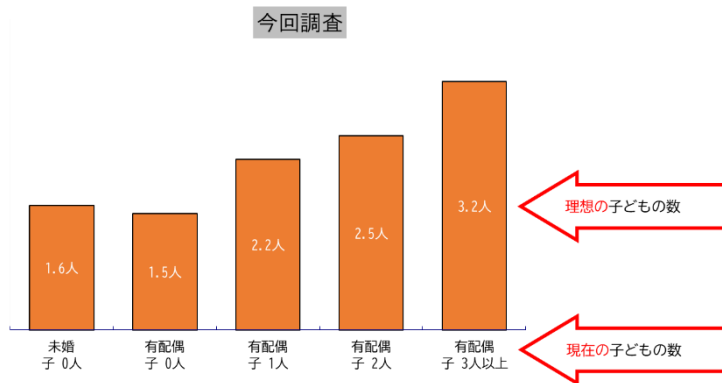


※ 「不明」を除いて回答割合(%)や平均人数を算出

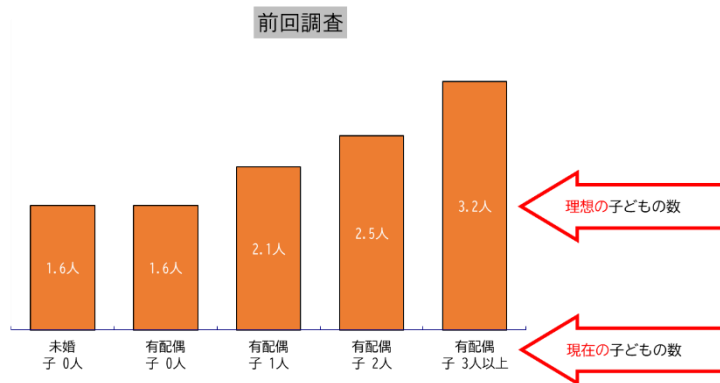
子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

○ 18歳以上から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層は1.6人、有配偶で子どもがいない層は1.5人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.5人で、実際の子どもの数は理想の数より少なくなっています。また、前回調査と比べると、理想の子どもの数は、有配偶で子どもがいない層で0.1人減少し、有配偶で子ども1人の層で0.1人増加しています。

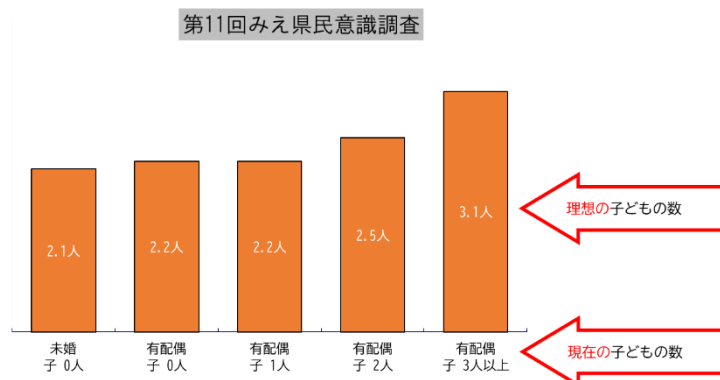
図表 4-10-1-2 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（今回調査）



図表 4-10-1-3 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（前回調査）



図表 4-10-1-4 18歳以上から40歳代の子どもの数の理想と現実（第11回みえ県民意識調査）

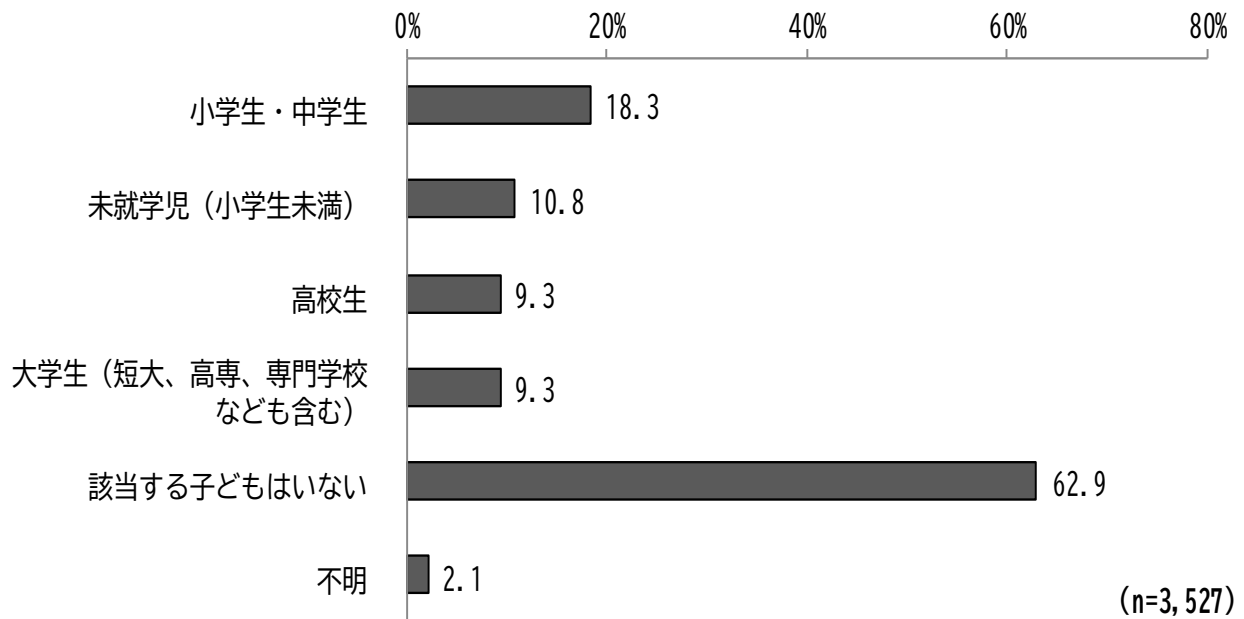


問 10-2 現在、ご家庭に次の方はいますか。該当があれば○をつけてください。
(複数回答可)

➤ 現在、ご家庭にいる子どもの属性

○ 現在、ご家庭にいる子どもの属性を質問したところ、以下のとおりでした。

図表 4-10-2-1 現在、ご家庭にいる子どもの属性

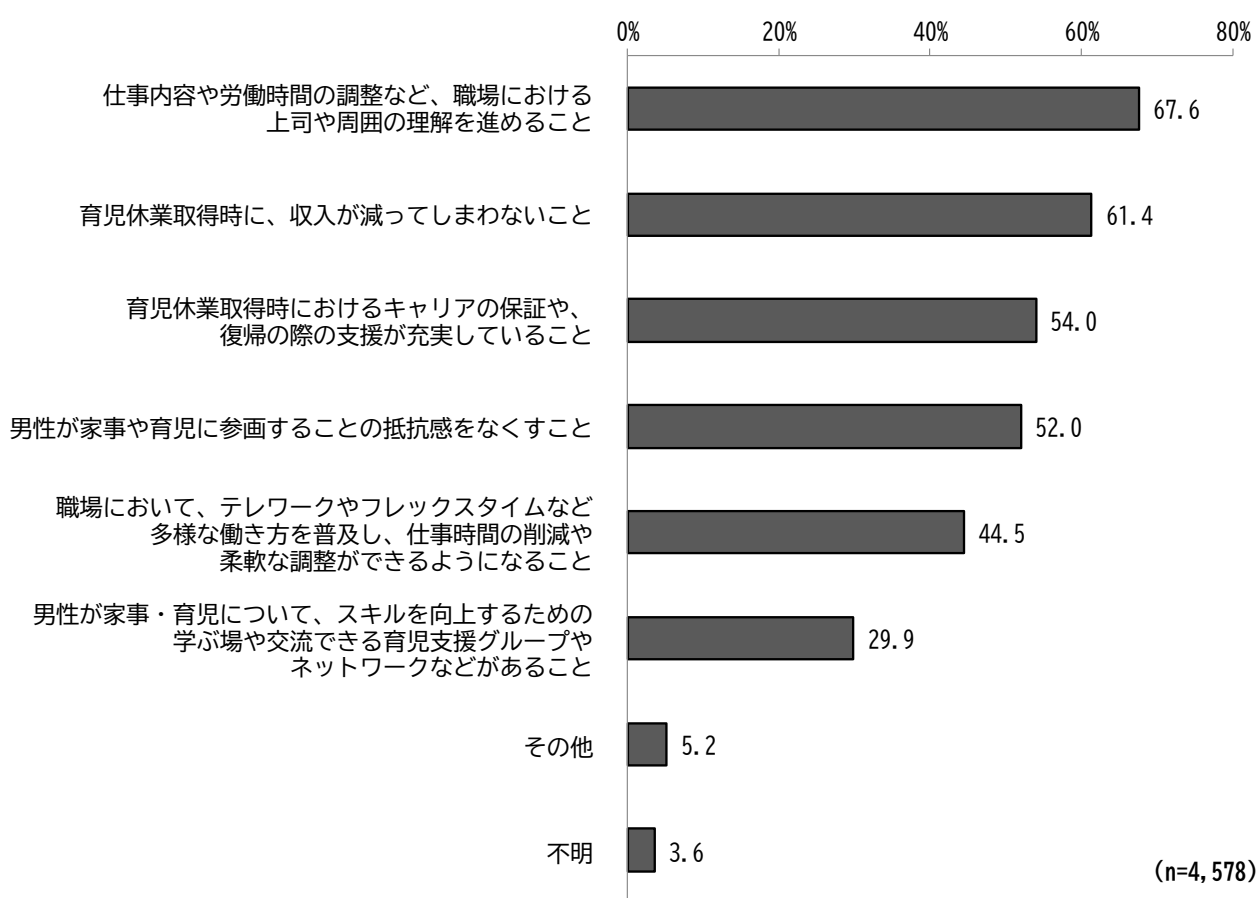


※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 11 あなたは、今後、男性が家事や育児に参画していくためには、
 どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答可)

○ 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要だと思うかについて質問したところ、「仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が 67.6%で最も高く、次いで「育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと」(61.4%)、「育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること」(54.0%)となっています。

図表 4-11-1 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要か



※本質問の回答割合%は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 4-11-2 男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要か（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	男性が家事や育児に参画することの抵抗感をなくすこと	育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと	育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること	仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること	職場において、テレワークやフレックスタイムなど多様な働き方を普及し、仕事時間の削減や柔軟な調整ができるようになること	男性が家事・育児について、スキルを向上するための学ぶ場や交流できる育児支援グループやネットワークなどがあること	その他	不明
全体		4,578	52.0	61.4	54.0	67.6	44.5	29.9	5.2	3.6
性別	男性	2,092	44.4	60.5	57.0	65.5	39.7	27.1	4.8	3.5
	女性	2,420	58.7	62.8	57.1	70.1	49.0	32.5	5.4	3.2
年齢	18歳から20歳代	304	53.9	72.0	63.2	72.7	59.2	30.3	2.6	0.7
	30歳代	435	45.3	70.8	57.7	72.0	49.0	26.0	7.8	1.4
	40歳代	755	49.8	63.3	54.0	71.8	46.1	27.4	7.5	1.1
	50歳代	935	52.4	61.5	55.7	67.1	47.1	27.5	6.5	1.8
	60歳代	1,032	50.0	62.3	55.0	71.0	46.4	31.8	3.4	3.0
	70歳以上	1,031	58.1	53.7	48.2	59.4	33.6	33.7	3.6	8.4
配偶関係	未婚	675	50.5	63.6	56.3	69.5	49.5	27.1	6.1	1.3
	死別	187	56.7	53.5	49.2	61.5	38.0	30.5	2.7	9.1
	離別	250	50.4	61.6	48.0	66.4	41.2	30.8	4.8	4.8
	有配偶	3,396	52.8	62.0	54.7	68.3	44.6	30.7	5.2	2.9
世帯類型	単身世帯	365	57.0	60.0	50.7	65.5	40.8	28.2	5.5	6.3
	一世代世帯	1,511	54.5	62.5	53.5	68.0	43.9	32.6	3.7	3.8
	二世帯世帯	2,221	50.1	61.4	55.0	69.3	46.0	28.9	6.1	2.4
	三世帯世帯	384	55.7	62.0	57.0	62.8	45.3	26.8	3.1	4.7
主な職業	農林水産業	87	54.0	58.6	55.2	62.1	36.8	29.9	9.2	3.4
	自営業、自由業	387	53.0	53.5	45.0	59.7	39.0	26.6	6.5	5.7
	正規職員	1,527	48.5	64.4	56.3	71.5	48.1	25.8	6.0	1.1
	パート・バイト・派遣	951	52.4	67.8	56.3	71.8	45.3	34.1	4.8	2.4
	その他の職業	154	52.6	59.7	53.2	66.9	38.3	34.4	5.8	5.2
	学生	97	55.7	68.0	60.8	67.0	63.9	29.9	1.0	-
	専業主婦・主夫	521	63.1	62.4	59.1	70.8	49.9	37.4	4.6	3.1
	無職	789	50.3	52.9	48.7	59.8	36.9	28.9	3.4	8.1
共働き	している	1,901	50.9	64.3	55.7	69.9	46.0	29.0	6.3	2.1
	していない	2,537	53.3	60.3	54.0	67.1	44.3	31.1	4.3	3.9
世帯年収	100万円未満	188	52.7	55.3	44.1	57.4	36.2	28.7	3.7	6.4
	～200万円未満	414	52.9	56.3	41.8	57.0	35.0	29.0	4.3	9.9
	～300万円未満	610	54.3	58.7	53.6	66.2	41.3	32.8	3.3	4.1
	～400万円未満	548	51.5	61.9	52.2	66.6	40.7	32.5	5.5	4.2
	～500万円未満	446	52.5	66.8	58.3	75.1	45.3	31.6	4.0	2.0
	～600万円未満	429	52.4	67.1	59.4	69.2	47.3	28.4	6.8	0.7
	～800万円未満	603	51.6	66.8	57.4	73.0	48.8	28.2	5.0	1.3
	～1,000万円未満	409	46.5	60.9	59.9	71.6	54.5	28.4	5.9	1.7
	1,000万円以上	422	50.7	58.1	54.3	68.5	47.9	25.6	4.5	1.2
	わからない	436	56.9	60.8	55.0	66.1	47.5	32.6	7.6	3.2
地域	北勢地域	2,135	51.0	60.5	53.7	67.4	44.5	30.7	5.3	3.1
	伊賀地域	466	56.7	62.0	57.7	66.5	43.3	33.3	3.9	4.7
	中南勢地域	1,239	53.3	63.8	55.0	70.5	47.6	28.7	5.6	2.5
	伊勢志摩地域	554	50.4	61.6	52.0	67.7	41.9	28.9	5.1	4.3
	東紀州地域	157	49.0	55.4	49.0	53.5	36.3	22.9	3.2	9.6

※凡例： 第1位 第2位 第3位

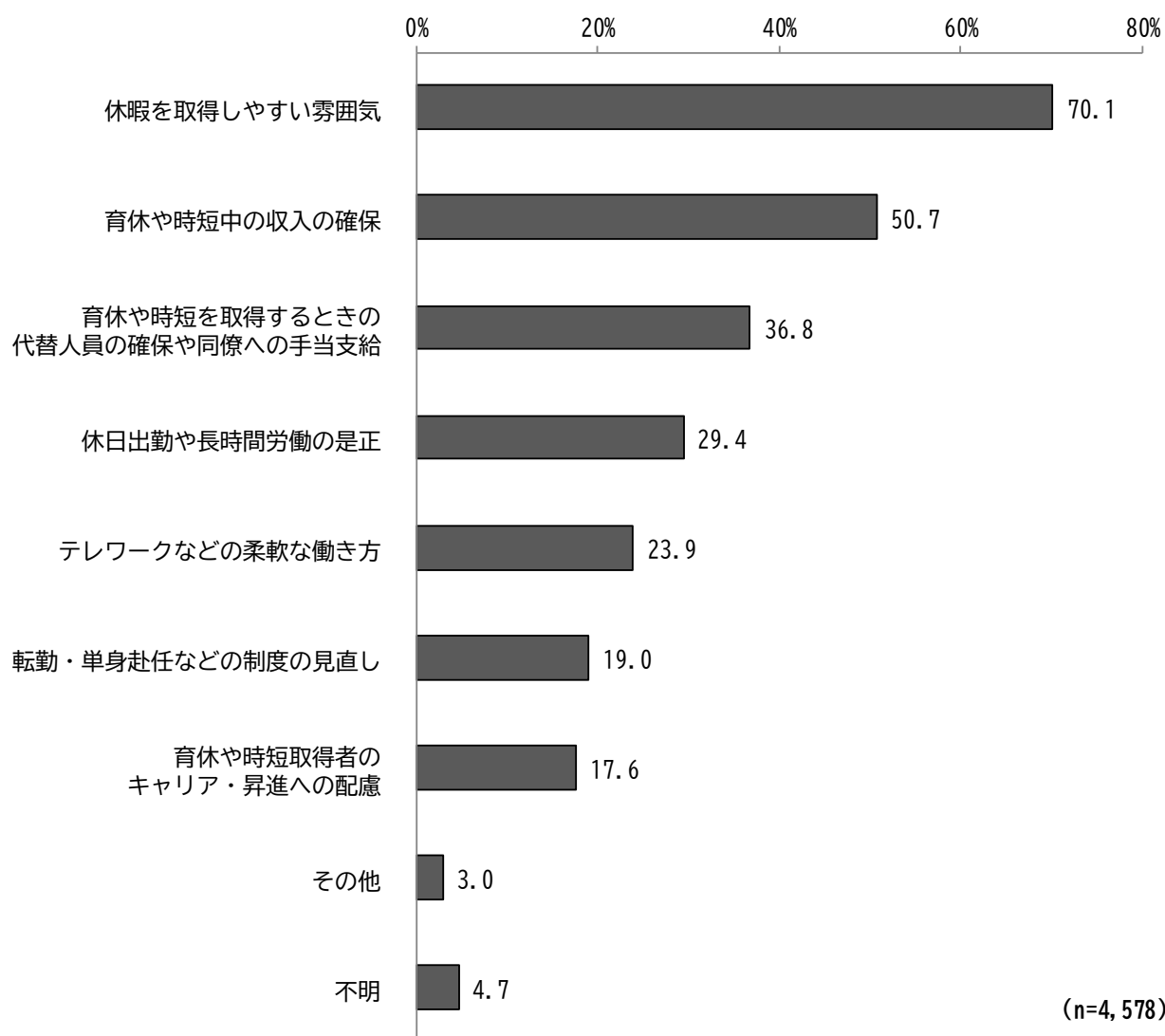
※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 12 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

○ 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策について質問したところ、「休暇を取得しやすい雰囲気」の割合が70.1%で最も高く、次いで「育休や時短中の収入の確保」(50.7%)、「育休や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給」(36.8%)となっています。

図表 4-12-1 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策



※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

図表 4-12-2 子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策（属性別）

合計欄は回答数（n）、選択肢欄は回答割合（％）

		合計	休暇を取得しやすい雰囲気	育児や時短中の収入の確保	育児や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給	テレワークなどの柔軟な働き方	転勤・単身赴任などの制度の見直し	育児や時短取得者のキャリア・昇進への配慮	休日出勤や長時間労働の是正	その他	不明
全体		4,578	70.1	50.7	36.8	23.9	19.0	17.6	29.4	3.0	4.7
性別	男性	2,092	66.2	52.5	37.6	21.4	21.3	17.7	30.6	3.5	3.9
	女性	2,420	73.8	49.7	36.5	26.4	16.9	17.4	28.4	2.7	4.8
年齢	18歳から20歳代	304	76.6	63.5	40.8	32.2	9.9	23.4	30.3	1.0	1.0
	30歳代	435	75.4	57.7	43.9	22.1	11.3	21.8	28.3	3.2	2.1
	40歳代	755	69.4	50.6	44.0	26.5	19.6	17.4	25.7	4.1	2.4
	50歳代	935	69.8	49.3	42.5	23.7	17.9	18.9	27.1	3.7	3.1
	60歳代	1,032	69.8	52.1	35.9	23.1	21.1	17.6	31.1	2.2	3.9
	70歳以上	1,031	68.0	44.6	23.6	22.1	23.3	13.2	33.4	3.2	9.3
配偶関係	未婚	675	71.4	50.1	45.3	28.4	14.2	18.2	30.4	2.7	2.4
	死別	187	69.0	34.8	21.9	23.5	23.0	13.9	29.4	1.6	10.2
	離別	250	66.4	53.2	31.6	24.8	16.8	18.4	27.6	3.2	6.4
	有配偶	3,396	70.2	51.9	36.4	23.2	19.8	17.6	29.4	3.2	4.5
世帯類型	単身世帯	365	65.8	45.8	34.8	24.9	18.4	17.5	26.8	3.3	6.8
	一世帯世帯	1,511	69.4	51.0	32.8	23.2	20.2	18.6	30.6	3.0	5.0
	二世帯世帯	2,221	71.6	51.3	40.1	24.7	18.3	16.6	29.0	3.1	3.4
	三世帯世帯	384	70.8	53.1	37.8	23.4	18.8	20.1	28.4	2.3	4.4
主な職業	農林水産業	87	72.4	50.6	21.8	20.7	23.0	17.2	35.6	1.1	5.7
	自営業、自由業	387	61.2	48.1	30.2	26.4	19.9	12.9	27.6	4.9	6.5
	正規職員	1,527	69.8	53.2	46.2	24.1	18.1	20.3	26.7	3.7	2.3
	パート・バイト・派遣	951	76.1	53.3	37.9	22.9	15.8	18.4	28.6	2.0	3.4
	その他の職業	154	70.1	55.2	33.8	24.0	16.9	15.6	27.9	3.2	4.5
	学生	97	78.4	55.7	35.1	39.2	14.4	22.7	29.9	1.0	-
	専業主婦・主夫	521	72.0	50.3	33.0	26.7	21.7	16.7	32.1	1.7	5.0
	無職	789	66.2	43.7	26.5	21.2	23.1	14.4	34.0	3.5	8.5
共働き	している	1,901	71.8	53.7	39.2	22.7	17.3	18.4	27.9	3.5	3.3
	していない	2,537	69.4	49.2	35.7	25.5	20.5	17.4	30.8	2.6	4.7
世帯年収	100万円未満	188	64.4	46.8	30.3	19.1	15.4	14.9	27.1	3.2	8.5
	～200万円未満	414	66.2	42.8	25.4	19.8	17.6	11.1	34.1	3.4	12.1
	～300万円未満	610	72.5	51.0	30.2	24.1	21.6	14.9	36.9	1.8	4.3
	～400万円未満	548	68.8	52.0	32.7	22.1	20.4	19.3	29.7	3.5	5.3
	～500万円未満	446	74.2	56.3	39.2	24.9	17.3	17.7	27.8	2.7	3.4
	～600万円未満	429	73.4	56.4	47.7	21.2	17.5	20.5	28.0	2.3	2.1
	～800万円未満	603	69.8	52.6	43.1	21.4	20.1	17.9	29.4	3.5	2.5
	～1,000万円未満	409	68.7	48.2	45.0	29.6	20.3	21.8	26.7	3.7	2.7
	1,000万円以上	422	66.6	47.4	45.7	29.1	19.9	21.6	22.0	2.8	2.4
	わからない	436	74.3	51.8	33.9	28.2	16.7	16.1	28.2	4.1	4.1
地域	北勢地域	2,135	69.6	50.0	36.4	25.5	20.5	17.8	28.2	3.2	4.3
	伊賀地域	466	71.2	52.4	34.8	20.6	20.6	18.9	30.7	1.9	5.4
	中南勢地域	1,239	71.6	51.3	40.4	24.1	16.9	17.4	29.3	3.0	4.1
	伊勢志摩地域	554	68.6	52.7	34.1	21.5	17.1	19.3	31.2	3.4	5.4
	東紀州地域	157	68.2	45.2	31.2	21.0	16.6	7.6	35.0	3.2	7.0

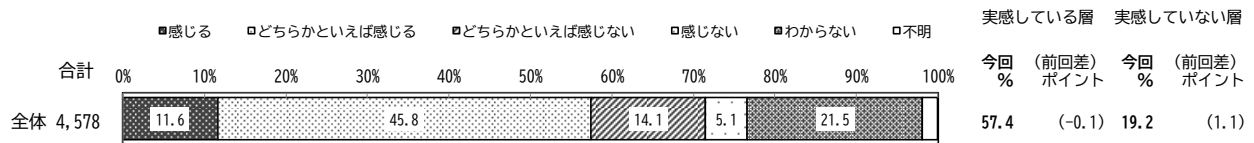
※凡例： 第1位 第2位 第3位

※本質問の回答割合（％）は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 13 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

- 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるかについて質問したところ、「実感している層」が 57.4%で、「実感していない層」(19.2%)より 38.2 ポイント高くなっています。

図表 4-13-1 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※本質問の回答割合(%)は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「実感している層」の割合が高くなっています。特に、男性と比較して女性では「実感している層」の割合(58.3%)が高くなっています。

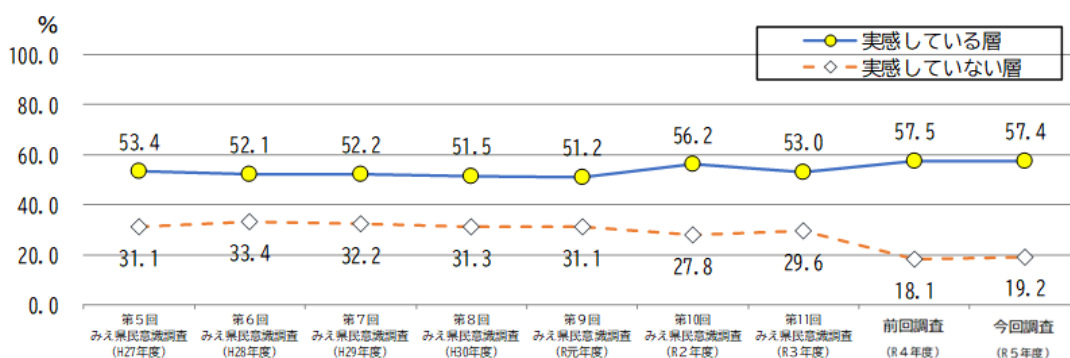
【年代別】

- すべての年代で「実感している層」の割合が高くなっています。特に、「実感している層」の割合が最も高いのは、40歳代(65.4%)で、最も低いのは60歳代(52.2%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「実感している層」の割合が高くなっています。特に、「実感している層」の割合が最も高いのは伊賀地域(60.5%)で、最も低いのは東紀州地域(50.3%)となっています。

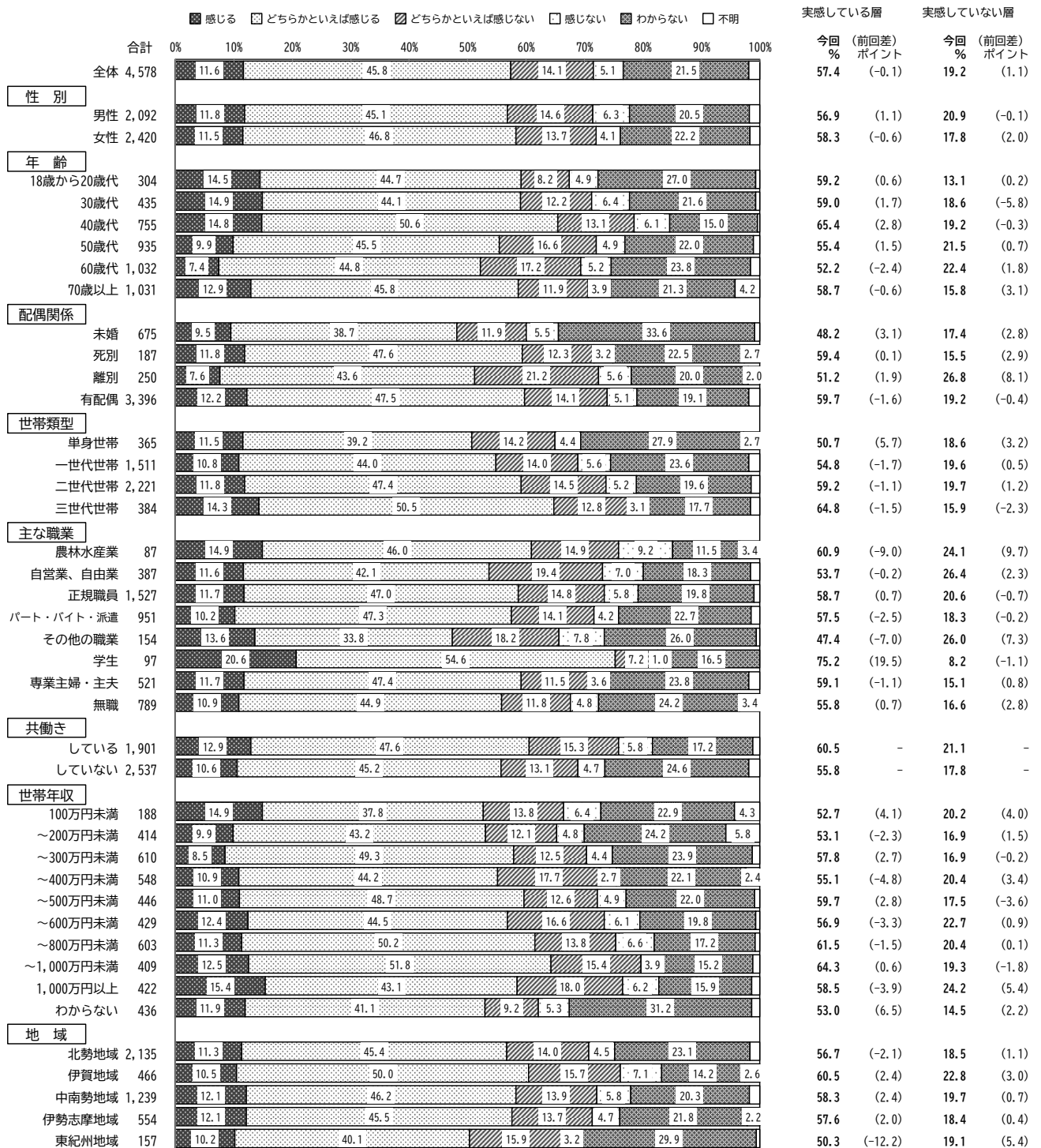
図表 4-13-2 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか



※「第5回みえ県民意識調査」からの推移
 ※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
 ※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

- 「実感している層」の割合は、前回調査より 0.1 ポイント低く、「実感していない層」の割合は 1.1 ポイント高くなっています。

図表 4-13-3 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じるか（属性別）



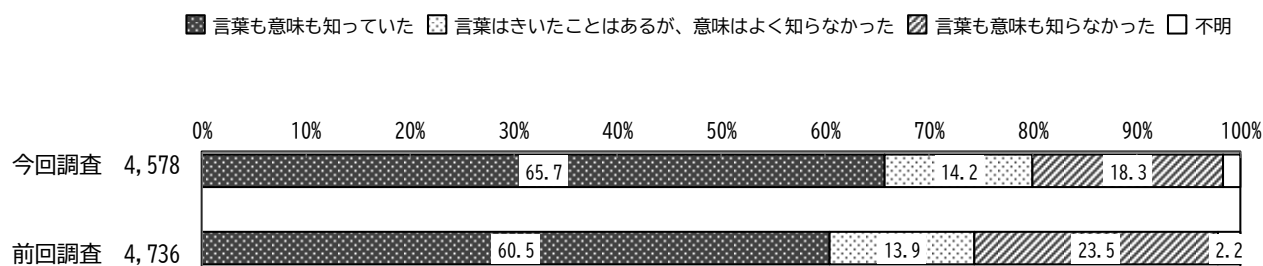
※本質問の回答割合 (%) は、「わからない」や「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

問 14 あなたは、「ヤングケアラー*」について知っていましたか。

*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

- 「ヤングケアラー」について知っているか質問したところ、「言葉も意味も知っていた」の割合が 65.7%で最も高く、次いで「言葉も意味も知らなかった」(18.3%)、「言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった」(14.2%)となっています。

図表 4-14-1 「ヤングケアラー」について知っているか



※本質問の回答割合(%)は、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「言葉も意味も知っていた」の割合(74.3%)が高くなっています。

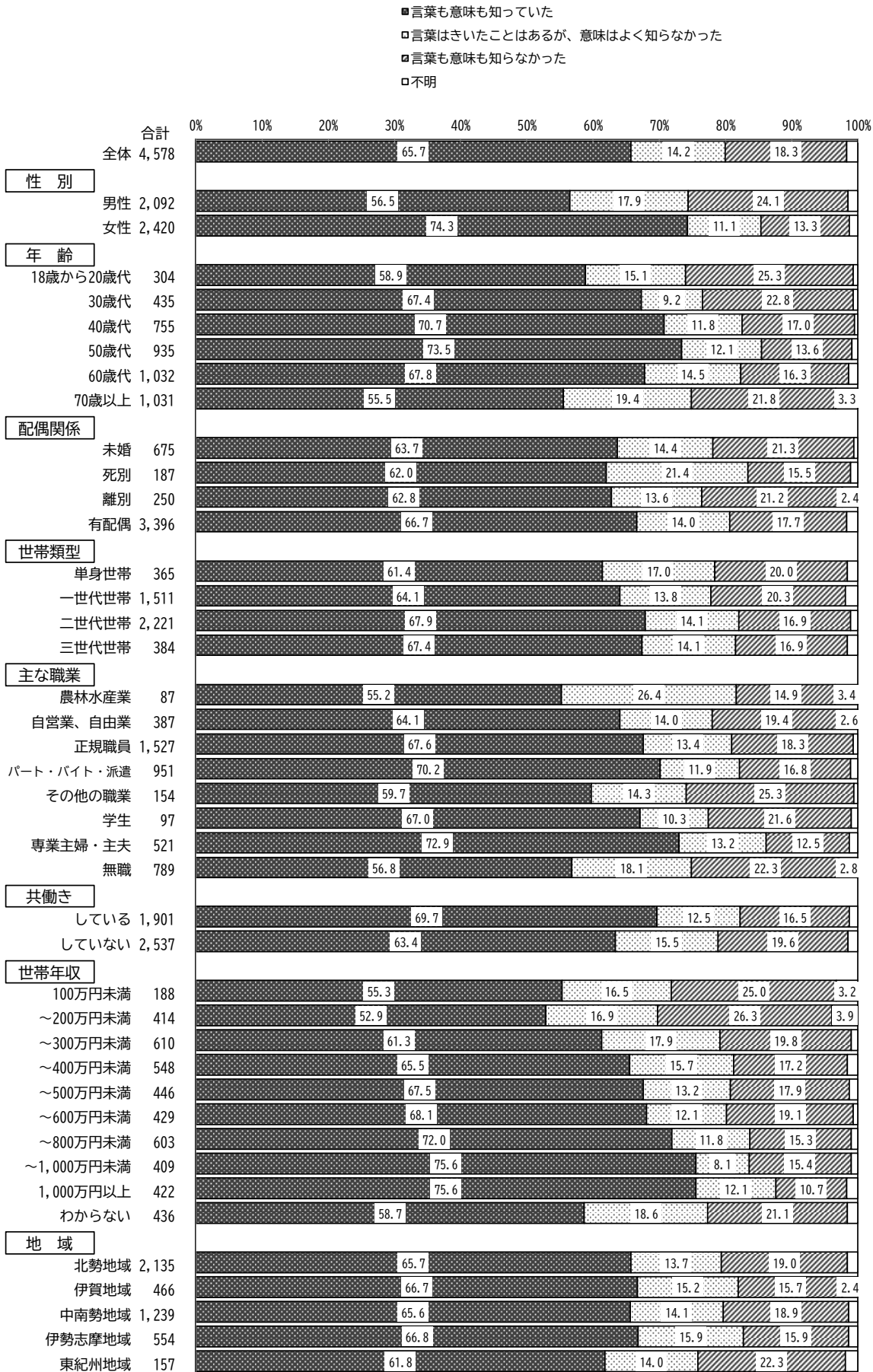
【年代別】

- すべての年代で「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合が最も高いのは 50 歳代(73.5%)で、最も低いのは 70 歳以上(55.5%)となっています。

【地域別】

- すべての地域で「言葉も意味も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合が最も高いのは伊勢志摩地域(66.8%)で、最も低いのは東紀州地域(61.8%)となっています。

図表 4-14-2 「ヤングケアラー」について知っているか（属性別）



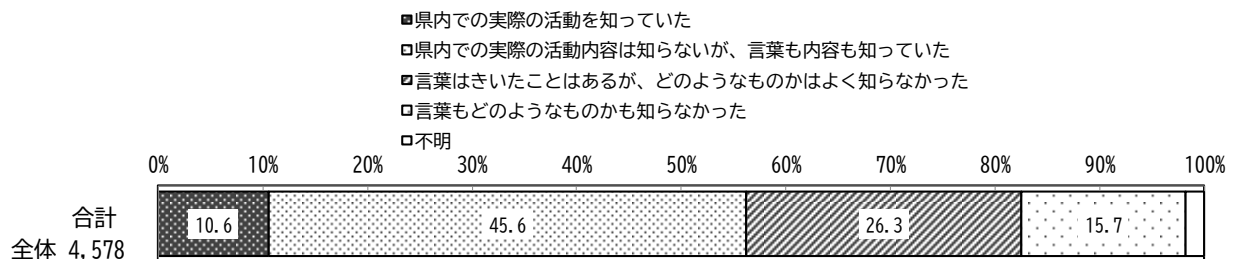
※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

問 15 あなたは、「フリースクール*」について知っていましたか。

*一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設をいいます。

- 「フリースクール」について知っているか質問したところ、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が45.6%で最も高く、次いで「言葉はきいたことはあるが、どのようなものかはよく知らなかった」(26.3%)、「言葉もどのようなものかも知らなかった」(15.7%)となっています。

図表 4-15-1 「フリースクール」について知っているか



※本質問の回答割合 (%) は、「不明 (未回答など)」も分母に含めて算出

【性別】

- 男女とも「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、男性と比較して女性で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合 (51.7%) が高くなっています。

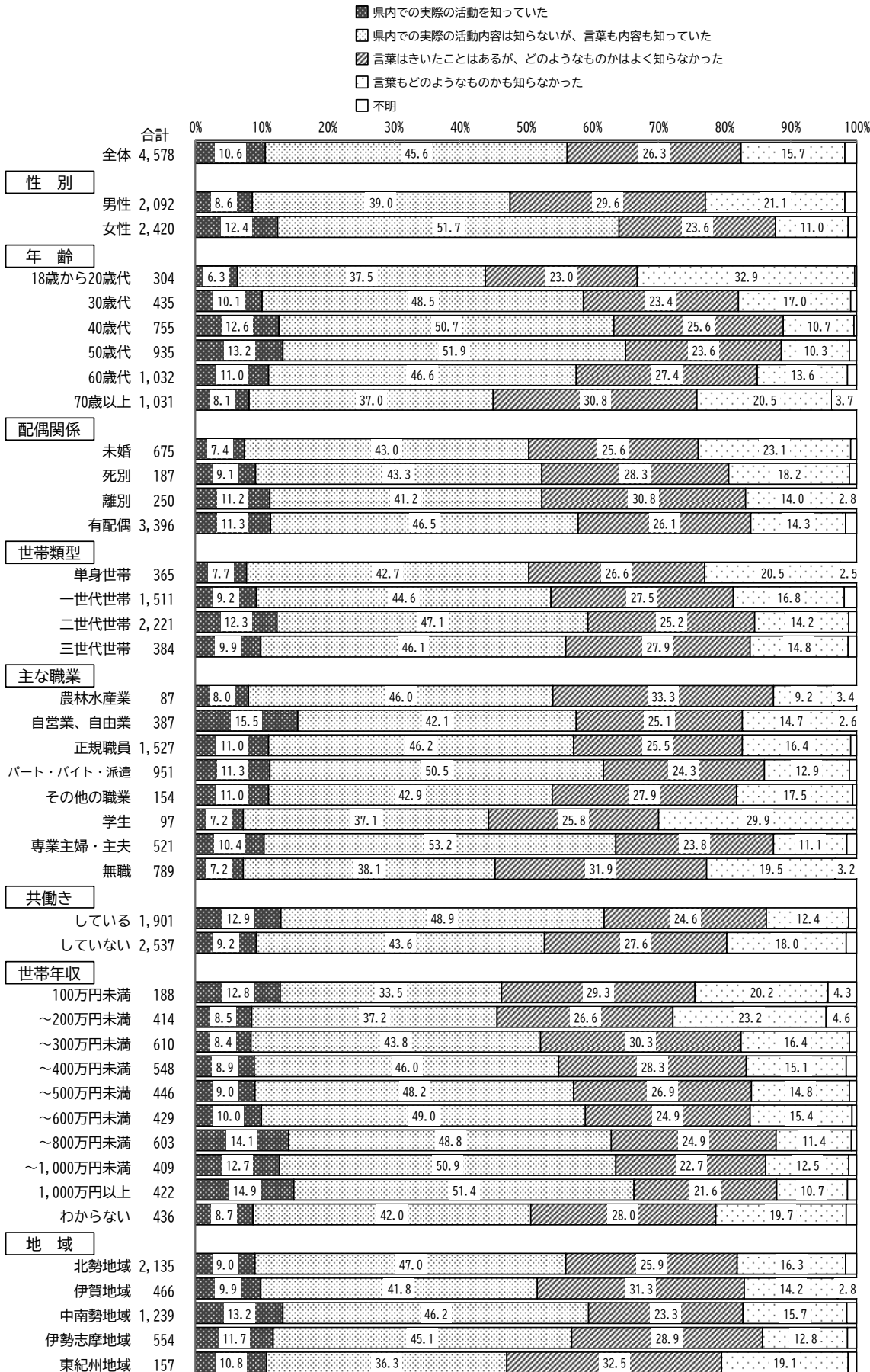
【年代別】

- すべての年代で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」と回答した割合が最も高いのは50歳代 (51.9%) で、最も低いのは70歳以上 (37.0%) となっています。

【地域別】

- すべての地域で「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」の割合が最も高くなっています。特に、「県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた」と回答した割合が最も高いのは北勢地域 (47.0%) で、最も低いのは東紀州地域 (36.3%) となっています。

図表 4-15-2 「フリースクール」について知っているか（属性別）



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

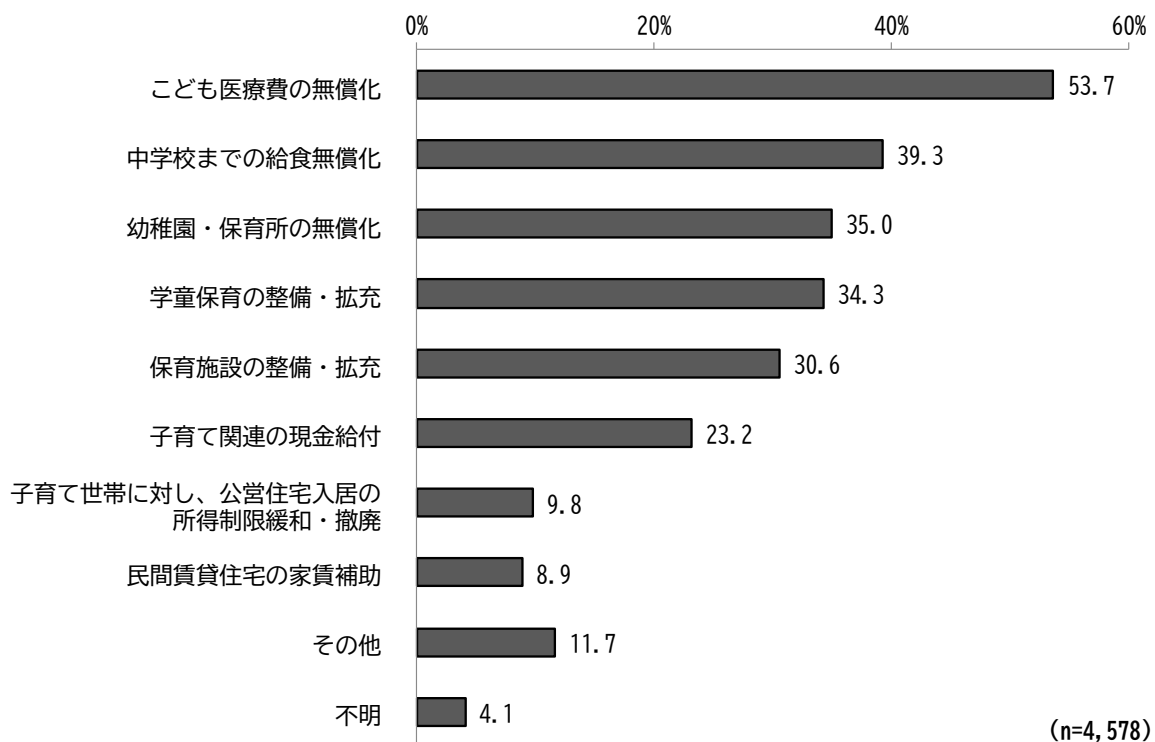
4.3 人口減少対策について

問 16 あなたは、子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

- 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策について質問したところ、「こども医療費の無償化」の割合が53.7%で最も高く、次いで「中学校までの給食無償化」(39.3%)、「幼稚園・保育所の無償化」(35.0%)となっています。

図表 4-16-1 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策



※本質問の回答割合(%)は、「その他」、「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

図表 4-16-2 子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策（属性別）

合計欄は回答数 (n)、選択肢欄は回答割合 (%)

		合計	こども医療費の無償化	幼稚園・保育所の無償化	保育施設の整備・拡充	学童保育の整備・拡充	中学校までの給食無償化	民間賃貸住宅の家賃補助	子育て世帯に対し、公営住宅入居の所得制限緩和・撤廃	子育て関連の現金給付	その他	不明
全体		4,578	53.7	35.0	30.6	34.3	39.3	8.9	9.8	23.2	11.7	4.1
性別	男性	2,092	53.2	38.0	28.2	29.8	40.1	10.5	12.1	26.4	12.2	3.1
	女性	2,420	54.3	32.4	33.1	38.6	38.7	7.6	7.8	20.9	11.3	4.3
年齢	18歳から20歳代	304	54.6	38.8	31.9	23.0	39.8	13.5	15.5	38.8	9.5	2.0
	30歳代	435	49.9	43.2	28.7	33.1	37.0	8.5	7.1	38.6	14.5	1.8
	40歳代	755	53.2	27.5	29.3	32.5	41.2	8.1	7.4	31.7	17.6	2.3
	50歳代	935	51.8	32.8	32.2	36.3	33.2	8.8	8.3	20.1	15.6	2.6
	60歳代	1,032	52.1	37.5	34.6	40.9	40.7	8.7	8.8	16.5	8.8	3.5
	70歳以上	1,031	59.2	35.2	27.1	31.7	44.4	8.6	13.5	15.7	6.4	7.6
配偶関係	未婚	675	46.2	35.6	35.7	30.4	34.2	13.0	13.6	25.3	12.6	2.7
	死別	187	53.5	28.9	27.8	37.4	41.7	10.7	11.2	12.8	7.0	7.0
	離別	250	47.6	32.0	29.2	33.6	36.4	13.6	12.8	22.0	10.0	5.2
	有配偶	3,396	55.7	35.5	30.1	34.9	40.5	7.6	8.7	23.6	12.0	3.9
世帯類型	単身世帯	365	47.9	35.1	34.0	32.3	36.7	12.9	13.2	19.7	7.9	6.3
	一世帯世帯	1,511	55.5	36.4	31.2	35.8	40.6	9.2	9.5	19.9	9.5	5.0
	二世帯世帯	2,221	53.1	33.7	29.4	34.6	39.0	8.3	9.8	26.0	14.0	2.6
	三世帯世帯	384	58.1	35.7	34.9	31.5	40.4	8.6	8.6	24.2	10.7	3.4
主な職業	農林水産業	87	52.9	32.2	25.3	33.3	33.3	12.6	6.9	26.4	17.2	5.7
	自営業、自由業	387	52.7	34.9	28.7	34.6	39.5	9.6	10.3	20.7	12.1	4.7
	正規職員	1,527	51.0	38.0	31.7	35.0	37.3	8.8	8.7	28.4	13.8	2.2
	パート・バイト・派遣	951	56.4	31.4	32.3	33.6	41.1	8.4	9.5	24.0	10.7	3.5
	その他の職業	154	51.3	37.0	33.1	37.7	37.7	8.4	12.3	22.1	12.3	3.9
	学生	97	63.9	30.9	23.7	19.6	38.7	14.4	16.5	47.4	8.2	1.0
	専業主婦・主夫	521	57.4	32.6	33.4	40.3	40.3	8.3	7.7	16.1	10.4	4.4
	無職	789	53.2	35.6	27.8	32.3	41.2	8.7	12.5	16.3	9.5	6.5
共働き	している	1,901	54.1	34.6	29.2	35.5	39.9	7.9	7.5	27.5	13.7	2.8
	していない	2,537	53.7	35.4	32.2	33.9	39.1	9.7	11.6	20.5	10.4	4.0
世帯年収	100万円未満	188	56.4	26.6	21.8	21.3	42.6	12.2	9.6	23.9	10.1	8.0
	～200万円未満	414	52.4	32.4	28.5	29.5	40.6	9.7	11.1	19.1	7.0	10.6
	～300万円未満	610	55.9	36.7	31.0	34.1	40.8	11.6	13.8	20.2	9.2	3.3
	～400万円未満	548	53.5	38.9	31.4	34.7	41.1	8.6	10.9	18.4	8.0	4.0
	～500万円未満	446	52.0	39.9	30.5	35.9	39.5	9.2	11.2	26.9	10.1	2.2
	～600万円未満	429	57.6	36.4	33.6	35.2	38.9	9.6	7.0	23.1	14.2	1.2
	～800万円未満	603	51.9	36.0	31.3	37.3	39.3	7.1	7.1	29.2	14.8	2.3
	～1,000万円未満	409	56.7	31.5	33.3	40.3	34.2	6.8	6.8	27.1	16.1	2.0
	1,000万円以上	422	48.3	35.1	32.9	39.8	36.3	6.2	8.5	22.5	15.4	3.1
	わからない	436	55.0	37.9	28.9	28.0	40.1	10.6	11.9	24.3	12.2	3.9
地域	北勢地域	2,135	55.1	33.2	30.7	33.2	39.7	8.7	9.4	24.0	12.2	3.9
	伊賀地域	466	51.3	39.5	27.9	32.8	40.8	9.2	12.2	22.7	10.5	4.7
	中南勢地域	1,239	52.5	36.1	33.1	37.2	37.7	8.2	9.2	24.1	12.2	3.3
	伊勢志摩地域	554	53.2	36.3	28.7	34.1	39.4	10.6	11.0	20.9	11.4	4.2
	東紀州地域	157	53.5	34.4	28.0	35.0	42.0	11.5	9.6	17.8	5.7	6.4

※凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

※本質問の回答割合 (%) は、「その他」、「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

Ⅲ その他

Ⅲ その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 4,578 人のうち、1,582 人の方から自由意見が寄せられました。

▶ みえ県民 1 万人アンケートに関する御意見

今後もしできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などに努めてまいります。

なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- ・ このアンケートが目で見える形で実現できることを望む。
- ・ アンケートから様々なことを考える機会となった。
- ・ 県民一人一人が「みえ元気プラン」に少しでも参加しようというモチベーションに繋がる取組を期待します。
- ・ アンケートではなく、直接的に県に意見が伝わる様々な窓口を増やすべき。
- ・ アンケート調査の結果で何か変わるのか疑問です。県民がより生活しやすい街になってほしいです。
- ・ このようなアンケートで県民の情報を得ることは大事だと思う。
- ・ アンケート調査結果から、県民の意見や要望が反映されればとても良いと思う。県民の意見や要望を調査する意義は大きいと思う。

② 調査票の内容や構成に関すること

- ・ アンケートの設問が大まかすぎて、言いたいことが表現できない。
- ・ 答えにくいところがあった。
- ・ 介護についてもアンケートに入れてほしい。
- ・ 年齢的に回答しづらい点があった。
- ・ アンケートの回答を、子育て世代と既に子育てや仕事が終わっている世代と分けて回答できるようにした方が良いと思う。
- ・ アンケートの質問の答えは 3 つまでとありますが、しぼるのに困った点があった。
- ・ アンケートが長いと思いました。
- ・ みえ元気プランについて、知る機会が少なく、どのような取組が行われているのかがわかりづらいと感じました。アンケートの裏面に紹介動画の URL、二次元コードがあると良いと思います。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- ・ 早期に公表してほしい。
- ・ アンケートに回答する際に、何か報酬があれば嬉しい。

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団の一部を標本として抽出し、その回答からもとの母集団全体について推定する標本調査では、“真の値”（全数調査を行えば把握できるであろう値）との差が発生することが避けられません。この“標本誤差”は、次のような手順で見積もることができます。

まず、今回のように大きな母集団から標本を無作為抽出する調査では、ある選択肢が選ばれた比率（回答比率） p の“標準誤差”（回答比率の標準偏差）が次のように求められます。

$$\text{標準誤差} = \sqrt{\frac{p(100-p)}{n}} \quad n : \text{回答者数 (人)} \quad p : \text{回答比率 (\%)}$$

標本誤差はこの標準誤差と、結果に求める“信頼度”から見積もります。例えば、信頼度を、最も広く使われる95%（間違える確率が5%）とすると、標本誤差は次の式のように求めることになります。

$$\text{標本誤差} = 2 \times \text{標準誤差}$$

ここで、右辺第1項の2（厳密には1.96）は、想定する信頼度によって統計学的に決まる値です。回答比率プラスマイナス標本誤差の範囲が信頼区間と呼ばれるもので、信頼度95%の場合、真の値（母集団における比率）が95%の確率で、次の範囲におさまると考えることができます。これが、標本調査の精度です。

$$\text{回答比率} - \text{標本誤差} \sim \text{回答比率} + \text{標本誤差}$$

今回の調査では、10,000人の標本から4,578人の有効回答が得られました。回答者全員を対象とする集計結果の標本誤差を、上の式から具体的に計算すると、例えば回答比率が50%の場合は、1.5%、同20%では1.2%となります。このことから、三重県民（18歳以上）全体の意識を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。

次表は、いくつかの n （回答者数）と p （回答比率）の組み合わせについて、信頼度95%の標本誤差を計算した早見表です。

標本誤差の早見表

回答者数(n) \ 回答比率(p)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

なお、標本誤差の計算は、特定の属性区分（例えば性別が女性など）の回答者 n 人とその回答比率 p という組み合わせについても同様です。上の表は、そのような標本誤差の早見表としてもご覧ください。

第2回 みえ県民1万人アンケート 調査票

所要時間は15分程度です。ご回答はこの調査票か、専用ウェブサイトのいずれかからお願いします。それぞれの回答方法は、下記を参照ください。

回答締切日：令和6年1月9日（火）

調査票でご回答いただく場合

- 回答は順番に、番号に○をつけるか、回答欄に数字等を記入してください。
- ご記入は、ボールペン又は鉛筆で、はっきりとわかりやすくお願いします。
- 記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、郵便ポストに投かんしてください。
- アンケートは、次ページの問1からご回答ください。

専用ウェブサイトでご回答いただく場合

- パソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも可能です。
- インターネットでご回答いただいた方は調査票の返送は不要です。

- ① URL を直接ご入力、またはQRコードからアクセスしてください。

<https://www.c-pass.jp/mie>



- ② ログイン画面が表示されましたら、以下に記載のIDを入力してください。

あなたのID： ○○○○○○ ※ 0 は数字のゼロです

パスワード： **abc123**

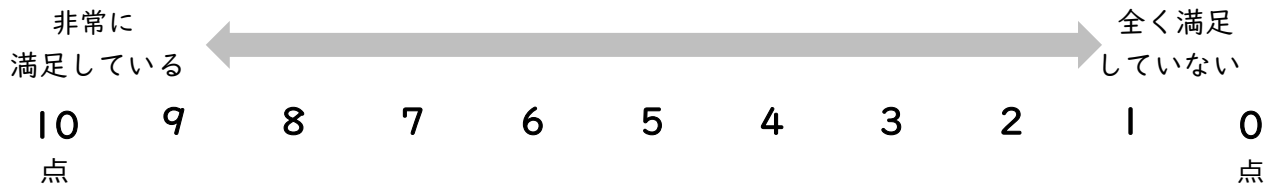
IDは調査票からの回答とウェブサイトからの回答の重複を防ぐものであり、回答者様個人を特定するものではありません。

- ③ アンケート画面が表示されますので、ご回答ください。

はじめに、生活の満足度についておききします

問1 あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。（数字を1つだけ〇）



問2 次の①から⑭までの項目それぞれについて、あなたの満足度を、「5」（満足）～「1」（不満）（わからない方やあてはまらない方は「0」）の中から選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）

	5 満足	4 どちらか ええ満足	3 ふつう	2 どちらか ええ不満	1 不満	0 あてはまらない・ わからない
① 家計と資産	5	4	3	2	1	0
② あなた自身の給料や報酬・賃金	5	4	3	2	1	0
③ 仕事のやりがいや生活とのバランス	5	4	3	2	1	0
④ 健康状態	5	4	3	2	1	0
⑤ 医療サービス	5	4	3	2	1	0
⑥ 介護・福祉サービスの利用しやすさ	5	4	3	2	1	0
⑦ 子育てのしやすさ	5	4	3	2	1	0
⑧ 子どもの教育	5	4	3	2	1	0
⑨ 交友関係やコミュニティなど 社会とのつながり	5	4	3	2	1	0
⑩ 身のまわりの自然環境	5	4	3	2	1	0
⑪ 自然災害への備え	5	4	3	2	1	0
⑫ 交通安全・防犯など身のまわりの安全	5	4	3	2	1	0
⑬ 文化・スポーツなどの趣味、生きがい	5	4	3	2	1	0
⑭ 移動手段、交通の便利さ	5	4	3	2	1	0

次に、県が注力している取組に関することについておききします

【災害への備えについて】

問3 あなたは、自然災害が起こったときに、被害を少なくするために「自助」、「共助」、「公助」*のどれに重点をおくべきと考えていますか。
(○は1つだけ)

- 1 「自助」に重点を置くべき
- 2 「共助」に重点を置くべき
- 3 「公助」に重点を置くべき
- 4 「自助」「共助」「公助」のバランスを取るべき

*「自助」・・・自分の身は自分で守ること
「共助」・・・地域や身近にいる人どうしが助け合うこと
「公助」・・・国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

問4 あなたは、「公助」の取組としてどのようなことが重要だと思いますか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

- 1 津波避難タワーなどの避難場所・避難路などの整備
- 2 道路、橋、堤防などインフラの整備・耐震化
- 3 備蓄物資、資機材などの整備
- 4 避難所の確保・整備
- 5 救助・救急
- 6 災害に関する情報発信
- 7 被災者生活再建支援
- 8 その他 ()

問5 大規模な災害が発生したときは、避難所での生活が必要となることがあります(場合によっては長期間)。あなたは、避難所での生活においてどのようなことを求めますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 冷暖房の整備
- 2 トイレの整備(バリアフリー化、十分な数)
- 3 寝具の確保(快適性)
- 4 プライバシーの保護
- 5 防犯警備
- 6 食料や飲料水の確保
- 7 電源の確保
- 8 風呂の確保
- 9 洗濯環境の確保
- 10 その他 ()

【結婚について】

問6 あなたは、これまでに結婚をしたことはありますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|---|-------------------------|---------|
| 1 | 未婚 (結婚したことはない) | ⇒ 問6-2へ |
| 2 | 既婚・死別 (結婚したことはあるが、死別した) | ⇒ 問7へ |
| 3 | 既婚・離別 (結婚したことはあるが、離別した) | ⇒ 問7へ |
| 4 | 既婚・配偶者あり (現在、夫または妻がいる) | ⇒ 問7へ |

問6-2 これまでに結婚したことがない方 (問6で「1」を選んだ方) におききます。

今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---|------------|
| 1 | いずれ結婚するつもり |
| 2 | 結婚するつもりはない |

【男女共同参画について】

問7 あなたは、家庭生活において男女の地位は平等になっていると思いますか。一人暮らしの方はご実家などご自身の経験をふまえてお答えください。 (○は1つだけ)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 男性の方が非常に優遇されている |
| 2 | どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3 | 平等 |
| 4 | どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5 | 女性の方が非常に優遇されている |

問8 あなたは、家庭生活 (問7) 以外でどのような分野で男女の地位は平等になっていないと思いますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 職場内の環境 |
| 2 | 学校教育の場 |
| 3 | 政治の場 |
| 4 | 法律や制度の上 |
| 5 | 雇用の機会 |
| 6 | 社会通念・慣習・しきたりなど |
| 7 | 自治会やPTAなどの地域活動の場 |
| 8 | その他 () |
| 9 | 男女平等でない分野はない (どの分野も男女平等である) |

【子ども・子育て支援について】

問9 あなたは、子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子ども的人数をお答えください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- 1 ()人くらいほしい(ほしかった)
- 2 ほしくない(ほしくなかった)
- 3 わからない

問10 お子さんはいらっしゃいますか。結婚や就職など既に独立しているか否か、同居しているか否かにかかわらず、記入してください。

(○は1つだけ。「1」に○をつけた方は()に人数も記入してください)

- 1 子どもが()人いる ⇒ 問10-2へ
- 2 子どもはいない ⇒ 問11へ

問10-2 お子さんがある方(問10で「1」を選んだ方)におききします。

現在、ご家庭に次の方はいますか。(○はいくつでも)

- 1 未就学児(小学生未満)
- 2 小学生・中学生
- 3 高校生
- 4 大学生(短大、高専、専門学校なども含む)
- 5 1から4に該当する子どもはいない

問11 あなたは、今後、男性が家事や育児に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 男性が家事や育児に参画することの抵抗感をなくすこと
- 2 育児休業取得時に、収入が減ってしまわないこと
- 3 育児休業取得時におけるキャリアの保証や、復帰の際の支援が充実していること
- 4 仕事内容や労働時間の調整など、職場における上司や周囲の理解を進めること
- 5 職場において、テレワークやフレックスタイムなど多様な働き方を普及し、仕事時間の削減や柔軟な調整ができるようになること
- 6 男性が家事・育児について、スキルを向上するための学ぶ場や交流できる育児支援グループやネットワークなどがあること
- 7 その他()

問 12 あなたは、子育てと仕事を両立するために企業で必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 休暇を取得しやすい雰囲気
- 2 育休や時短中の収入の確保
- 3 育休や時短を取得するときの代替人員の確保や同僚への手当支給
- 4 テレワークなどの柔軟な働き方
- 5 転勤・単身赴任などの制度の見直し
- 6 育休や時短取得者のキャリア・昇進への配慮
- 7 休日出勤や長時間労働の是正
- 8 その他 ()

問 13 あなたは、地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。
(○は1つだけ)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない
- 5 わからない

問 14 あなたは、「ヤングケアラー*」について知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉はきいたことはあるが、意味はよく知らなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった

*本来であれば大人が行うような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを「ヤングケアラー」といいます。

問 15 あなたは、「フリースクール*」について知っていましたか。(○は1つだけ)

- 1 県内での実際の活動を知っていた
- 2 県内での実際の活動内容は知らないが、言葉も内容も知っていた
- 3 言葉はきいたことはあるが、どのようなものかはよく知らなかった
- 4 言葉もどのようなものかも知らなかった

*一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設をいいます。

【人口減少対策について】

問 16 あなたは、子育て支援策のうち人口減少対策として必要だと思う対策は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 こども医療費の無償化
- 2 幼稚園・保育所の無償化
- 3 保育施設の整備・拡充
- 4 学童保育の整備・拡充
- 5 中学校までの給食無償化
- 6 民間賃貸住宅の家賃補助
- 7 子育て世帯に対し、公営住宅入居の所得制限緩和・撤廃
- 8 子育て関連の現金給付
- 9 その他 ()

【定住意向について】

問 17 あなたは、三重県に今後も住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- 1 住みたいと思う
- 2 どちらかといえば住みたいと思う
- 3 どちらかといえば住みたいと思わない
- 4 住みたいと思わない
- 5 わからない

問 18 問 17 で、そう答えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

- 1 自然や、気候、風土
- 2 道路状況や交通の便
- 3 人間関係
- 4 子どもの保育・教育の環境
- 5 職場環境
- 6 通勤
- 7 仕事の都合
- 8 保健医療分野のサービスや施設
- 9 レジャー施設や商業施設、飲食店
- 10 その他 ()

【公共交通について】

問 19 あなたは、お出かけの際に、鉄道やバスを利用できる環境にありますか。
 (○はそれぞれ1つずつ)

	3 あり、実際に利用 することがある	2 あるが、ほぼ利用 していない	1 ない 利用できる環境に
①鉄道	3	2	1
②バス	3	2	1

問 20 あなたは、ご自宅から鉄道やバスを利用するときに、どのような部分で不便を感じますか。(○はそれぞれいくつでも)

①鉄道	②バス
1 駅やバス停までの距離が遠い	1 駅やバス停までの距離が遠い
2 駅やバス停まで行くための手段がない	2 駅やバス停まで行くための手段がない
3 鉄道やバスを使うと交通費が高い	3 鉄道やバスを使うと交通費が高い
4 鉄道やバスを使うと時間が掛かる	4 鉄道やバスを使うと時間が掛かる
5 鉄道やバスの本数が少なく不便	5 鉄道やバスの本数が少なく不便
6 目的地までの乗り換えが不便	6 目的地までの乗り換えが不便
7 行きの時間が合わない	7 行きの時間が合わない
8 帰りの時間が合わない	8 帰りの時間が合わない
9 始発が遅すぎる	9 始発が遅すぎる
10 終発が早すぎる	10 終発が早すぎる
11 とくに不便は感じない	11 とくに不便は感じない
12 その他 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; margin-top: 5px;"></div>	12 その他 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100%; height: 100%; margin-top: 5px;"></div>

【観光について】

問 21 あなたは、県内各地で観光客が増えると、どのような効果や影響があると思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
(○は3つまで)

- 1 イベントの開催や店舗の出店など地域のにぎわいの向上
- 2 経済活性化や働く場の増加
- 3 施設や道路などのインフラ整備
- 4 文化資源や自然資源の保存・継承
- 5 騒音やゴミの増加による生活環境の悪化
- 6 道路の渋滞、バスやタクシーの混雑
- 7 自然や景観が損なわれる
- 8 観光地化による物価上昇
- 9 とくに効果や影響はない
- 10 その他 ()

【共生社会について】

問 22 あなたは、日本人と国籍の異なる外国人が、互いの文化的差異を認め合い、地域社会の構成員として共に生きていく共生社会についてどう思いますか。
(○は1つだけ)

- 1 望ましいと思う
- 2 どちらかといえば望ましいと思う
- 3 どちらかといえば望ましくないと思わない
- 4 望ましくないと思わない
- 5 わからない

【デジタルの活用について】

問 23 あなたは、納税や住民票の取得などの行政手続をする際、役所の窓口に行かずに手続をするようなデジタルサービスを利用したことはありますか。
(○は1つだけ)

- 1 デジタルサービスを利用したことがある ⇒問 24 へ
- 2 行政手続をする機会はあったが、デジタルサービスは利用したことはない ⇒問 23-2 へ
- 3 そもそも行政手続を利用する機会がなかった ⇒問 24 へ
- 4 わからない ⇒問 24 へ

問 23-2 **問 23 で「2」を選んだ方**におききします。

その主な理由は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 スマートフォンやパソコンを持っていない
- 2 手続きがデジタル化していることを知らなかった
- 3 必要な手続きがデジタル化していない
- 4 利用方法がわからない、操作が難しい
- 5 対面による手続きがよいと思う
- 6 その他 ()

【選挙について】

問 24 県では、国政選挙・地方選挙（県議会議員選挙、知事選挙）時に、県民に向けて、選挙期日の周知や投票を呼び掛ける啓発を行っています。あなたが、これまでに見た・聞いたことがあるものは、どの啓発媒体ですか。(○はいくつでも)

- 1 テレビ CM
- 2 ラジオ CM
- 3 新聞広告
- 4 インターネット、SNS 公告
- 5 ポスターの掲出
- 6 コンビニエンスストアのレジ公告
- 7 大型ショッピングセンターや主要駅、街頭での啓発
- 8 県・市町広報紙での啓発
- 9 県・市町庁舎などでの懸垂幕・横断幕の掲出
- 10 県・市町広報車での巡回啓発
- 11 県選挙管理委員会ホームページでの啓発
- 12 その他 ()
- 13 見たこと・聞いたことはない

【国体について】

問 25 国民体育大会*（以下、国体）については、国等において、大会の充実・活性化を図りながら、持続可能なスポーツ大会を目指して議論が行われています。また、施設整備や開・閉会式など、大会の準備・運営に関わる開催都道府県の人的・財政的負担が増大しており、簡素化などに向けた議論も併せて行われています。今後の国体の開催について、何か意見などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

*2024 年からは「国民スポーツ大会」へ名称変更

さいごに、ご自身の現在のことについておききます

三重県全体の分析のためには、お一人おひとりについて、以下の情報が欠かせません。無記名式であり、集計した結果のみを使用しますので、個人の情報が特定されることは一切ありません。ぜひご協力ください。

問 26 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問 27 あなたは現在、おいくつ(満年齢)ですか。

満 歳

問 28 あなたの世帯構成はどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- 1 単身世帯(ひとり暮らしなど)
- 2 一世代世帯(夫婦のみなど)
- 3 二世帯世帯(親と子など)
- 4 三世帯世帯(親と子と孫など)
- 5 その他()

問 29 あなたの主な職業は何ですか。(○は1つだけ)

- 1 農林水産業(家族従事者も含みます)
- 2 自営業、自由業(家族従事者も含みます)
- 3 企業、役所、団体などの正規の社員・職員
- 4 パート、アルバイト、派遣社員など
- 5 その他、収入のある仕事
- 6 学生(アルバイトなどをしている方も含みます)
- 7 専業主婦、専業主夫
- 8 無職

問 30 あなたは配偶者の方と共働きをしていますか。(○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問 31 あなたの世帯全体の年間収入（税込み）はどのくらいですか。
（○は1つだけ）

- | | |
|----|-----------------|
| 1 | 100万円未満 |
| 2 | 100万円～200万円未満 |
| 3 | 200万円～300万円未満 |
| 4 | 300万円～400万円未満 |
| 5 | 400万円～500万円未満 |
| 6 | 500万円～600万円未満 |
| 7 | 600万円～800万円未満 |
| 8 | 800万円～1,000万円未満 |
| 9 | 1,000万円以上 |
| 10 | わからない |

問 32 あなたのお住まいの地域はどちらですか。
「1」～「5」の地域に○をつけてください。（○は1つだけ）

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 北勢地域 | （桑名市・いなべ市・四日市市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・東員町・菰野町・朝日町・川越町） |
| 2 | 伊賀地域 | （伊賀市・名張市） |
| 3 | 中南勢地域 | （津市・松阪市・多気町・明和町・大台町） |
| 4 | 伊勢志摩地域 | （伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町） |
| 5 | 東紀州地域 | （尾鷲市・熊野市・紀北町・御浜町・紀宝町） |

今後、三重県に特に力を入れてほしい取組*や、本アンケート調査に対する感想、ご意見などありましたらご自由にお書きください。

*県の取組については、同封の依頼状裏面の『「みえ元気プラン」の主な取組』も参考にしてください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
記入を終えられましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に調査票を入れ、令和6年1月9日（火）までに郵便ポストに投かんしてください。

第2回みえ県民1万人アンケート集計結果報告書

三重県政策企画部企画課

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

電話 059-224-2025

FAX 059-224-2069

E-mail : kikakuk@pref.mie.lg.jp